

圓嶽千景  
尾野  
不二見原

町有以爲圓嶽



富士山  
紅川

青竹河原一尾





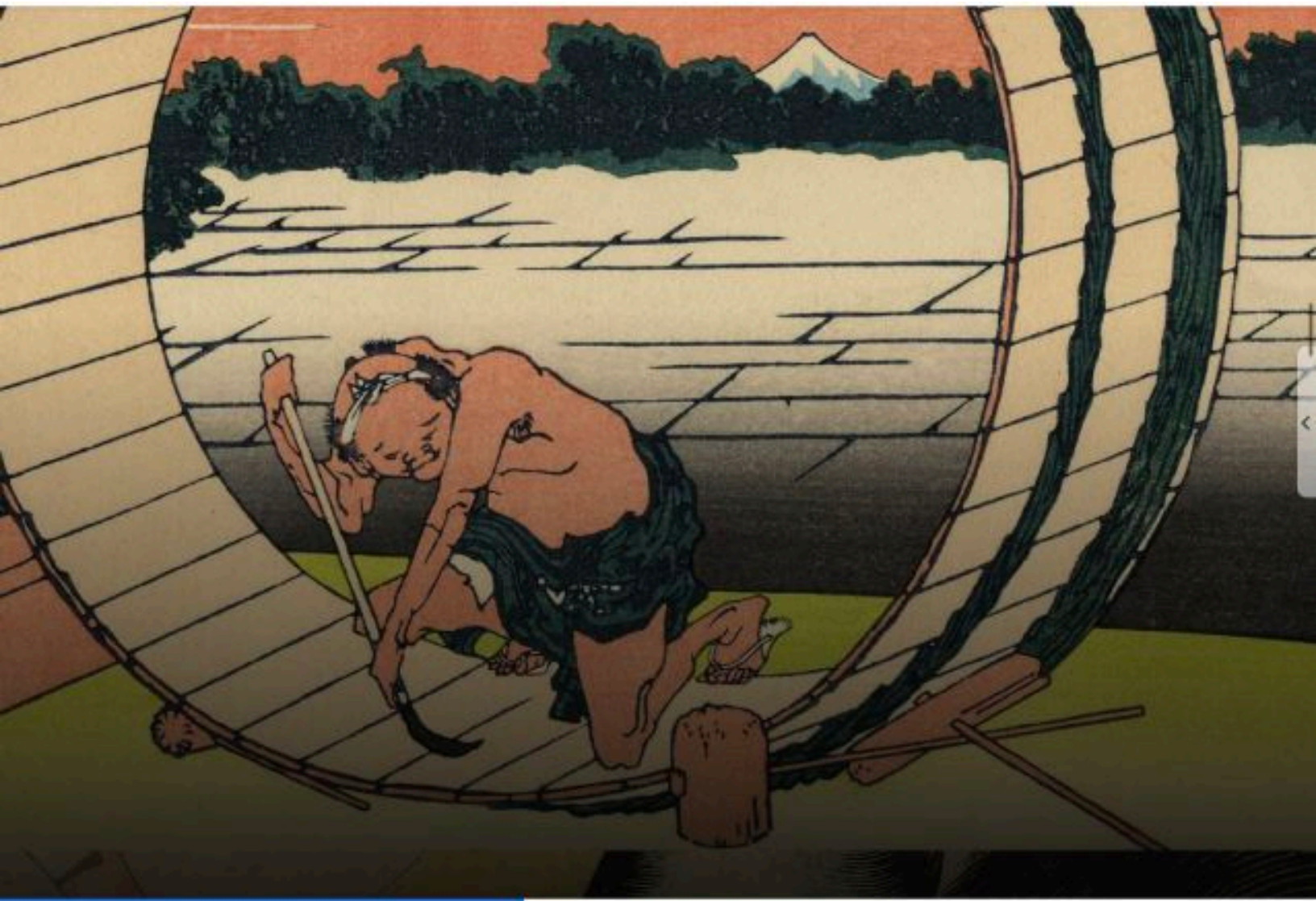
### Learn some top trivia about the renowned ukiyo-e painter

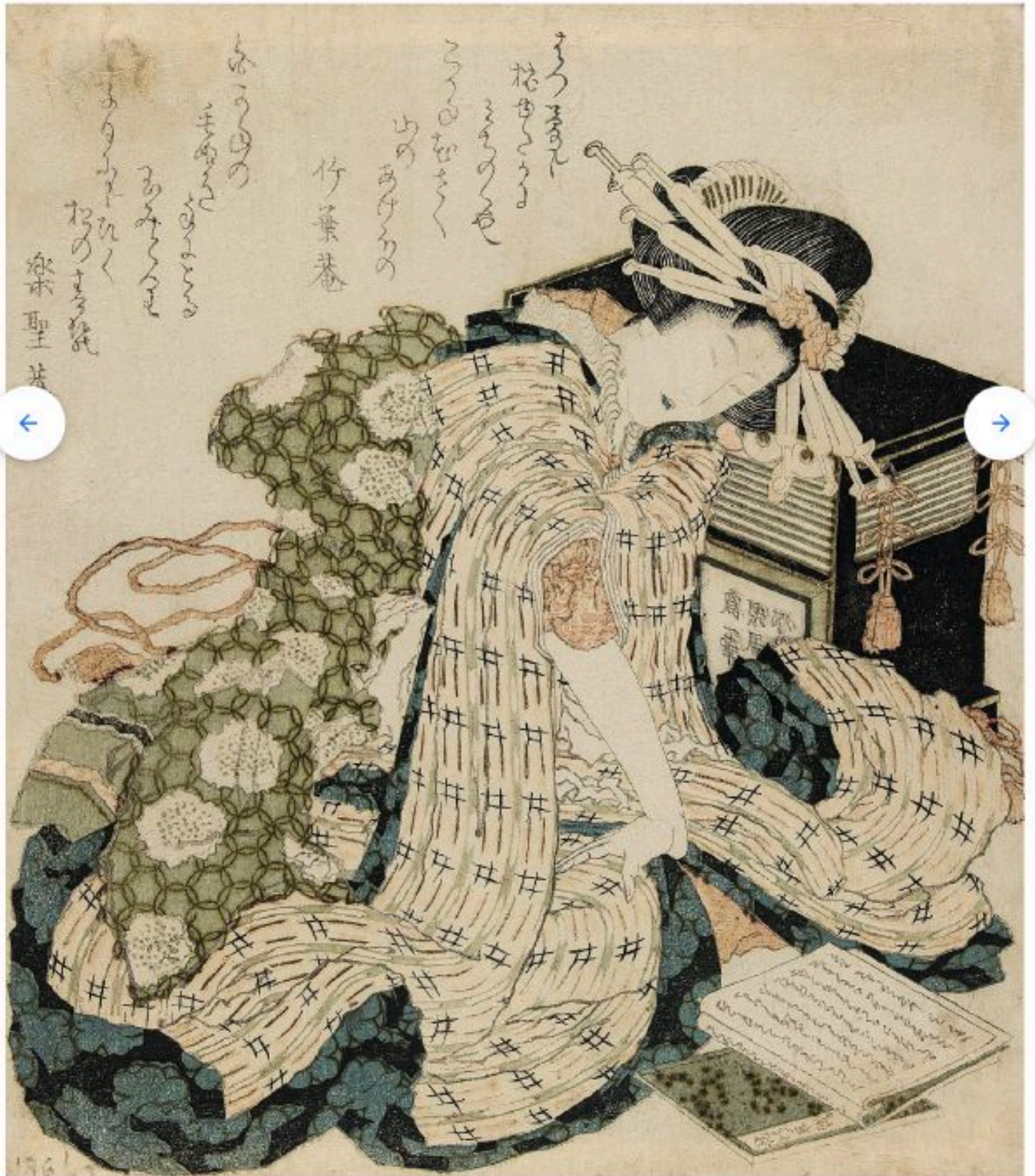
[Katsushika Hokusai](#) was a Japanese artist and [ukiyo-e](#) painter and printmaker of the [Edo period](#). Translated as 'pictures of the floating world', ukiyo-e artists made woodblock prints depicting popular subjects – from kabuki actors to sumo wrestlers, female beauties and famous landscapes.

阿波橋三十三景  
阿波橋  
下

阿波橋  
下







まろまろん  
松雪のうら

まろまろん  
まろまろん

ゆめ  
あけらの

竹葉菴

まろまろん

まろまろん  
まろまろん

まろまろん

おのたまの

楽聖

1861



不二見茶屋

御茶屋

徳之助

東

東





鎌倉権五郎景政



海潮三節保剛

権五郎景政



Figure 1. A drawing of a man and a woman in a dynamic pose, possibly a dance or a theatrical performance. The man is in the foreground, wearing a patterned robe, and the woman is behind him, also in a dynamic pose. The drawing is done in black ink on a light-colored background.

Figure 2. A drawing of a man and a woman in a dynamic pose, possibly a dance or a theatrical performance. The man is in the foreground, wearing a patterned robe, and the woman is behind him, also in a dynamic pose. The drawing is done in black ink on a light-colored background.

Figure 3. A drawing of a man and a woman in a dynamic pose, possibly a dance or a theatrical performance. The man is in the foreground, wearing a patterned robe, and the woman is behind him, also in a dynamic pose. The drawing is done in black ink on a light-colored background.

Figure 4. A drawing of a man and a woman in a dynamic pose, possibly a dance or a theatrical performance. The man is in the foreground, wearing a patterned robe, and the woman is behind him, also in a dynamic pose. The drawing is done in black ink on a light-colored background.



Figure 5. A drawing of a man and a woman in a dynamic pose, possibly a dance or a theatrical performance. The man is in the foreground, wearing a patterned robe, and the woman is behind him, also in a dynamic pose. The drawing is done in black ink on a light-colored background.

Figure 6. A drawing of a man and a woman in a dynamic pose, possibly a dance or a theatrical performance. The man is in the foreground, wearing a patterned robe, and the woman is behind him, also in a dynamic pose. The drawing is done in black ink on a light-colored background.

楽聖菴

ふらふら  
まろまろ  
あまみくも  
ありあけなく  
おのまろ紙

竹葉菴

まろまろ  
松白くま  
まろのま  
まろまろ  
あけあけ  
あけあけ



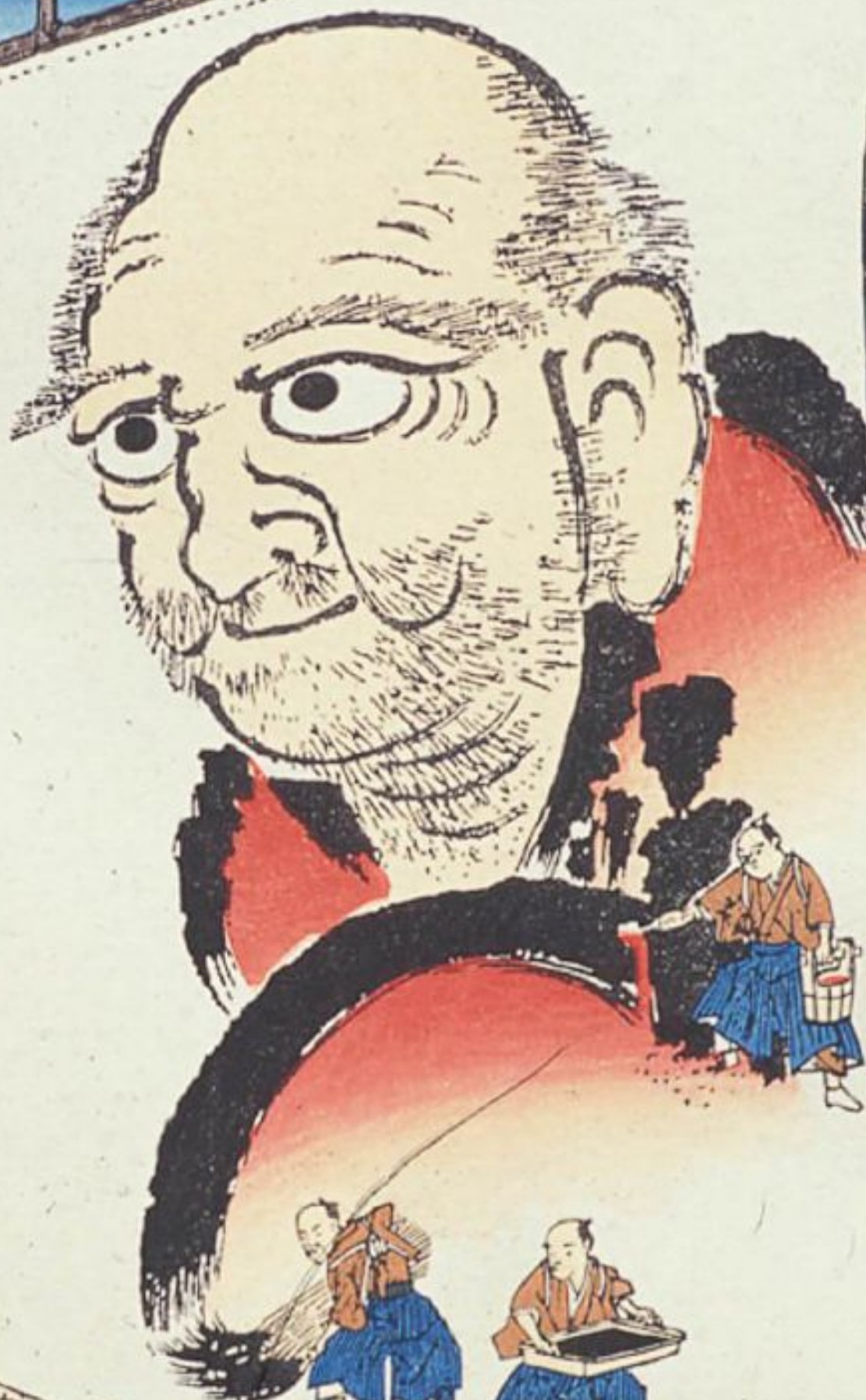
不楽  
為聖

あまみくも  
ありあけなく  
おのまろ紙



前  
浮  
繪  
而  
目  
奈  
夕  
京  
光  
火  
見  
物  
之  
圖

傳  
之  
由  
也  
覺  
不  
意  
矣  
而  
行  
也



文化十四丁七月廿日  
本邦画社人  
北街乾十席上





富嶽三十六景 神奈川沖  
浪裏

葛飾屋









山本  
1875  
五月  
十日  
山本





李秋生画  
壬午年冬月  
李秋生  
画



富士山  
山下  
台所

正徳四年

群鷺





お岩さん  
百物語  
新井白石  
権左衛門



お岩さん  
百物語  
新井白石  
権左衛門

樂聖菴

ついでに

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

鶯巢菴

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸



花丸



樂聖菴

ついでに

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

鶯巢菴

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸

花丸



花丸

清江先生  
繪用  
天橋

清江先生





六給の海  
子列

海上の  
不二



西遊記  
二卷

二卷  
二

海上の  
不二



西遊記  
二卷

二卷  
二

諸國流地 木曾路 奥  
阿蘇院 麻

兼好法師一筆



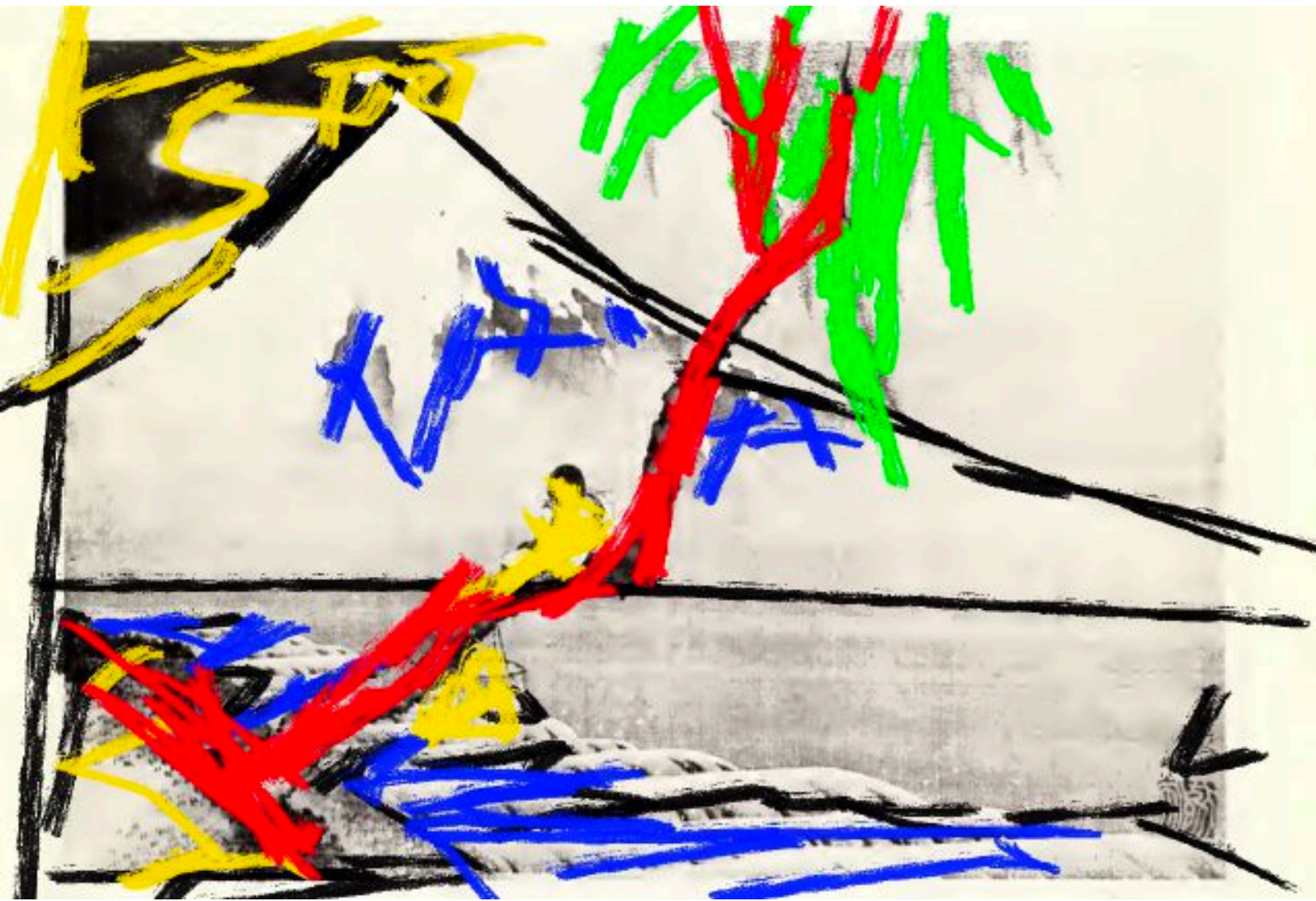
















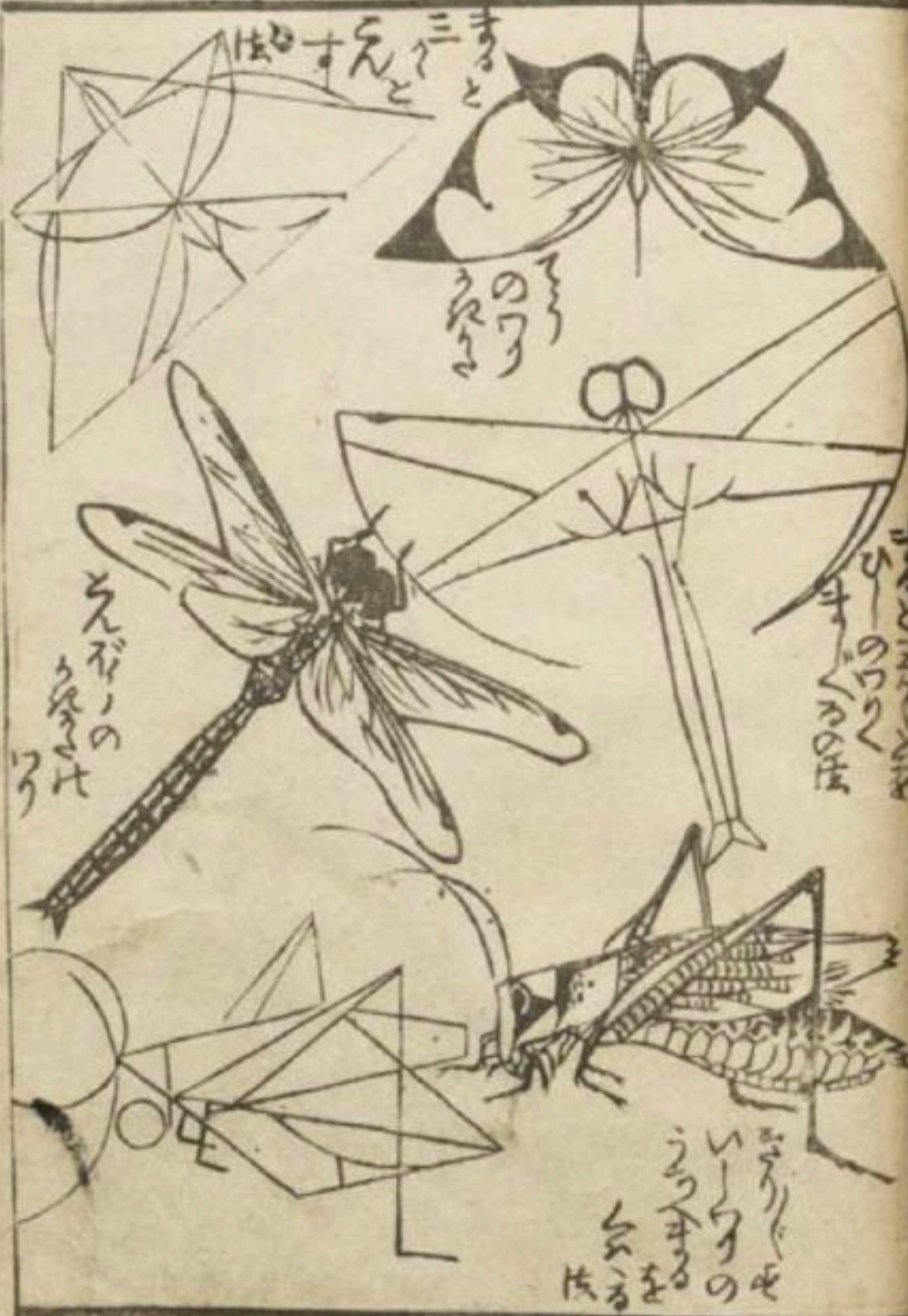
三つと  
とんす  
は

の  
う

とんす  
の  
う

とんす  
の  
う

とんす  
の  
う



三つと  
とんすん  
は

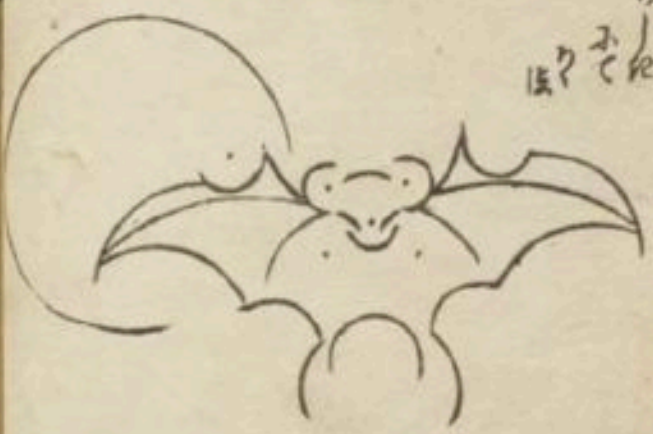
のワ  
うん

とんすんの  
うんすん  
は

とんすん  
のワ  
うん

とんすん  
のワ  
うん  
は

おんまき  
ひら  
ほり



おんまき  
ひら  
ほり



ちんぎ  
おんまき  
ひら  
ほり



か  
の  
の  
の



おんまき  
ひら  
ほり  
おんまき  
ひら  
ほり



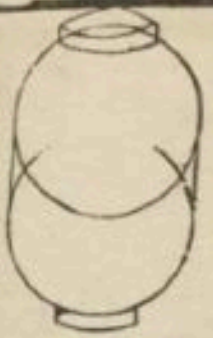
あんこのまじり  
ちぢみ



あまのこ  
まじり



あまのこ  
まじり



あまのこ  
まじり



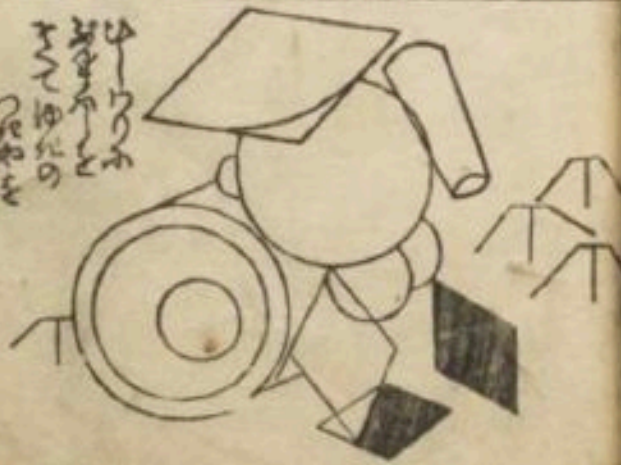
あまのこ  
まじり







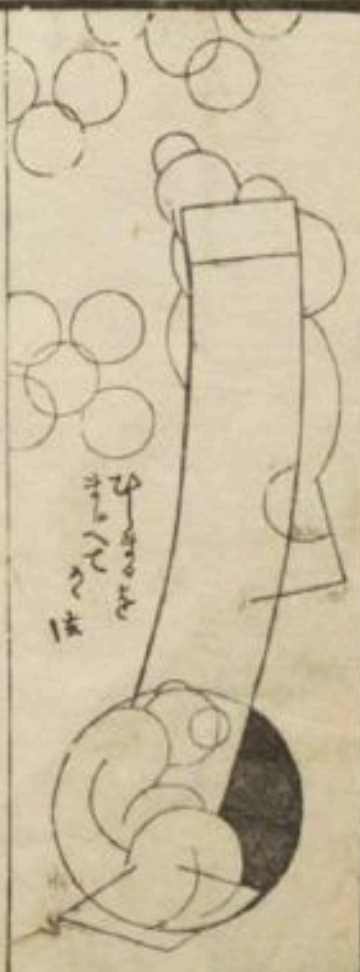
ひーりのふ  
 おまやうと  
 まてゆいの  
 つれを  
 ぐま



ありの  
 じふさーん

あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて

あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて  
あんなみくもくはて



五二  
 三  
 六  
 二八  
 九  
 三十三  
 十三  
 十  
 八  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一

二六八  
 九丁  
 どり  
 三  
 海老



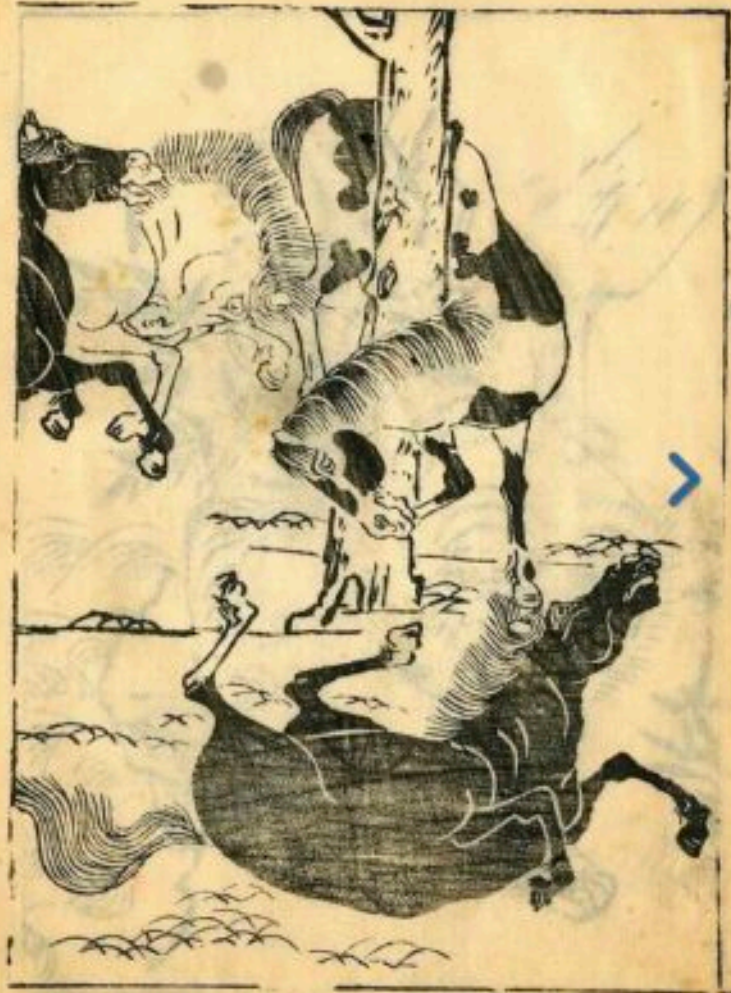
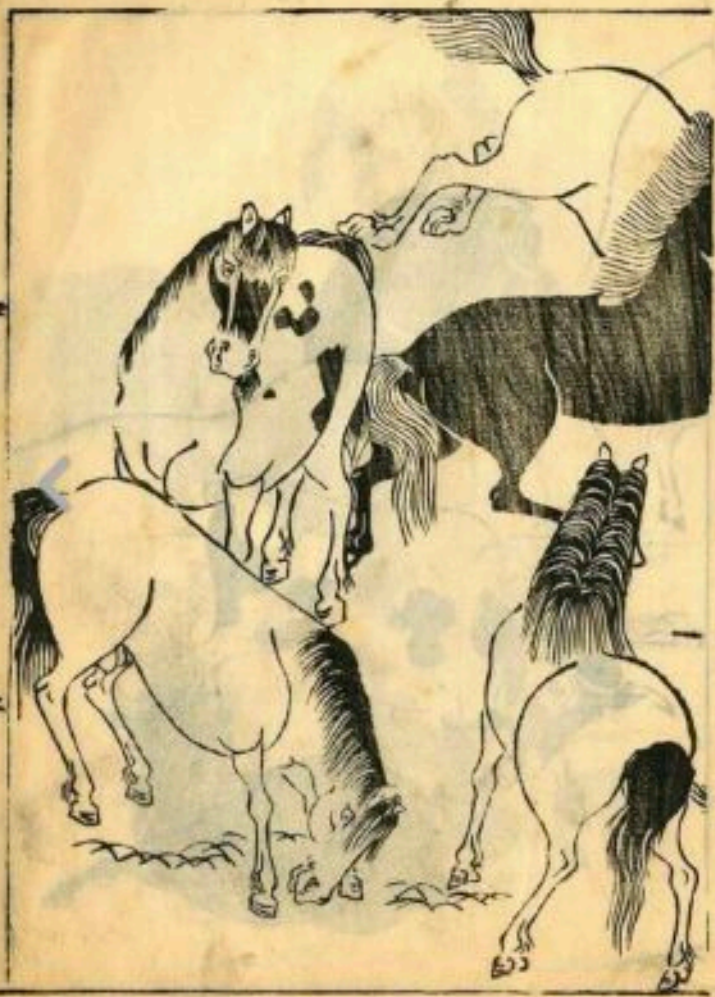
十  
 八  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一

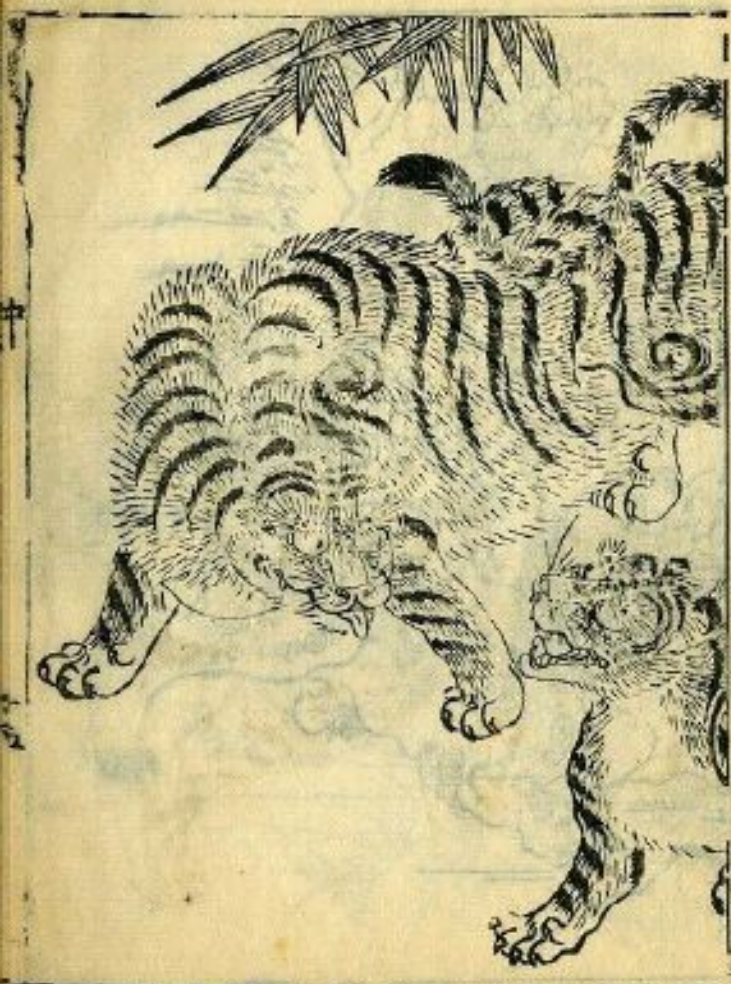


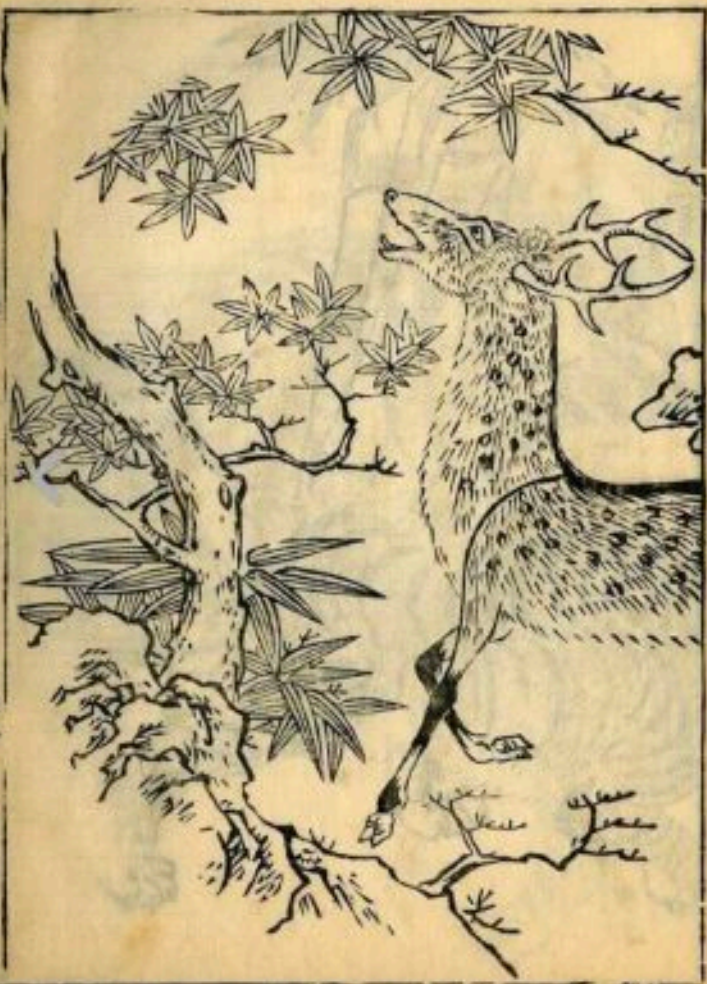
鳥獸諸職繪手本  
17.23

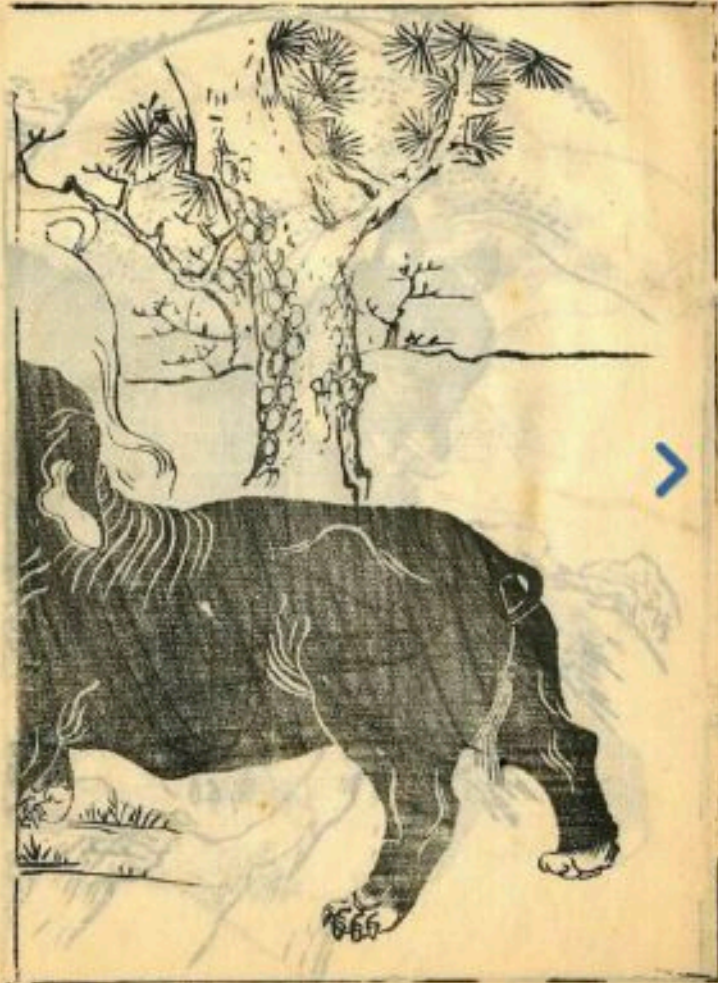
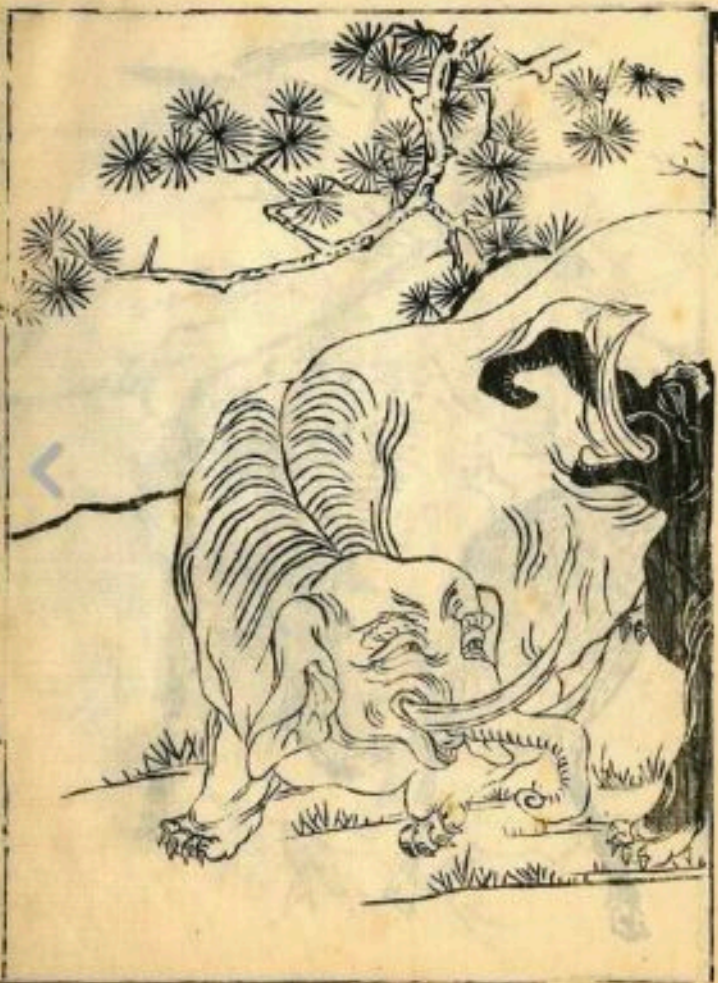
草木諸職繪手本

鳥獸諸職繪手本

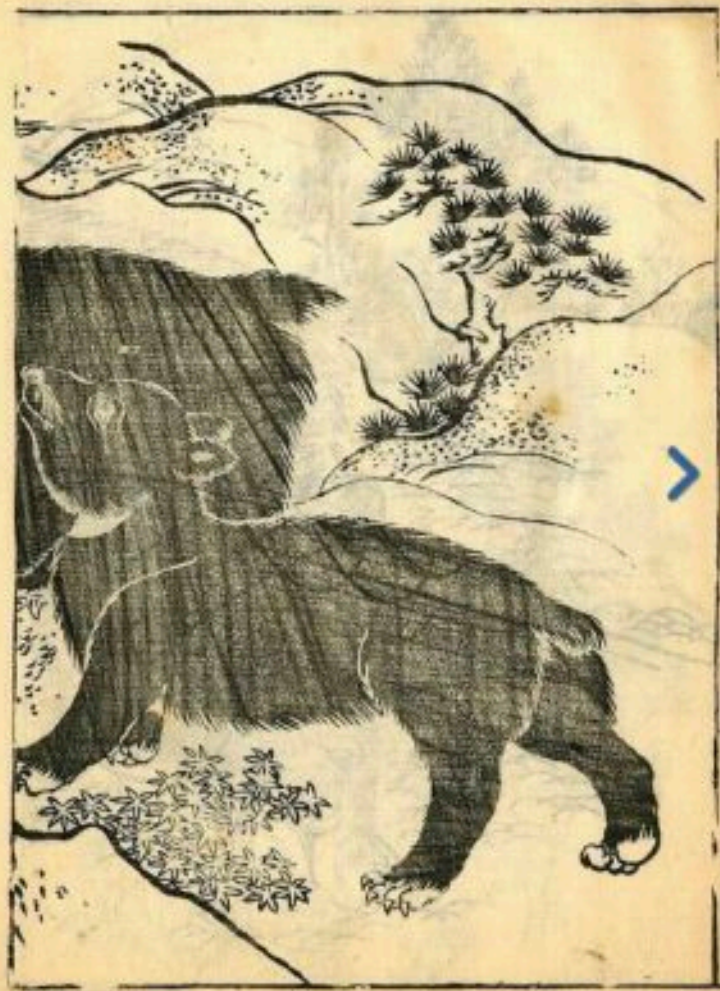






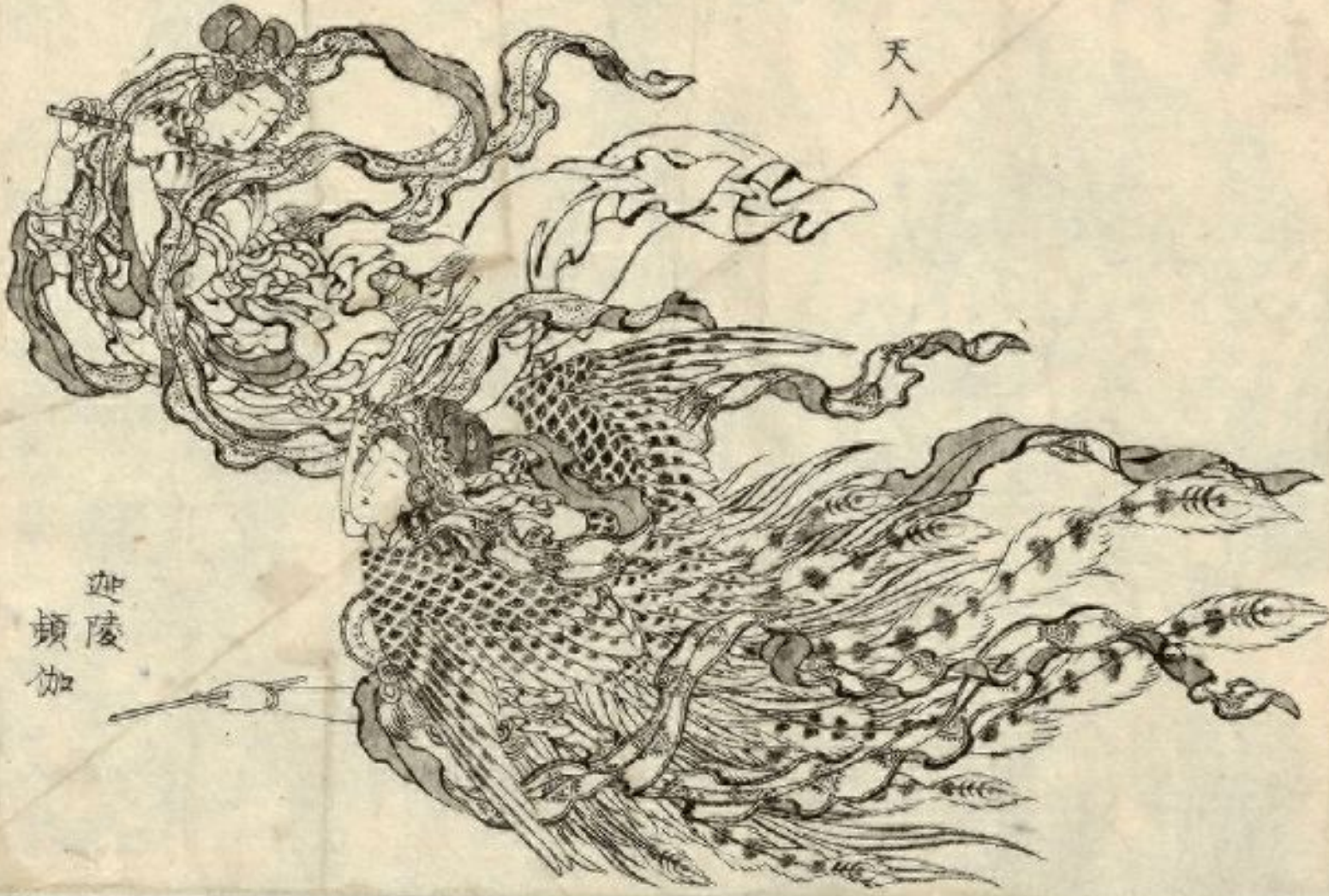




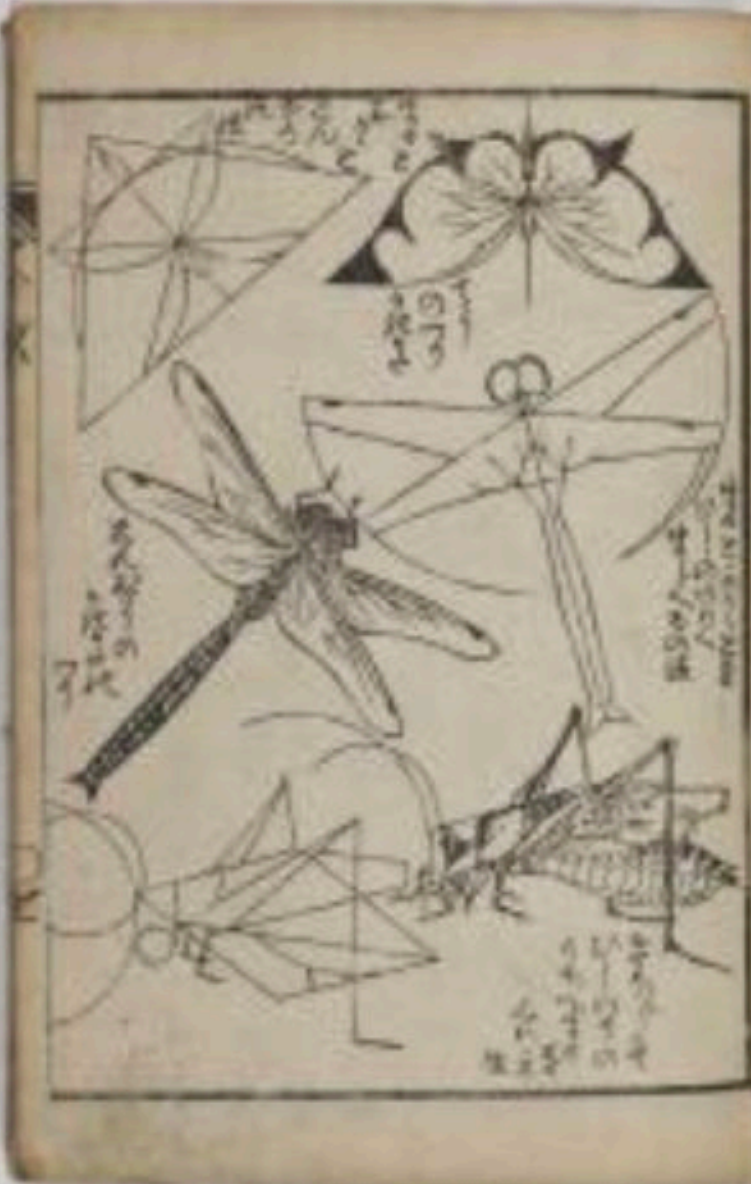


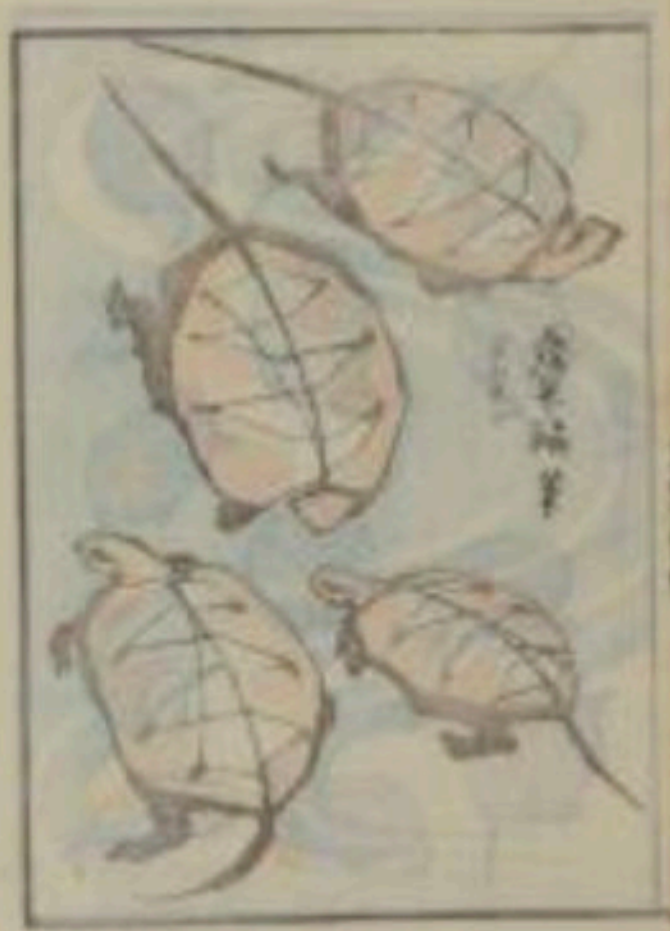
天人

迎陵  
伽













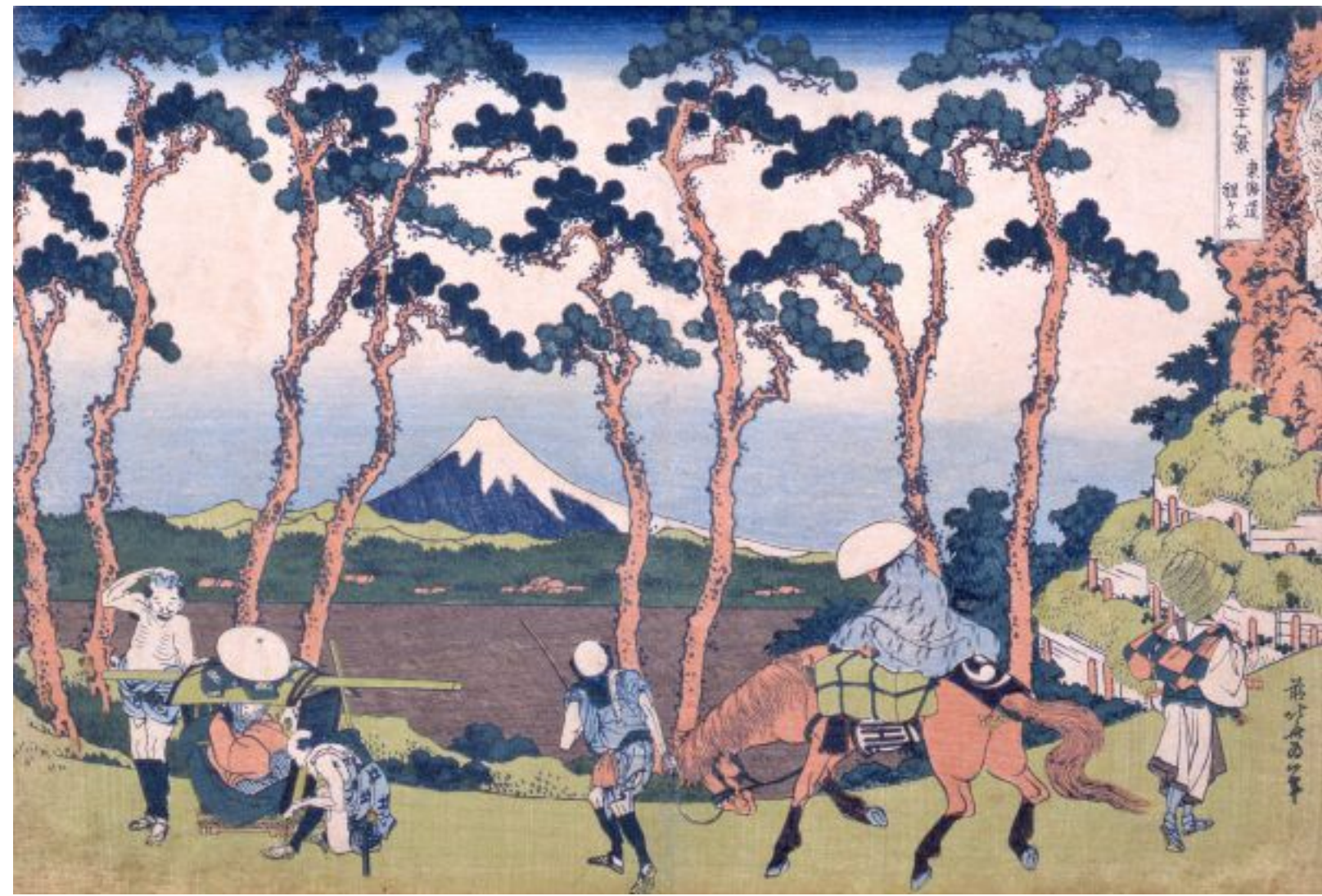






富士山  
東海道  
程ヶ原

花のあけ







風



持國殿  
木曾守  
川原

持國殿



雪夜の月夜



新刊西一年

山

てんまのまんぢんと  
かまのび

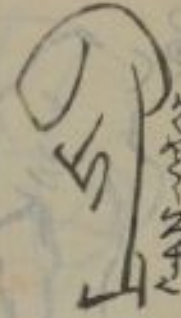
人く  
ん

かま  
と

すてまをふあひと  
ついでりまをひの  
かま



山  
まこ



ま  
ま

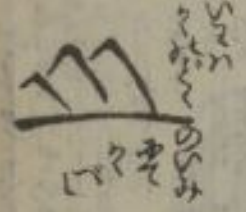


ま  
ま



ま  
ま

の山より出てまんぢんか  
まこのまをくまけんんを  
かへりん。けのひま  
まのま  
まのま  
まのま



ま  
ま  
ま  
ま





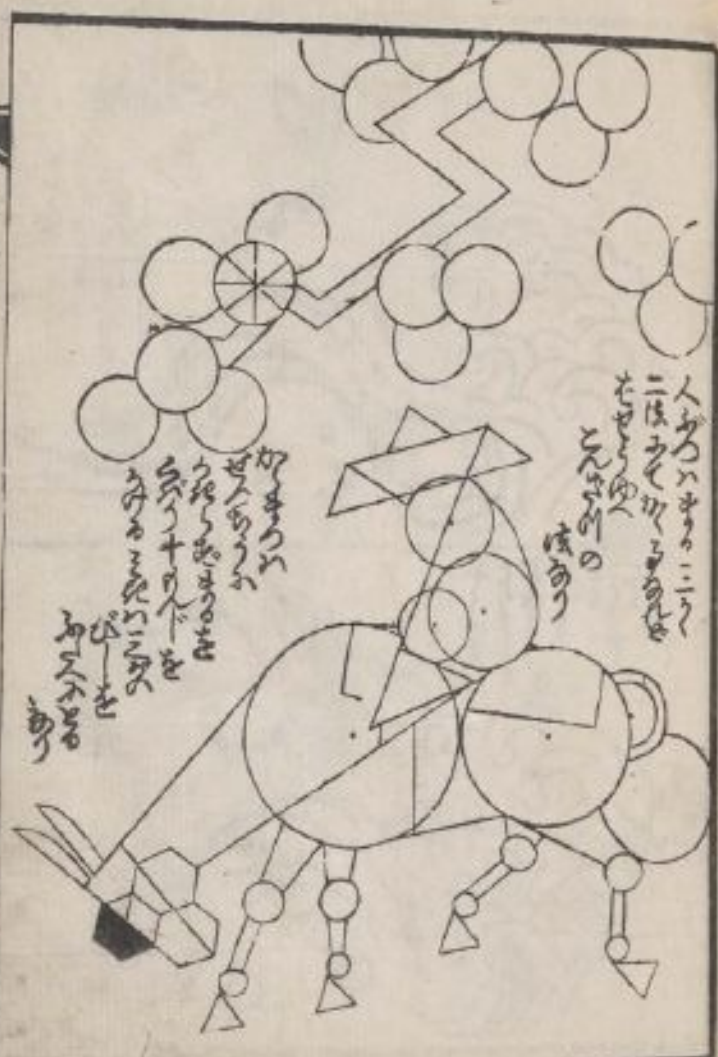
鴨  
カキ  
アサギ



小鳥  
カキ  
アサギ



鳥  
カキ  
アサギ



人あつちまらこにう  
 ニほをく切らまあはせ  
 ちせしゆ  
 こんせいの  
 はあつ

かきまつい  
 せんあうか  
 うれはあまのまを  
 こくつりし下を  
 みのるまはつこ  
 びを  
 へえを  
 あり



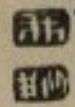
あつちまらこ  
 せんあうか  
 うれはあまのまを  
 こくつりし下を  
 みのるまはつこ

あつちまらこ  
 せんあうか  
 うれはあまのまを  
 こくつりし下を  
 みのるまはつこ

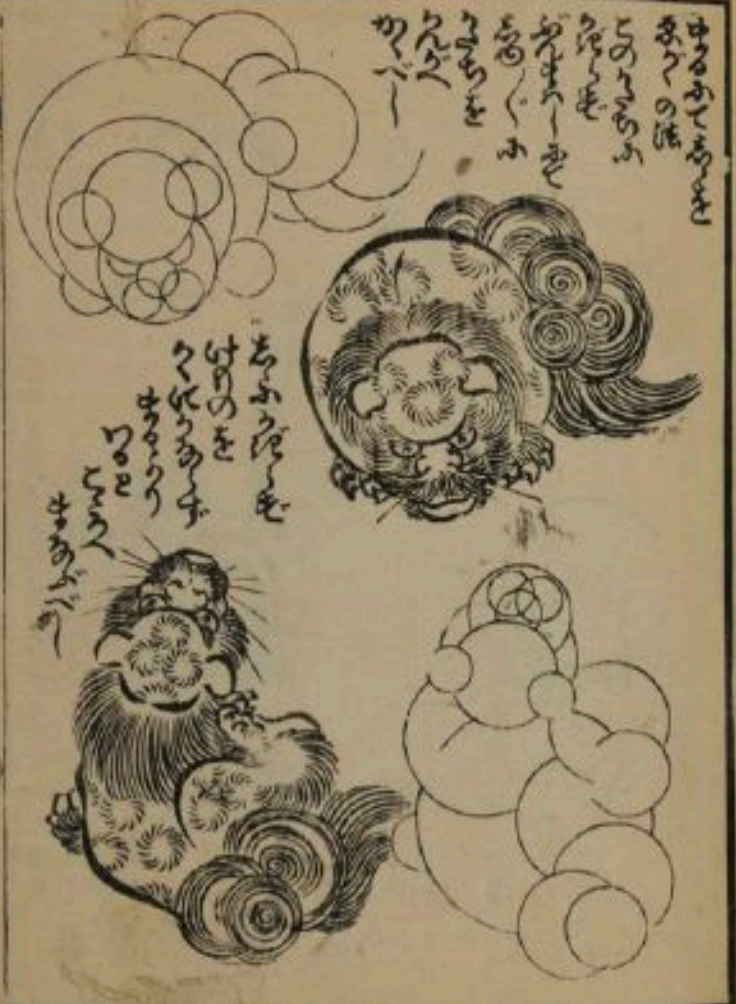
七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 百

文化壬申春

院  
 名  
 春  
 梅  
 年

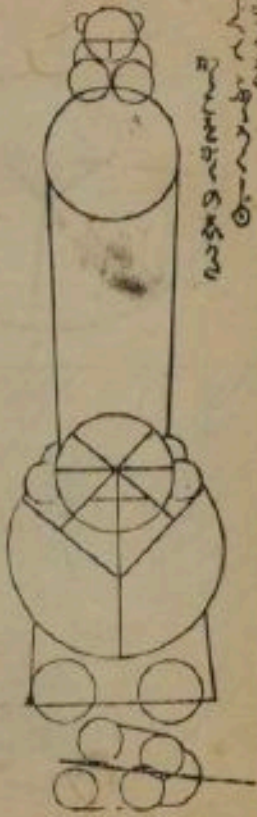


所  
 言  
 一  
 者  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十

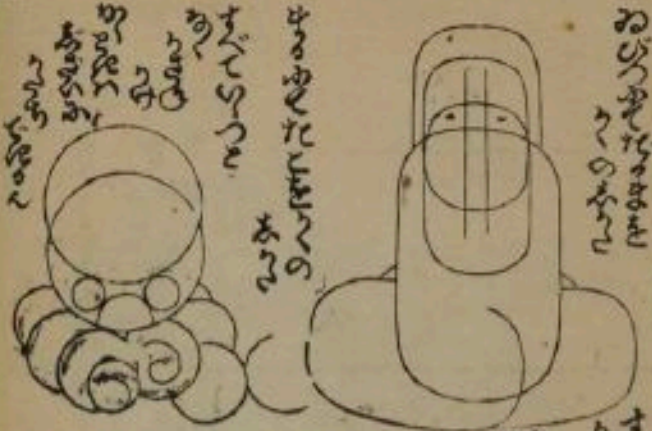




Handwritten text in a cursive script, likely a name or title, written vertically to the right of the figure.



Handwritten text in a cursive script, likely a name or title, written vertically to the right of the figure.



Handwritten text in a cursive script, likely a name or title, written vertically to the left of the figure.

Handwritten text in a cursive script, likely a name or title, written vertically to the right of the figure.



Handwritten text in a cursive script, likely a name or title, written vertically to the left of the figure.



Handwritten text in a cursive script, likely a name or title, written vertically to the left of the figure.



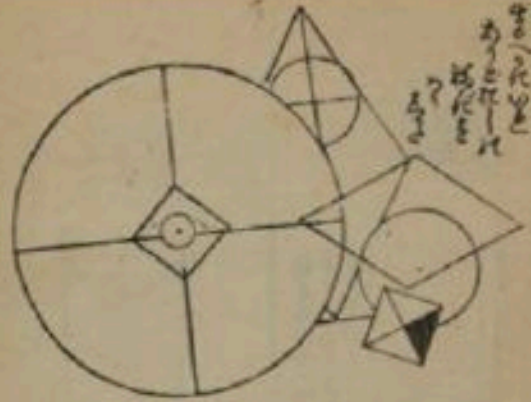
三日月の  
まはりの  
まはりの



あめりけの  
かみかみ  
かみかみ  
かみかみ



あめりけの  
かみかみ  
かみかみ  
かみかみ



あめりけの  
かみかみ  
かみかみ  
かみかみ



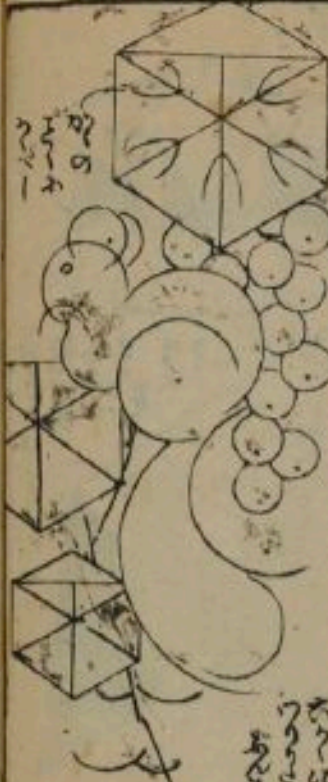
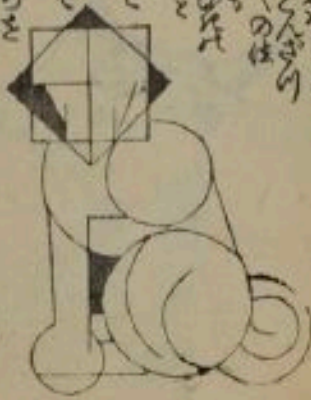
あめりけの  
かみかみ  
かみかみ  
かみかみ



ガムチー  
ガムチー  
ガムチー  
ガムチー  
ガムチー  
ガムチー  
ガムチー  
ガムチー



おんいぬ  
おんいぬ  
おんいぬ  
おんいぬ  
おんいぬ  
おんいぬ  
おんいぬ  
おんいぬ

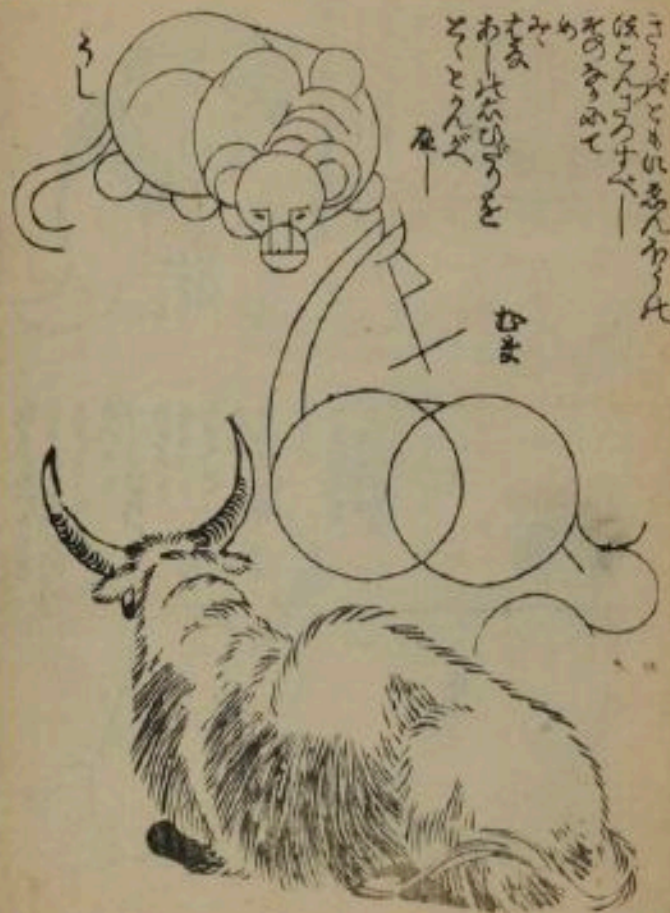
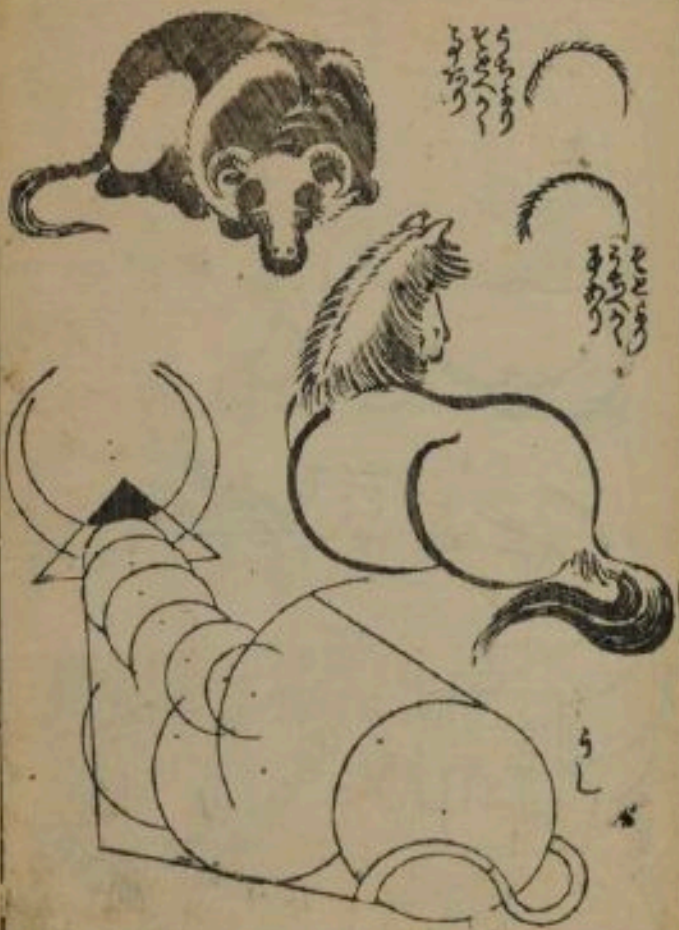


イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ

イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ

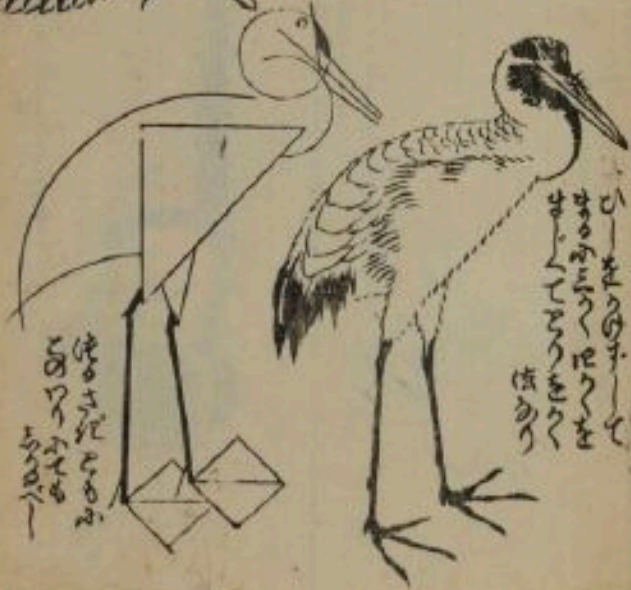
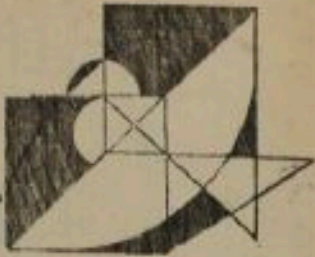


イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ  
イロ





えと



ゆるさねともふ  
このワリも  
あつるへ

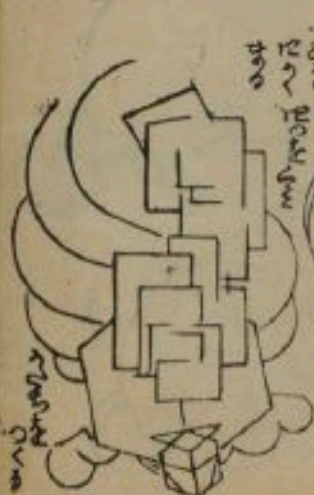
ひーきうのすて  
まらみこくはくを  
ましこころをく  
はめり



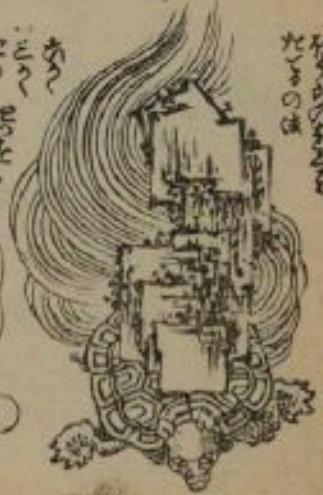
三つ  
世くまう之法



あんのりのりをうり  
せんぼう

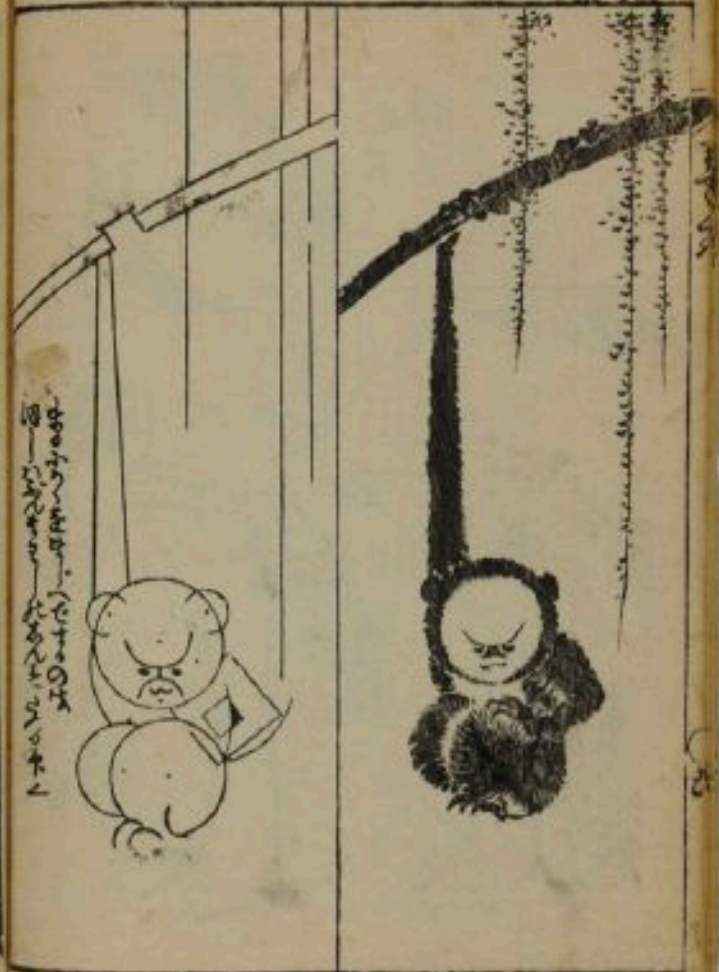
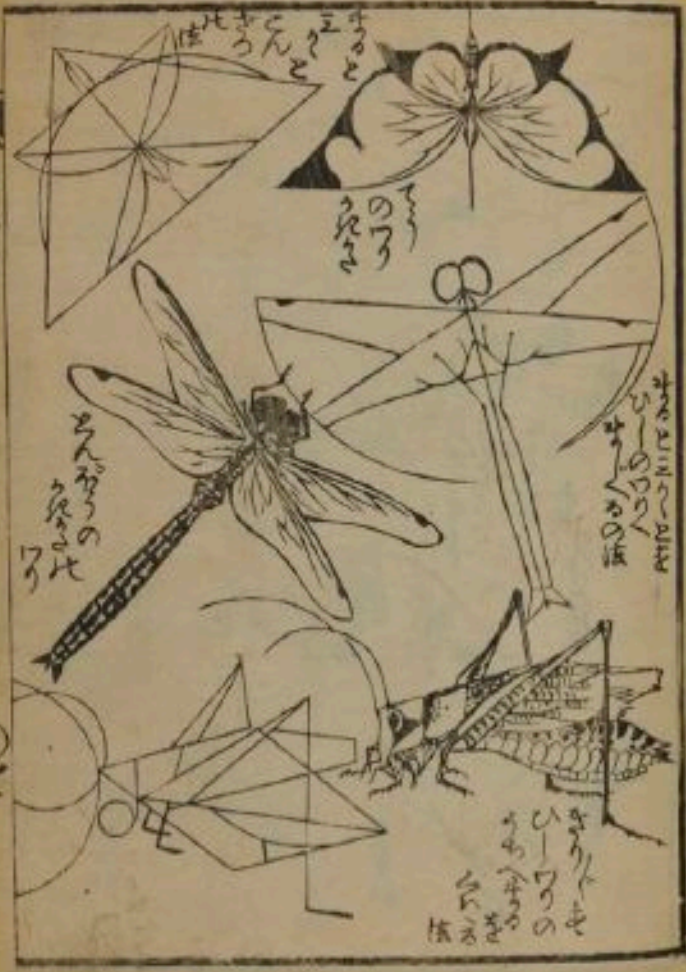


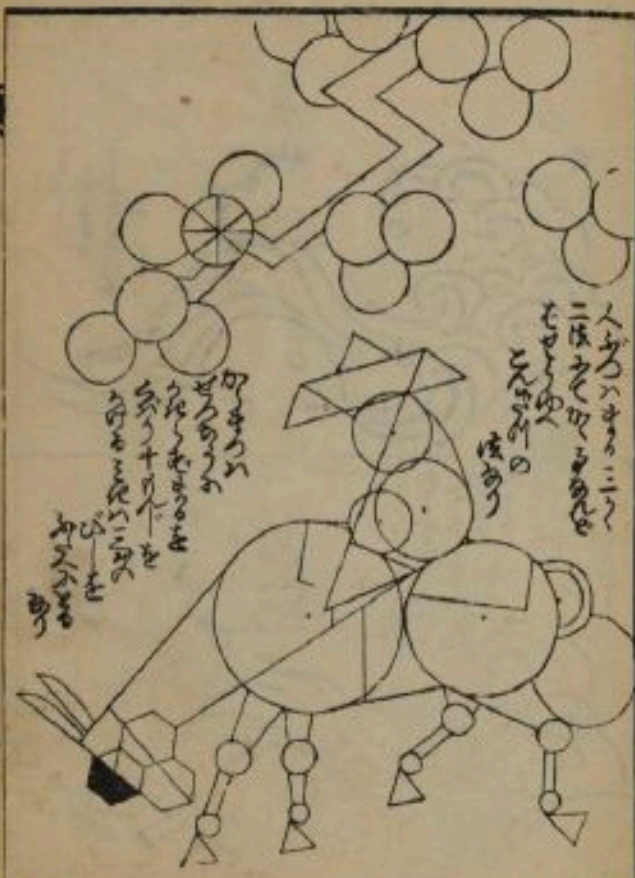
あつ  
まら  
まら  
まら



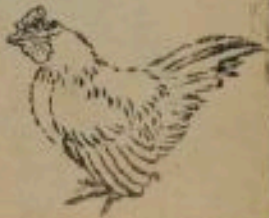
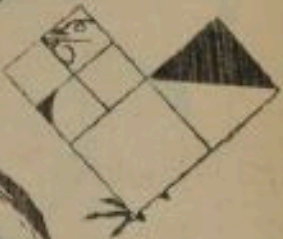
あつ  
まら  
まら







Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy or a specific dialect, located in the upper portion of the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located to the right of the rabbit illustration.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located to the left of the rabbit illustration.

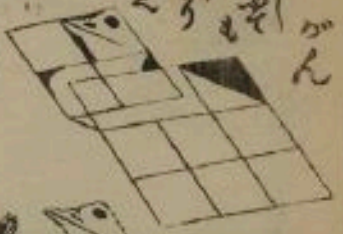
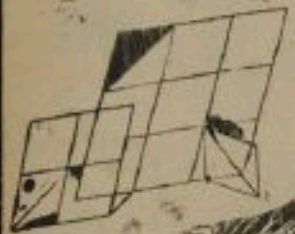
鳥の折り紙  
鶴の折り紙  
亀の折り紙



鶴



鶴の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙



鳥の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙



鶴の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙

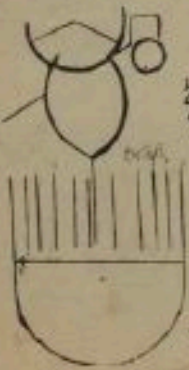


鳥の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙  
鶴の折り紙





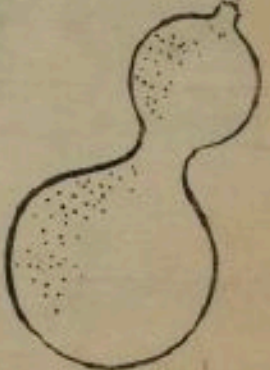
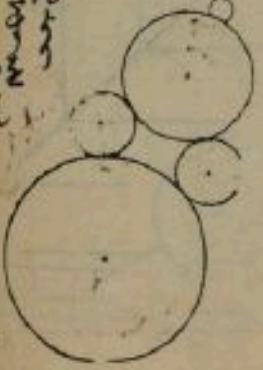
かんかん  
あめん  
あめん  
しん



ひまわり  
くろのま  
あて  
ひまわりの  
ひま  
いま  
さだ  
つちの  
あめあま  
かのお  
どうあせ  
あう



うまのま  
ひまわりの  
あめあま  
かのお  
どうあせ



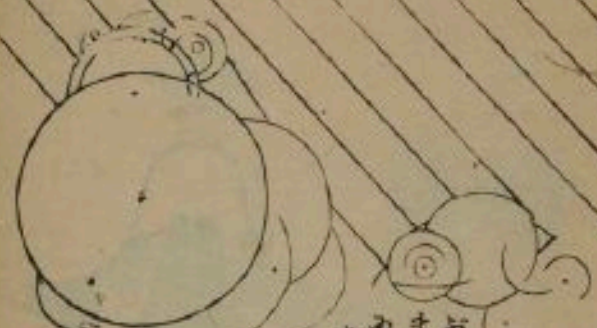
うまのま

ひまわり

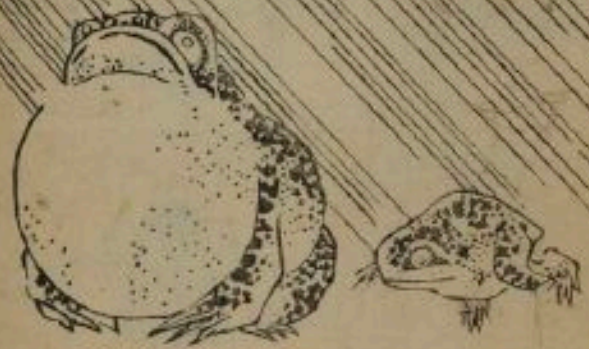
ちんりんのこまや  
ちんりん



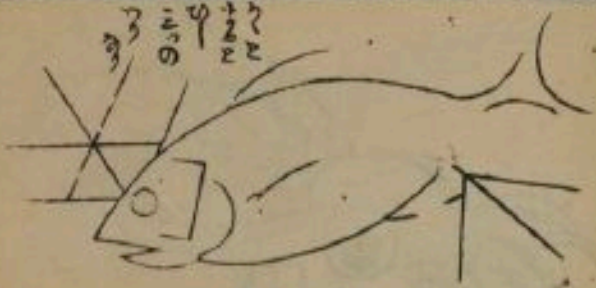
ちんりんのこまや  
ちんりん



ちんりんのこまや  
ちんりん



3  
の  
の  
の  
の



の  
の  
の  
の

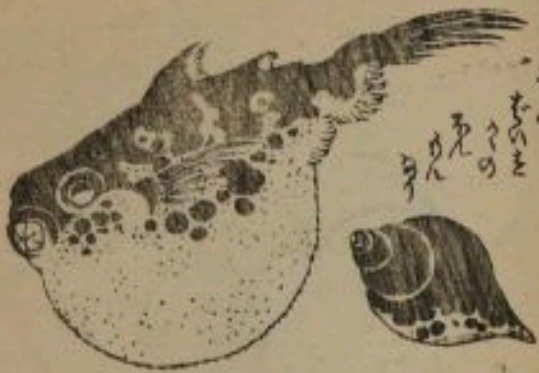


の  
の  
の  
の  
の  
の  
の  
の

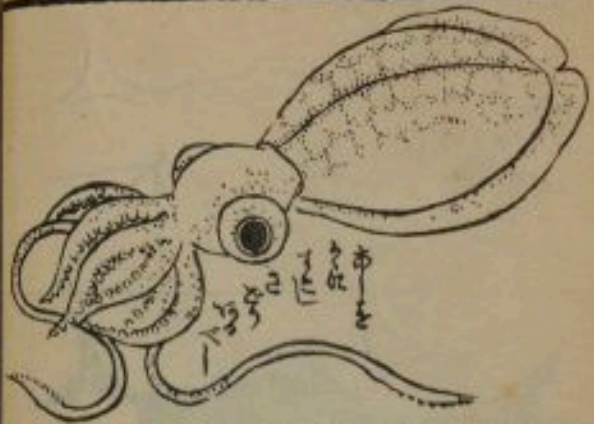


の  
の  
の  
の  
の  
の  
の  
の

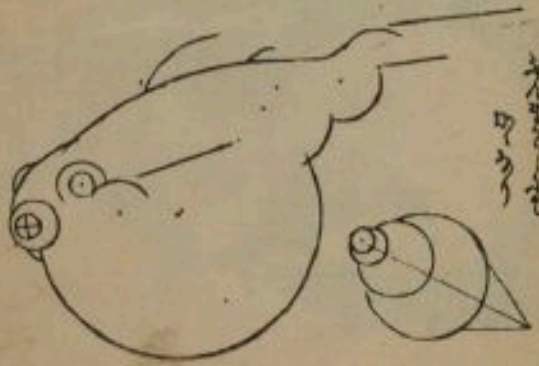




ふくみ  
たのき  
の  
あ  
ん  
の  
こ



あ  
ん  
の  
こ  
の  
こ  
の  
こ



あ  
ん  
の  
こ  
の  
こ  
の  
こ



あ  
ん  
の  
こ  
の  
こ  
の  
こ

ふくみ

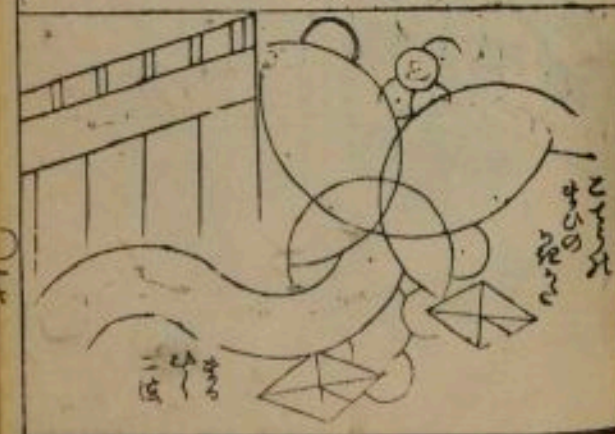
十五

あ  
ん  
の  
こ

あ  
ん  
の  
こ

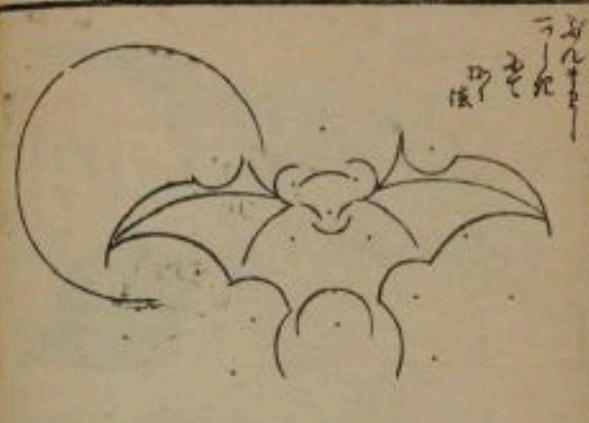


鳥居  
門



鳥居  
門

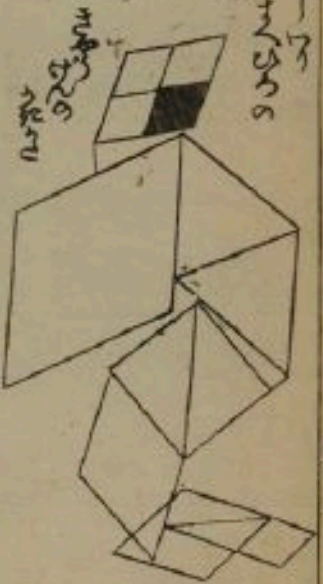
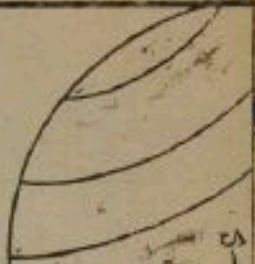
鳥居  
門



おん  
ついで  
の  
後



おん  
ついで  
の  
後

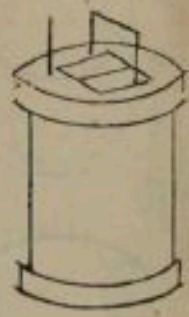
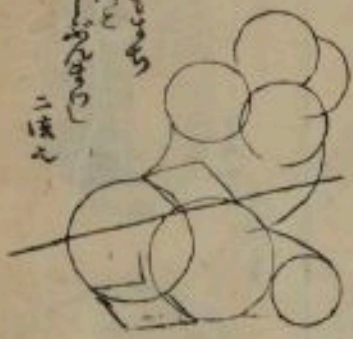


くまの  
十の  
エの  
ウ

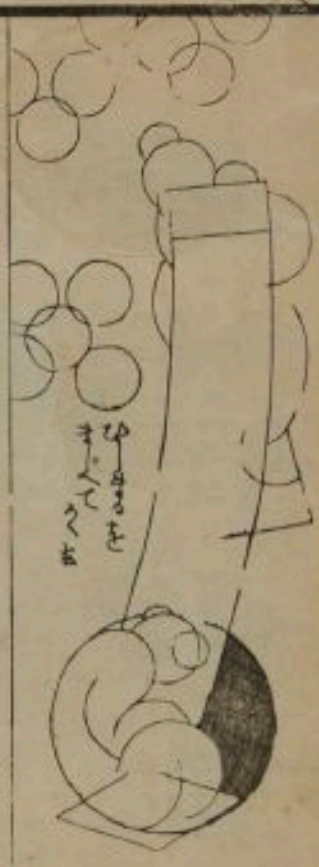
くまの  
十の  
エの  
ウ

くまの  
十の  
エの  
ウ

二儀  
ひしひし  
ひしひし  
ひしひし



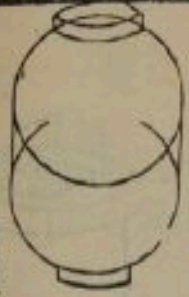
久  
えん  
あつ  
あつ



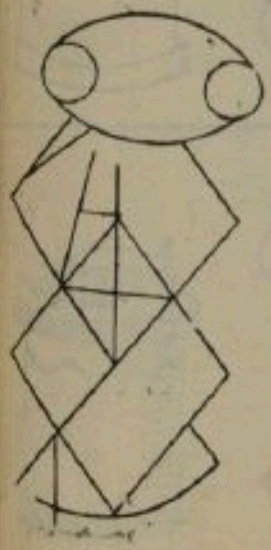
ひ  
ま  
ま  
ま  
ま



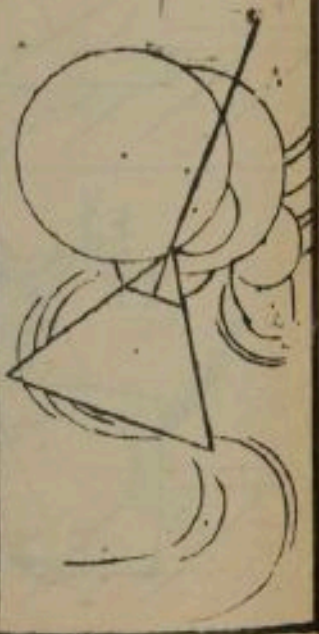
御祭禮  
の  
つ  
ま  
み



御祭禮  
の  
つ  
ま  
み

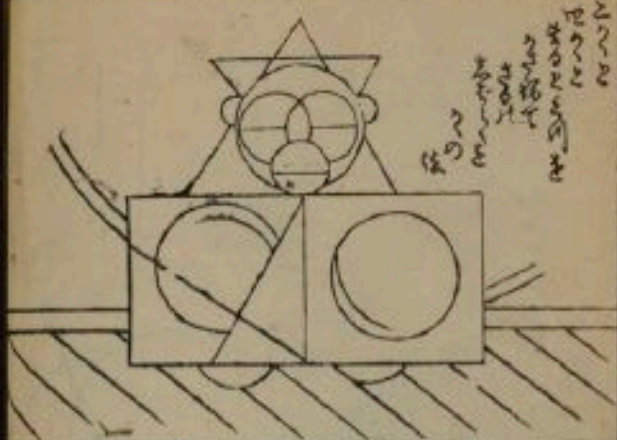


御祭禮  
の  
つ  
ま  
み

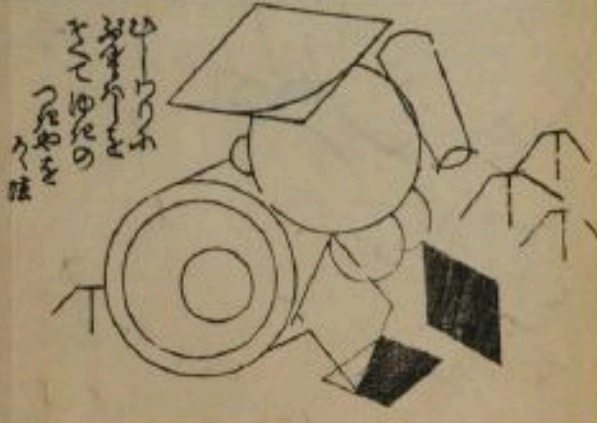


御祭禮  
の  
つ  
ま  
み





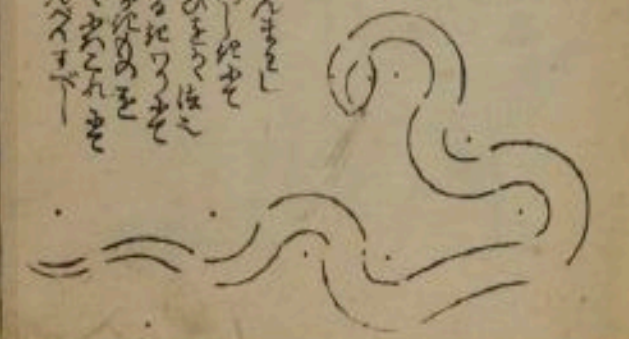
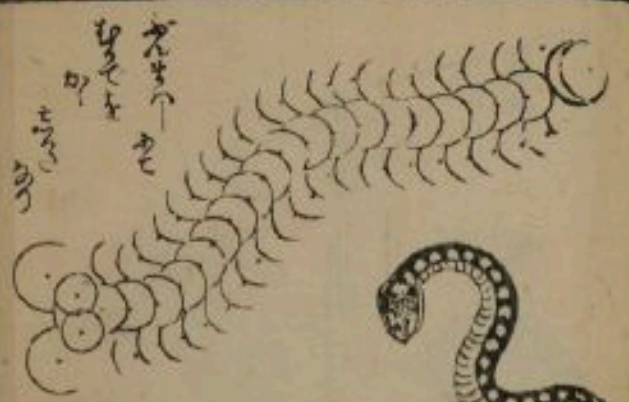
こころ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ



ひーわりの  
おまけを  
まろまろの  
つたおま  
まろ

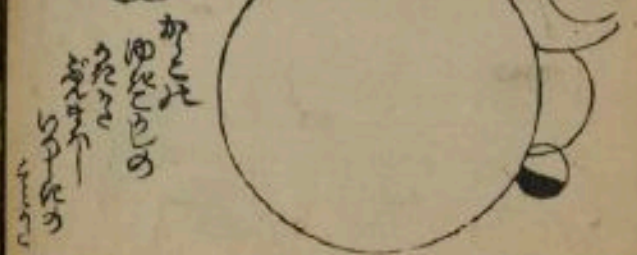


まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ  
まろまろ



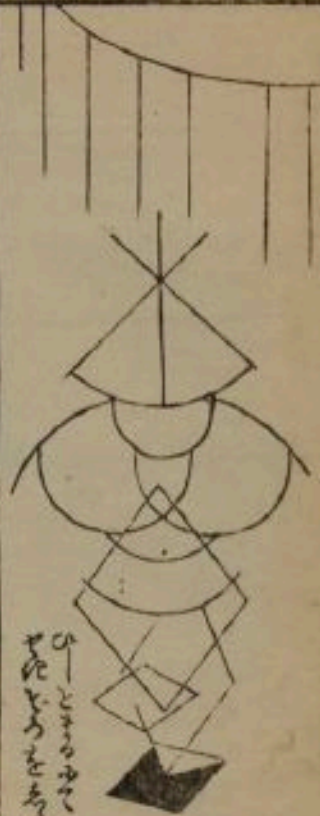
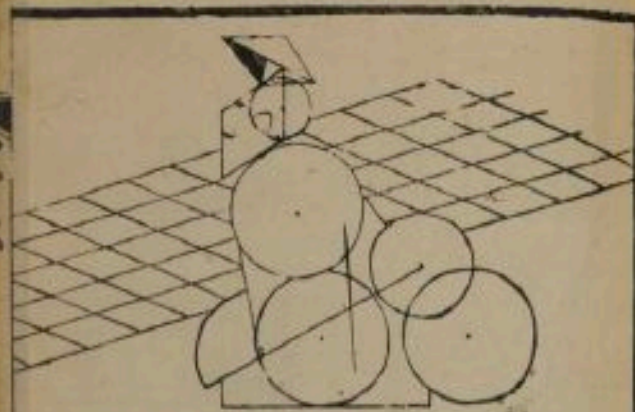
かきつむし  
むし  
あひ

あひ  
かきつむし  
むし  
あひ



あひ  
かきつむし  
むし  
あひ

あひ  
かきつむし  
むし  
あひ



ひーとちのゆて  
やんとうをちんちん

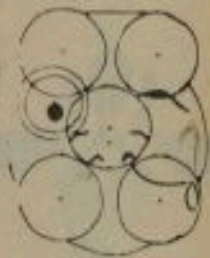




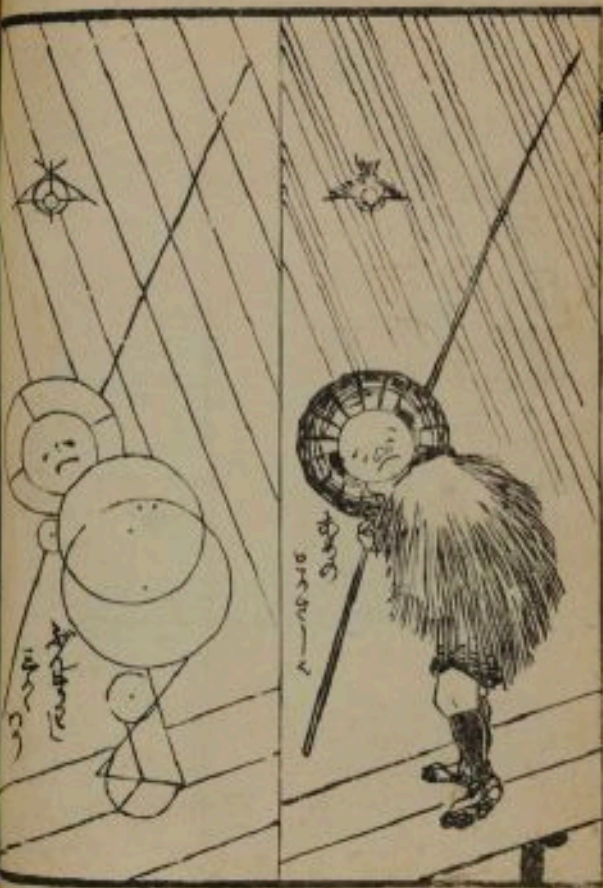
たみのつりま



まほおたの  
うだむ



かあめ  
りり

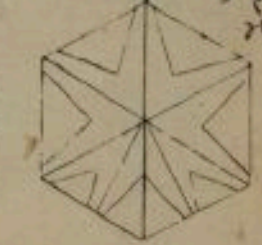
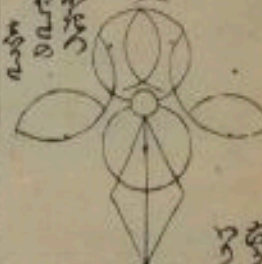
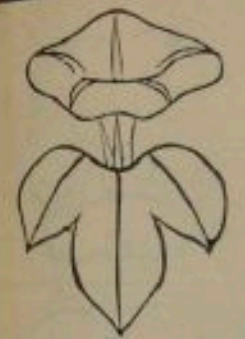


あま  
あま

あまのつゆ



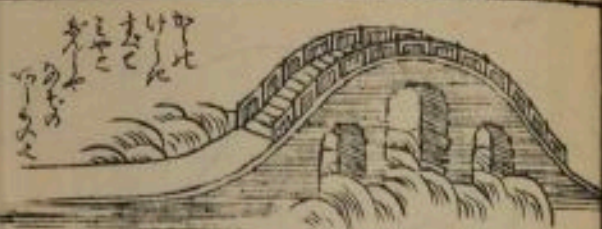
あまのつゆ  
あまのつゆ  
あまのつゆ



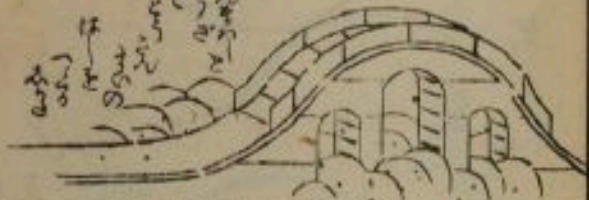
あまのつゆのつゆ

あまのつゆ  
あまのつゆ  
あまのつゆ

あまのつゆ  
あまのつゆ  
あまのつゆ



か  
け  
た  
ま  
ま  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み



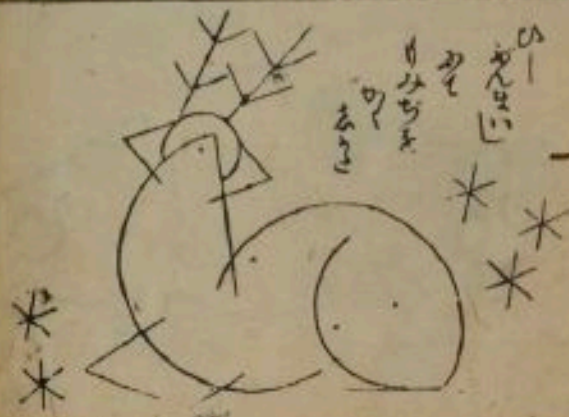
か  
け  
た  
ま  
ま  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み



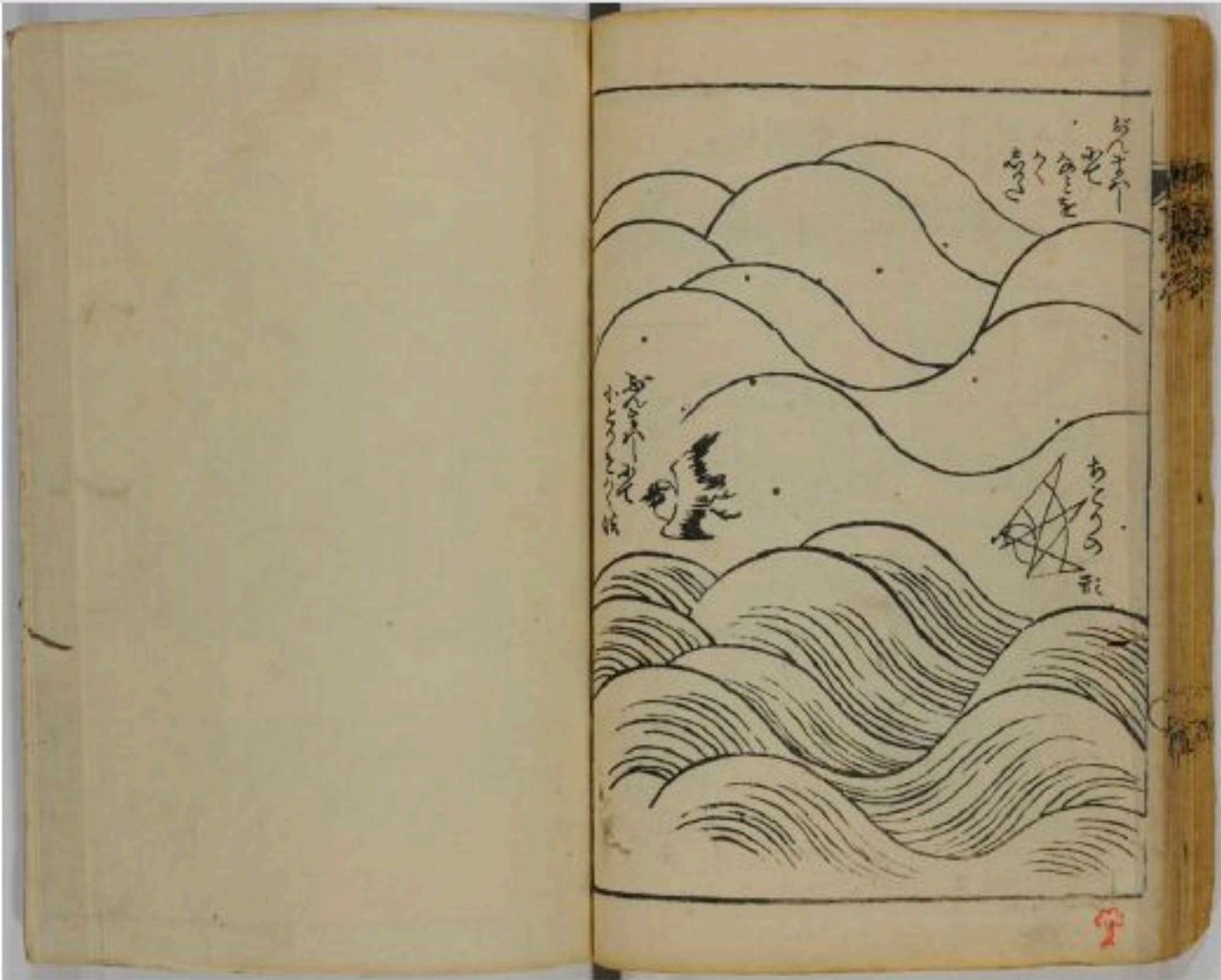
か  
け  
た  
ま  
ま  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み



か  
け  
た  
ま  
ま  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み



か  
け  
た  
ま  
ま  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み  
の  
か  
み





辯士辯士の如く如く言言をを重重ててああららふ  
 小泉小泉何何某某亦亦彫彫刻刻のの妙妙手手にに一一とと力力をを以以て  
 虫虫のの筋筋骨骨ををたたららししてて在在にに飛飛行行自自主主にに  
 幸幸上上思思てて以以小小冊冊後後世世のの至至法法ととしし  
 見見家家人人伝伝ををりりししてて學學すすにに方方々々にに

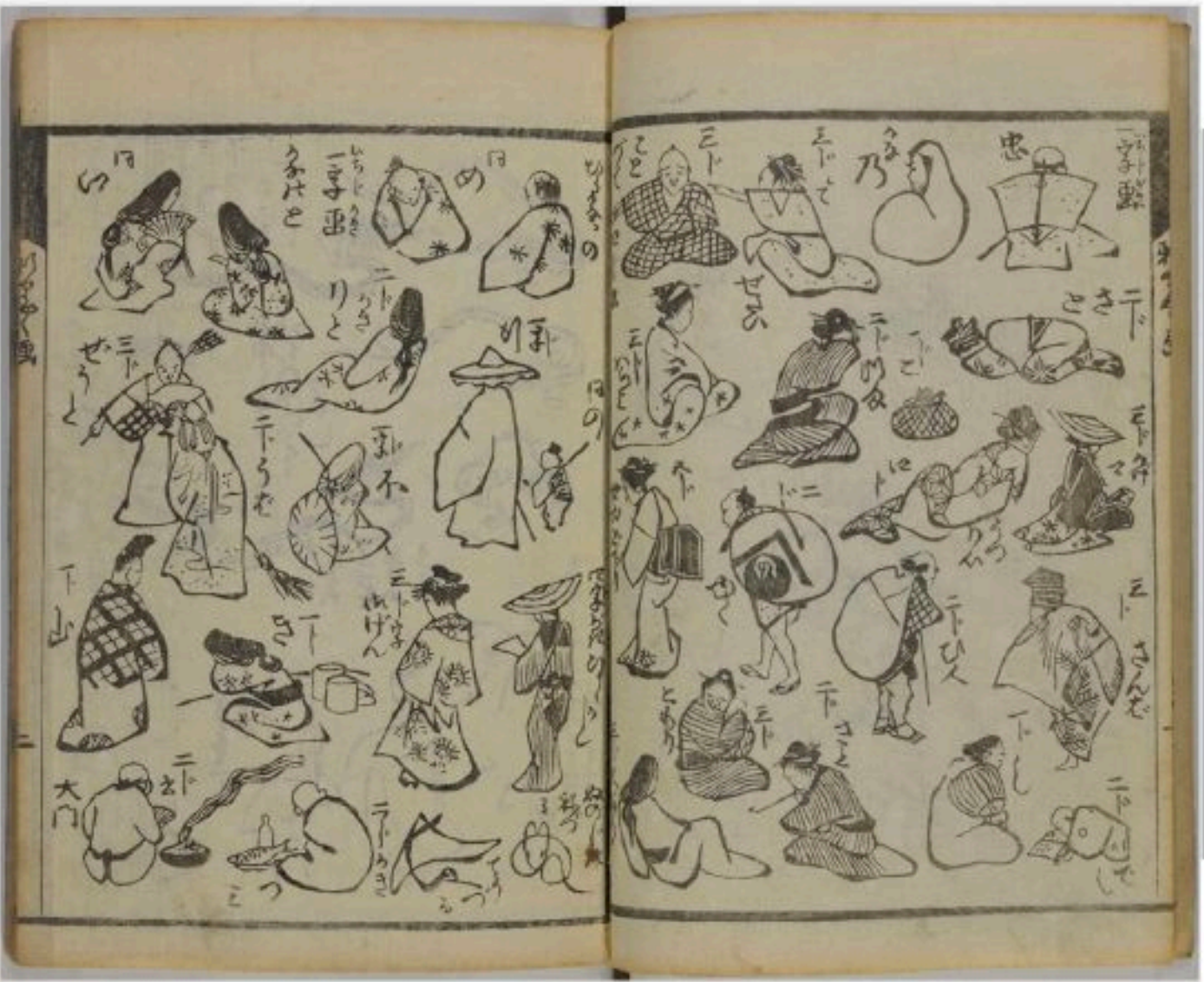
文化十一

戊の中秋

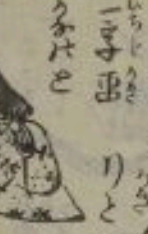
山水天袖未骨

天狗堂

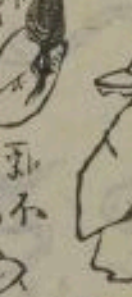
契鐵述



一字一画



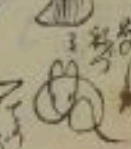
一字一画



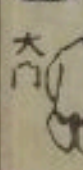
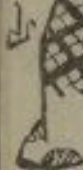
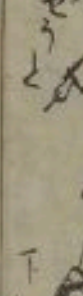
一字一画



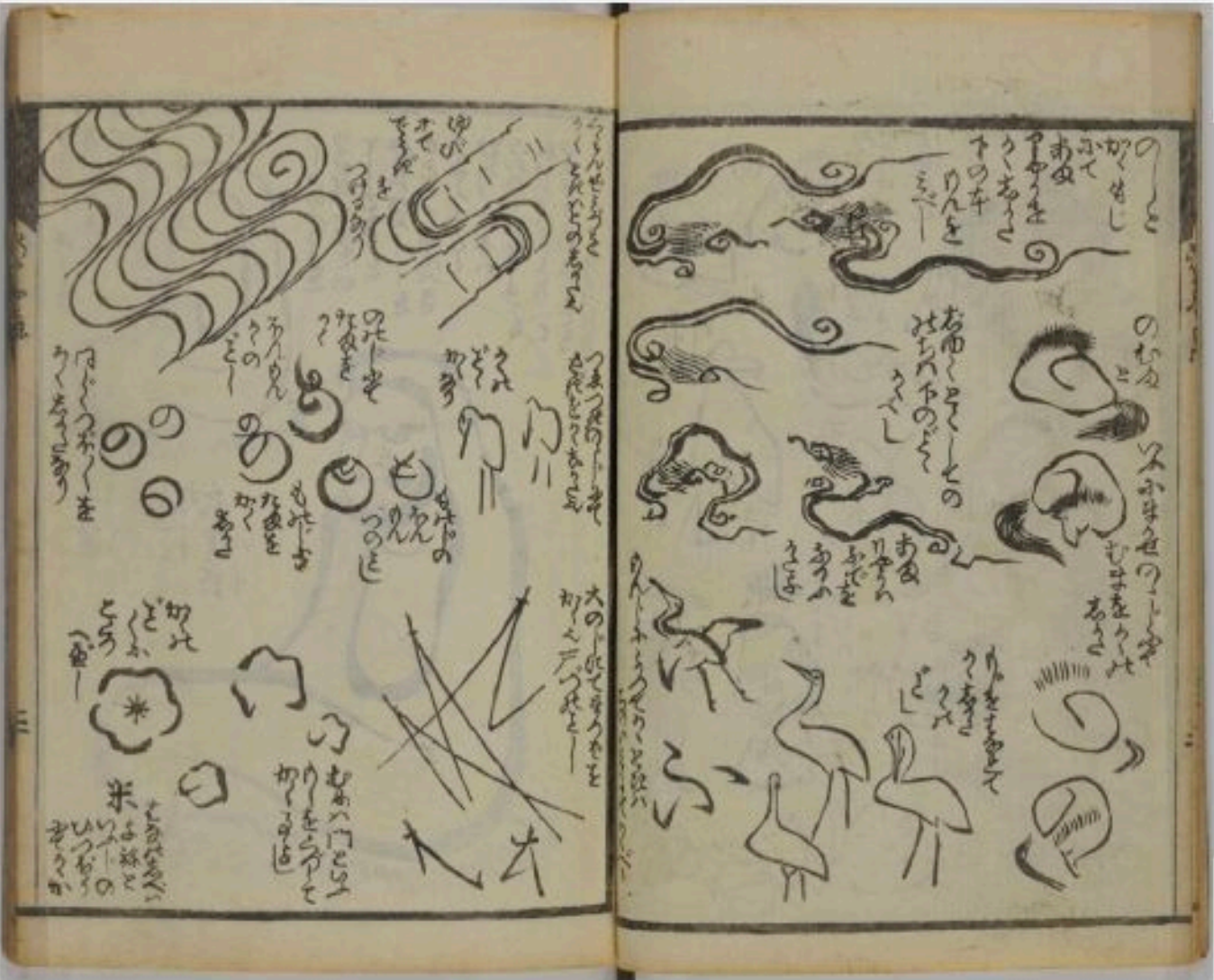
一字一画



一字一画



一字一画



あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

つゝのしやうま  
りめてあの  
うやま  
うやま



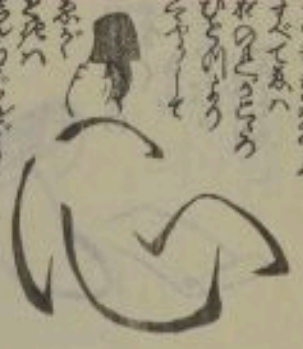
あんなま  
えい  
うら  
うら  
うら  
うら

うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら



あんなま  
えい  
うら  
うら  
うら  
うら

うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら  
うらうら



あんなま  
えい  
うら  
うら  
うら  
うら





せりたかかきまは  
あきの多し  
たこはたこよりま  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ

SMONG  
あつあつ  
あつあつ  
あつあつ  
あつあつ  
あつあつ



E  
E  
E  
E  
E  
E  
E  
E  
E  
E



あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ

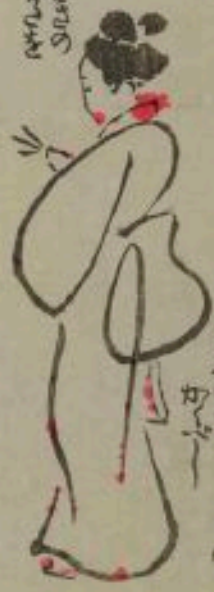


あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ  
あつあつあつあつ



和服の図

このおきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの



おきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの

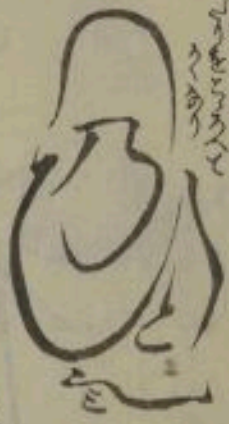


おきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの



おきりの  
おきりの  
おきりの  
おきりの

かんりんくわん  
りんくわん  
ちんくわん  
うんくわん



ちんくわん  
うんくわん

かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの



かんの  
かんの

かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの  
かんの

かんの

かんの



そのりしをわんせす七七五五  
あしきとんぶつてのりしをわんせす  
みまきのすしめすりしをわんせす  
あすん

みまきのすしめすりしをわんせす

みまきのすしめすりしをわんせす

十のりしをわんせす

いすものりしをわんせす

あうしんとわんせすすす  
すすすすすすすすすす  
よすすすすすすすすす

あうし

りんと

あにやうすの



けさのてんく  
 ゆきうらふて  
 子人のま  
 うんまうり  
 りんせいの  
 けさのてんく  
 そのひがし  
 うらたのてんく  
 けさのてんく

けさのてんく

けさのてんく

けさのてんく

けさのてんく

けさのてんく

けさのてんく

けさのてんく



けさのてんく  
 ゆきうらふて  
 子人のま  
 うんまうり  
 りんせいの  
 けさのてんく  
 そのひがし  
 うらたのてんく  
 けさのてんく



けさのてんく  
 ゆきうらふて  
 子人のま  
 うんまうり  
 りんせいの  
 けさのてんく  
 そのひがし  
 うらたのてんく  
 けさのてんく

けさのてんく  
 ゆきうらふて  
 子人のま  
 うんまうり  
 りんせいの  
 けさのてんく  
 そのひがし  
 うらたのてんく  
 けさのてんく

りてうんてい  
ふとあつた  
あつたうのこ



あをーとあんと  
かいてれあめ  
かちをこーちゆ  
りしてらなわして  
あつたあつたに  
あつたあつたに  
あつたあつたに  
あつたあつたに  
あつたあつたに  
あつたあつたに



のりノム  
入とあつて  
らうちの  
かちを  
かちを  
かちを  
かちを  
かちを  
かちを  
かちを  
かちを



山とつりてをらんで山すのちわんを  
かくあり山ヨこまらちあてかん久多を

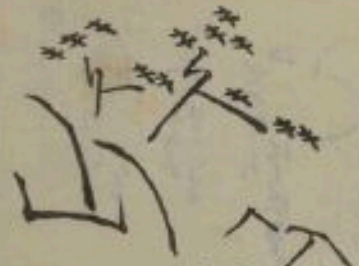
こまらち  
あまらち  
おまらち

三山

回  
山  
山  
山



山とつりてをらんで山すのちわんを  
かくあり山ヨこまらちあてかん久多を  
こまらちあまらちおまらち



山  
山  
山  
山



小鳥の鳴き声  
つれづれに  
つれづれに  
つれづれに

つれづれに

つれづれに

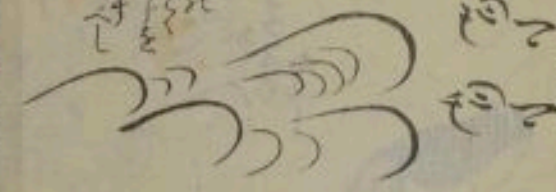
つれづれに

つれづれに

つれづれに

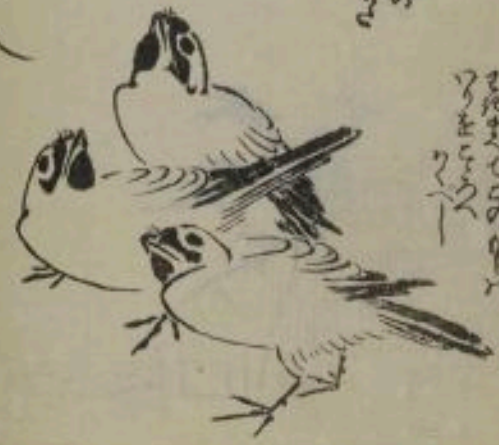
つれづれに

つれづれに



せん入のちまにわたりを  
まはすこの鳥は  
つれづれに  
つれづれに

つれづれに



つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに





山と山と  
山と山と  
山と山と  
山と山と  
山と山と

山と山と  
山と山と  
山と山と  
山と山と  
山と山と



山と山とをうら  
又みのりもすこ  
ろすすうり

山と山とをうら  
又みのりもすこ  
ろすすうり

山と山とをうら  
又みのりもすこ  
ろすすうり



山と山とをうら  
又みのりもすこ  
ろすすうり

大木をんせうしむるのまじりつ  
 西のそとにわたりをこせうちんせう  
 くらげをこまみすりせうちんせうの  
 けしむをくせうのまじりつ

二五十二  
 二六十一  
 二七十一  
 二八十一  
 二九十一  
 三〇一  
 三一  
 三二  
 三三  
 三四  
 三五  
 三六  
 三七  
 三八  
 三九  
 四〇  
 四一  
 四二  
 四三  
 四四  
 四五  
 四六  
 四七  
 四八  
 四九  
 五〇  
 五一  
 五二  
 五三  
 五四  
 五五  
 五六  
 五七  
 五八  
 五九  
 六〇  
 六一  
 六二  
 六三  
 六四  
 六五  
 六六  
 六七  
 六八  
 六九  
 七〇  
 七一  
 七二  
 七三  
 七四  
 七五  
 七六  
 七七  
 七八  
 七九  
 八〇  
 八一  
 八二  
 八三  
 八四  
 八五  
 八六  
 八七  
 八八  
 八九  
 九〇  
 九一  
 九二  
 九三  
 九四  
 九五  
 九六  
 九七  
 九八  
 九九  
 一〇〇



山と山をわりのあひせ  
 ぬんまはらちをきん  
 けりてあひせりて  
 けりてあひせりて  
 はあひせりて  
 のりてあひせりて



二五  
 二六  
 二七  
 二八  
 二九  
 三〇  
 三一  
 三二  
 三三  
 三四  
 三五  
 三六  
 三七  
 三八  
 三九  
 四〇  
 四一  
 四二  
 四三  
 四四  
 四五  
 四六  
 四七  
 四八  
 四九  
 五〇  
 五一  
 五二  
 五三  
 五四  
 五五  
 五六  
 五七  
 五八  
 五九  
 六〇  
 六一  
 六二  
 六三  
 六四  
 六五  
 六六  
 六七  
 六八  
 六九  
 七〇  
 七一  
 七二  
 七三  
 七四  
 七五  
 七六  
 七七  
 七八  
 七九  
 八〇  
 八一  
 八二  
 八三  
 八四  
 八五  
 八六  
 八七  
 八八  
 八九  
 九〇  
 九一  
 九二  
 九三  
 九四  
 九五  
 九六  
 九七  
 九八  
 九九  
 一〇〇



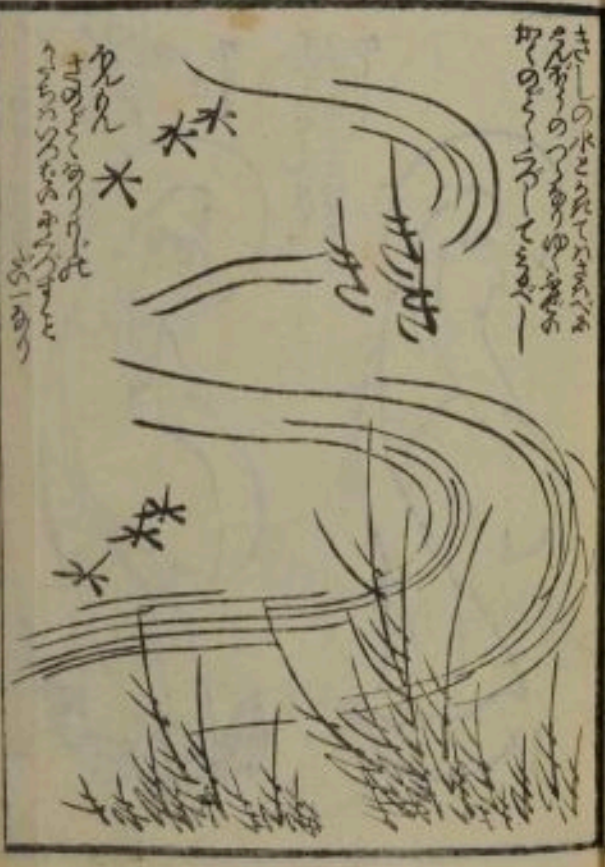
三つと川のかきまきおゆらうあひ  
 さみせんのかきまきよくまらへふ  
 ありてチリテワトマシと  
 けしをけりあらかせれとこれ  
 さやでありはあき  
 ことあり

てれとのよこ  
 はあか  
 ぐん  
 あよ  
 なを  
 ざりあし  
 けちを  
 つくまき  
 なるあせのワイの



あれちうかり  
 せいふこはけい  
 ままにまらう  
 ありて  
 あせ

まはしの水とくたてのまはへ  
 せんがのつらありゆきあ  
 けのくくろしてまらへ



丸えん  
 まのくありりた  
 けちのくちのまらへ  
 の一あり







カキ + 2  
Kakigori  
Gururi

かき  
かき

カキ  
Gururi

かき  
かき

カキ  
Gururi



カキ  
Gururi

カキ  
Gururi



カキ  
Gururi



うみつとみはくらのまろしき  
川こまゆりをうらめしむ  
つらみんをうらめしむ  
うらめしむうらめしむ

うらめしむ  
うらめしむ

うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ



水と  
うらめしむ

うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ

うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ

うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ  
うらめしむ



うらめしむ

うらめしむ

らんごうせやうの  
 きんごうの  
 おのり  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん



らんごうせやうの  
 きんごうの  
 おのり  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん

らんごうせやうの  
 きんごうの  
 おのり  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん

らんごうせやうの  
 きんごうの  
 おのり  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん



らんごうせやうの  
 きんごうの  
 おのり  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん  
 かんらん



わんりんぐれど  
あせのみび  
ちかみか  
こころを  
つげ

愛

このえびのひんじん  
かいてらぬたら  
ふせいとあつ  
ひんじん  
のちふあその  
あつとつげとつげ  
のもつげとつげ



ひんじん  
かいてらぬたら  
ふせいとあつ  
ひんじん  
のちふあその  
あつとつげとつげ  
のもつげとつげ

ひんじん  
かいてらぬたら  
ふせいとあつ  
ひんじん  
のちふあその  
あつとつげとつげ  
のもつげとつげ



ひるこのりしをすすて  
のち大こころのて  
おあかむちん  
くたちと  
おど

大のり  
あやゆふ  
まき

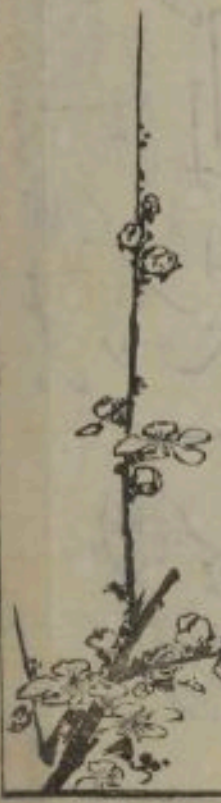
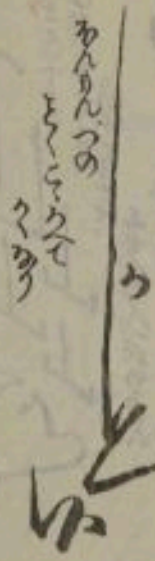
このよ  
おさふ  
くハのあ  
あつら  
おん  
おん  
おん



うた  
おん  
おん

ひるこのりしをすすて  
のち大こころのて  
おあかむちん  
くたちと  
おど

おん  
おん  
おん





れつーとまけ  
あふふふふふふふ

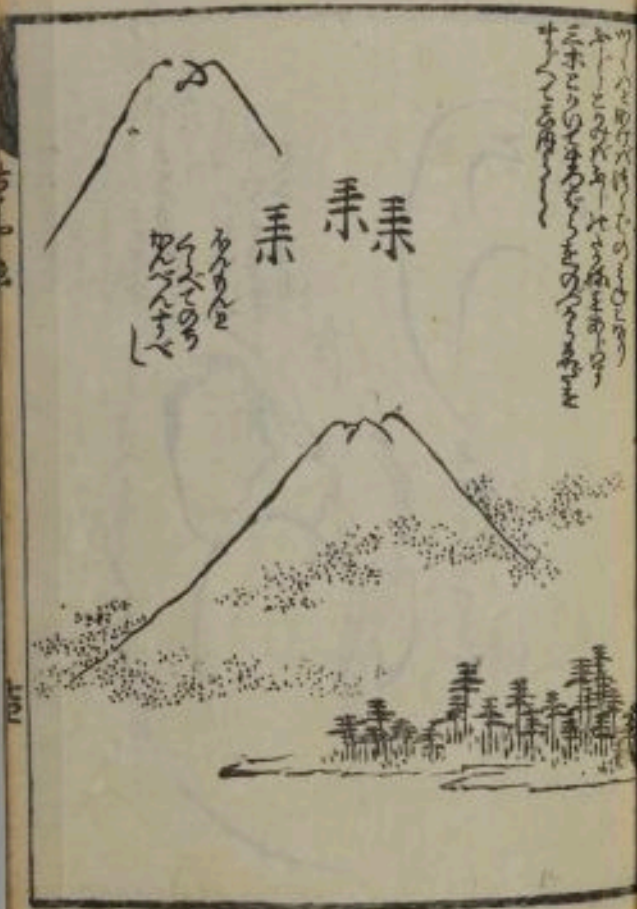
晩



山山山

山山山

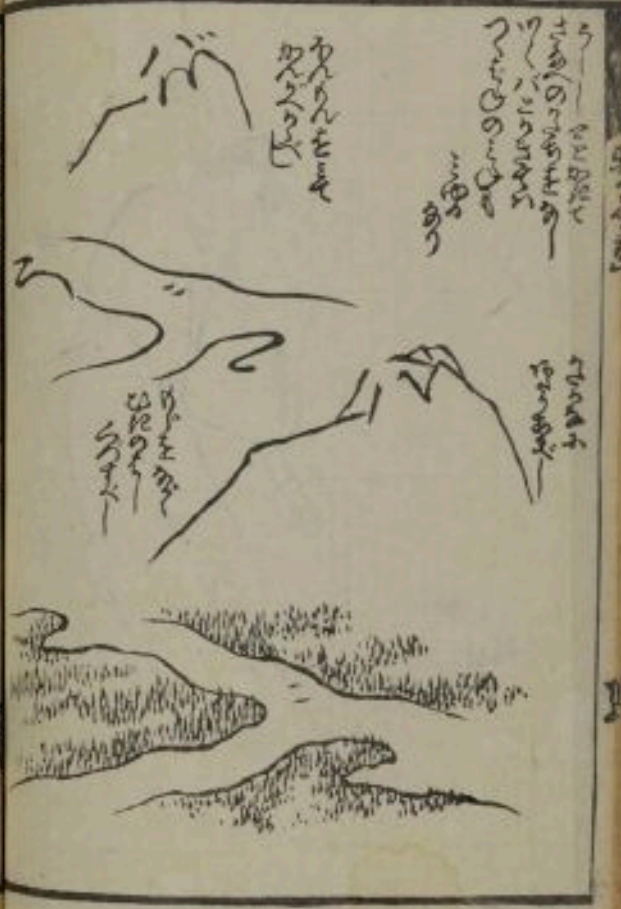




あんなを  
かへんを  
あんなを  
あんなを

柔 柔 柔

わがやうな山はあつたのうへに  
かへんを  
あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを



あんなを  
あんなを

あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを

あんなを  
あんなを

あんなを  
あんなを  
あんなを  
あんなを

九ねんねんたふたて  
らあすめんのおきすま  
うろたすかかひはまきり  
かんらのむりめであろの  
ゆあをこまきんまか  
おれんたこは  
その年のけんか  
それいりのりんたき  
たんかよるまき



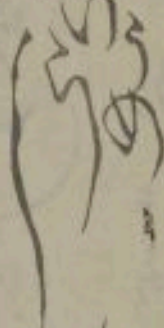
あつこ



あつこ

あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ

あつこの  
あつこの  
あつこの



あつこ

あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ  
あつこ



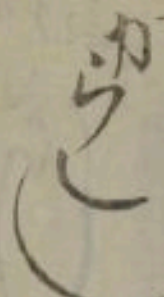
あつこの  
あつこの  
あつこの

あつこの  
あつこの  
あつこの

あつこの  
あつこの  
あつこの  
あつこの  
あつこの  
あつこの  
あつこの  
あつこの  
あつこの  
あつこの

からいふは、かきくひのこまを  
つる三つとも  
り、を男もひか  
かんりんあふふふ

むすぶらうた  
ら  
ら



か  
ら  
ら

か  
ら  
ら  
ら



か  
ら  
ら  
ら

くひや  
るののら  
わら

か  
ら  
ら  
ら

か  
ら  
ら



か  
ら  
ら

ちりけり山まのちせせり  
かきつたつあす  
まのちせせり

ちのく  
あまのく  
ちりけり



あまのく  
ちのく  
あまのく  
ちのく

けせぬり  
かまを  
かきかき  
つり

かきかき  
かきかき  
かきかき

かきかき  
かきかき  
かきかき

まのちせせり

まのちせせり

まのちせせり



まのちせせり

あまのく  
ちのく  
あまのく  
ちのく





山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

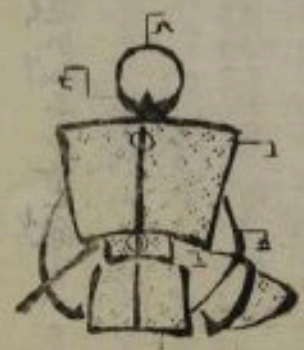
山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

山山山のそとへ  
山山山のそとへ  
山山山のそとへ

山山山のそとへ



返直書  
山山水天狗



山入やまいりにこ士こ  
はいしにこ士こ

五五 五五  
 五五 五五  
 じじ けけ けけ けけ  
 けけ けけ けけ けけ



五五三三八八七七にこ士こ入いるこ  
 つ山つのこここれれトトたたくくままべべし

い  
こ  
の  
こ  
れ  
ト  
た  
く  
ま  
べ  
し



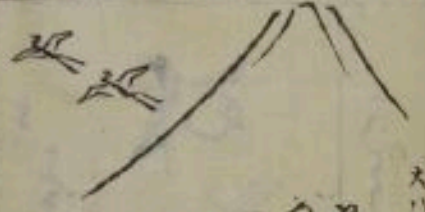
七七八八三三八八七七にこ士こ入いるこ  
 十十一一トトくくママトトすすままべべし

い  
こ  
の  
こ  
れ  
ト  
た  
く  
ま  
べ  
し

山 七 の  
 山 八 の  
 山 九 の

八 九 の  
 十 十一 の  
 十二 十三 の

山の中は  
 礼者

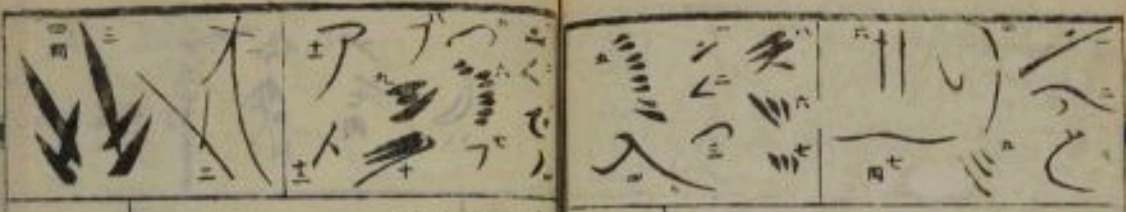


大川に  
 小川に  
 山に

さ  
 八  
 小  
 八  
 大  
 八  
 小  
 八

三  
 十  
 一  
 た  
 ま  
 の  
 法





フイヤス エモアスホにありヤツ  
 アトツノクニでササありケウ

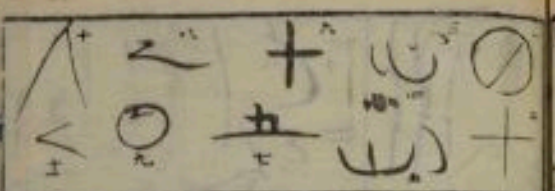


大のーハ、まじり、  
 十もは、まじり、  
 十一、まじり、  
 八ッ、  
 くと、

ニハ、ろり、ミ、オ、ト、い、ふ、ホ、ー、け  
 ー、ま、よ、こ、に、ー、て、け、ら、い、る、ま、り



天のくこ  
 三、い、こ、つ、れ  
 ニ、ン、は、り  
 へ、と、い、く、と、  
 ま、い、  
 と、よ、ま、り、



晴うひと六十の心に入をきく  
 五十八枚に小山のくく



人の田をききにおく十女々  
 月代二のーにメーし居る



十  
 八  
 七  
 五  
 三  
 二  
 一

氏ハアヘ一人ハ人十二丁  
 叶久やまひゆ人十一



十  
 八  
 七  
 五  
 三  
 二  
 一

十八はもと一と女時を  
 おもひかきけと十二でうらん



昔は水くみおとく  
 ねーかーく  
 人いの人  
 二にかきま



只ハバニ  
 二ノハバ  
 一ノハバ  
 三ノハバ  
 四ノハバ  
 五ノハバ  
 六ノハバ  
 七ノハバ  
 八ノハバ  
 九ノハバ  
 十ノハバ



只ハバニ  
 ニノハバニ  
 三ノハバニ  
 四ノハバニ  
 五ノハバニ  
 六ノハバニ  
 七ノハバニ  
 八ノハバニ  
 九ノハバニ  
 十ノハバニ

イダ  
 ニ  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十



つりつりハ  
 ハもコハ  
 三ノハバ  
 四ノハバ  
 五ノハバ  
 六ノハバ  
 七ノハバ  
 八ノハバ  
 九ノハバ  
 十ノハバ  
 十一ノハバ  
 十二ノハバ  
 十三ノハバ  
 十四ノハバ  
 十五ノハバ  
 十六ノハバ  
 十七ノハバ  
 十八ノハバ  
 十九ノハバ  
 二十ノハバ



のの  
のの  
のの  
のの

人の  
のの  
のの  
のの  
のの



の人をらげりたう  
おーあふ  
大我なうて  
もみちすう

ふねがまつふ十八十八十二

山心のほまいとこまう



人の十あまの八十三うろ

十二たつ母とともあひるらう

一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ



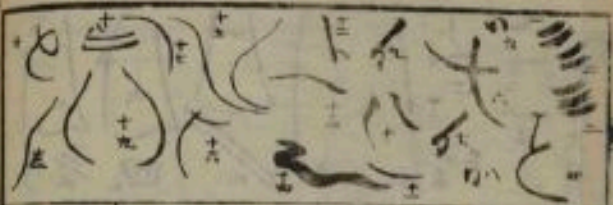
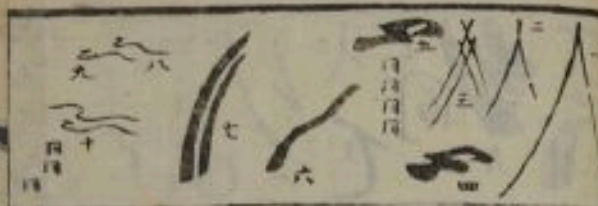
一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ

一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ



一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ

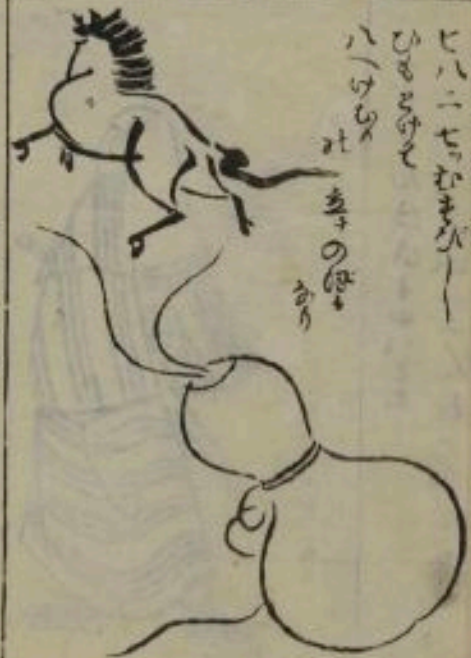
一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ  
 一ニリんは十四ハエニ



人人ノ十をさすめてのすあとも  
 一二三四五のほろろ



いにに三七八一のほろろ  
 まのほろろにのほろろらん



ヒハニセのむまがー  
 ひろろろろ  
 ハハハハハ  
 まのほろろ  
 まり

Handwritten text at the top of the left page, including characters like 山, 人, and 土.

Handwritten text at the top of the right page, including characters like 洞, 土, and 人.

ハハニニ人々人々さうさぬニ  
ヒハ十の山ねむさうり



ハハハアアハニワ人々として  
ヒニ十の山ねむさうり



川 山 川 山 川 山  
 上 上 上 上 上 上  
 下 下 下 下 下 下

山 山 山 山 山 山  
 上 上 上 上 上 上  
 下 下 下 下 下 下



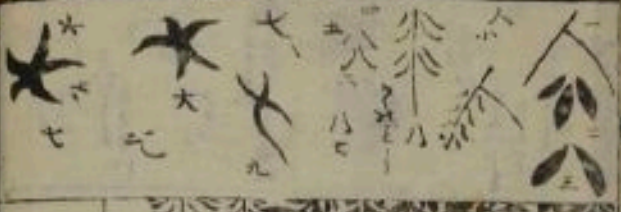
一とへ死びじ八四と川二下  
 心とれさいきやう



八八二五二小三はまふりぬ  
 八のけむりはらうたいきやう

一八山八五八  
 二三四五  
 六七八九十





大  
三三の1にてうらたあま

いすい又  
ニハスハト  
あま  
あま



枝の七人にかのあま  
ハに



大のト  
ニハス  
あま



入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六



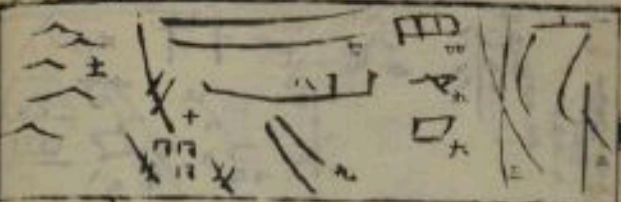
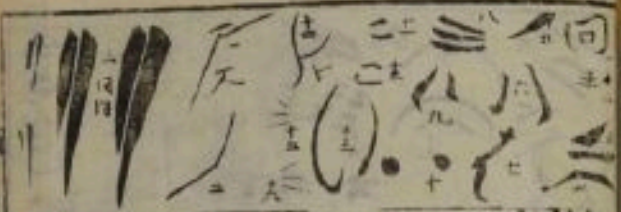
一上に入りを...  
 人を...  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六

入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六



一三四五...  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六  
 入 五 十 一 六





一人のへまきさつを  
すじろく  
はりあつて  
あーれまて  
あま

一二三と八八は玉しりこ  
三三同もこいんれうに

八十二田十八のちろら  
くまーまのーにあまはま

Handwritten text in the top left section of the left page, consisting of several lines of cursive Japanese characters.

Handwritten text in the top right section of the right page, consisting of several lines of cursive Japanese characters.

三三乃七くハハニニ入  
き川入(二十一)



人つ入  
六五  
二十

つをばけける  
お記帳

小まそつり入しニハセ  
おまのこニハ大ハ



ひるす  
へく  
三十  
あ  
二  
て  
あ



Handwritten Japanese text in the upper right quadrant, including characters such as 人, 山, 水, and 川.

Handwritten Japanese text in the upper left quadrant, including characters such as 山, 水, and 川.



Handwritten text in the middle right quadrant, including characters such as 山, 水, and 川.



Vertical handwritten text on the left side of the lower section, including characters such as 山, 水, and 川.

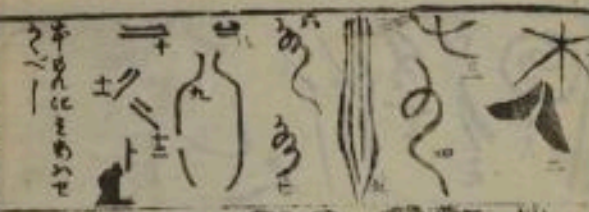
Handwritten Japanese text at the top of both pages, likely serving as a title or introductory notes for the drawings below.

へうふとニヘリハツしりとり  
 大ニじいふ何れのみ



一ニヤニ小ニ山一ハリ  
 イレ上りナリヤ上り



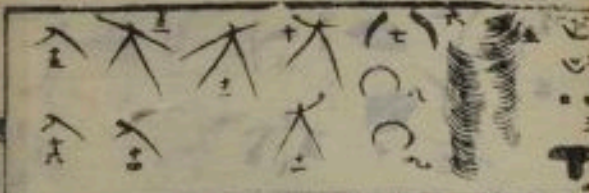


桑ハ木ハ  
 七九けるに  
 一ハニトクリ  
 めひけの  
 ち

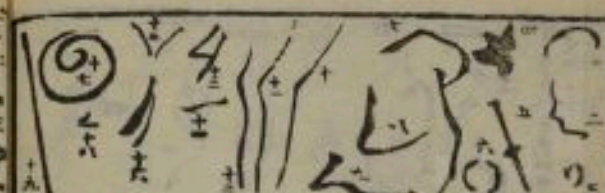


ムニム六  
 ニハとほく  
 一ニきせに  
 井づ

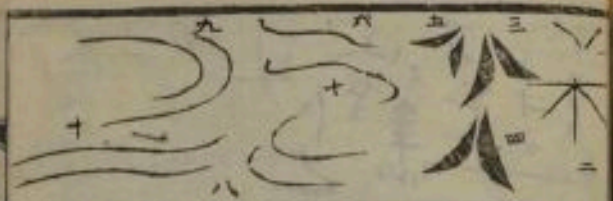
十ニ  
 ニリニ  
 十  
 可の  
 こまうく  
 九てーか



つづいて三をあとでよ二ハ  
 は羽をゆがゆがやぶ大ハ



十一い十をり  
 ミニク  
 ニルセのニ  
 ヤシメ  
 シ



あつなぐ  
こしもかた  
八木に  
七八の  
あつ  
針田川



六十七の  
きり八の  
八八の  
十の





葉が水ハニ降  
 つ十三し  
 のりつつ



Handwritten Japanese characters and symbols, including the number '五' (five) and '十' (ten), and various symbols like a crescent moon and a circle.

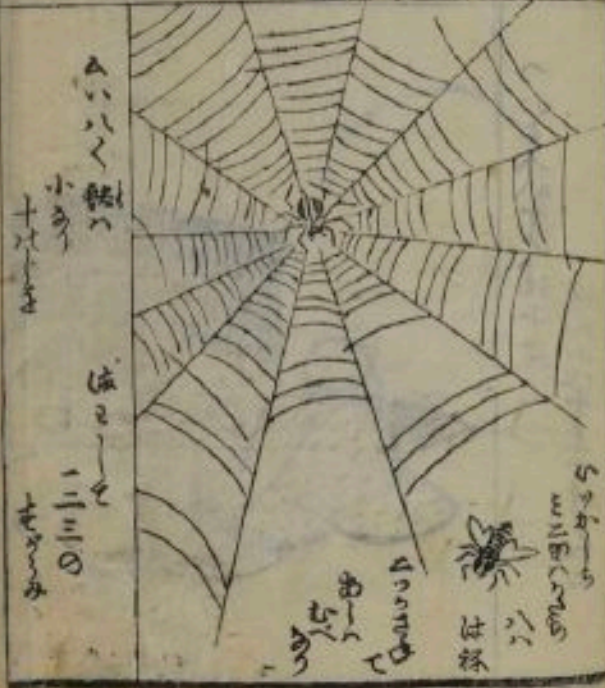
のりつつのりつつのりつつ  
 のりつつのりつつのりつつ



こころ  
 のりつつ  
 のりつつ



大木はがら  
 りんりん  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十



大木はがら  
 りんりん  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十



二 六 中 号  
 大 小 号  
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百



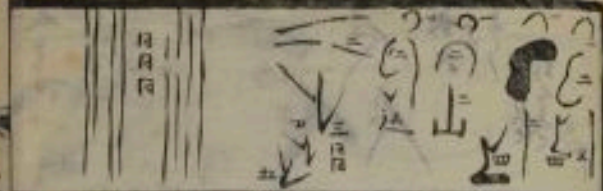
一 つ 二 つ 三 つ 四 つ 五 つ 六 つ 七 つ 八 つ 九 つ 十 つ 十一 つ 十二 つ 十三 つ 十四 つ 十五 つ 十六 つ 十七 つ 十八 つ 十九 つ 二十 つ 二十一 つ 二十二 つ 二十三 つ 二十四 つ 二十五 つ 二十六 つ 二十七 つ 二十八 つ 二十九 つ 三十 つ 三十一 つ 三十二 つ 三十三 つ 三十四 つ 三十五 つ 三十六 つ 三十七 つ 三十八 つ 三十九 つ 四十 つ 四十一 つ 四十二 つ 四十三 つ 四十四 つ 四十五 つ 四十六 つ 四十七 つ 四十八 つ 四十九 つ 五十 つ 五十一 つ 五十二 つ 五十三 つ 五十四 つ 五十五 つ 五十六 つ 五十七 つ 五十八 つ 五十九 つ 六十 つ 六十一 つ 六十二 つ 六十三 つ 六十四 つ 六十五 つ 六十六 つ 六十七 つ 六十八 つ 六十九 つ 七十 つ 七十一 つ 七十二 つ 七十三 つ 七十四 つ 七十五 つ 七十六 つ 七十七 つ 七十八 つ 七十九 つ 八十 つ 八十一 つ 八十二 つ 八十三 つ 八十四 つ 八十五 つ 八十六 つ 八十七 つ 八十八 つ 八十九 つ 九十 つ 九十一 つ 九十二 つ 九十三 つ 九十四 つ 九十五 つ 九十六 つ 九十七 つ 九十八 つ 九十九 つ 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百



ついでに入八十八の十一の  
 ほんのびりびりかんた





日月同  
 一ツツ  
 つつ  
 一とちつ山  
 一と  
 一と

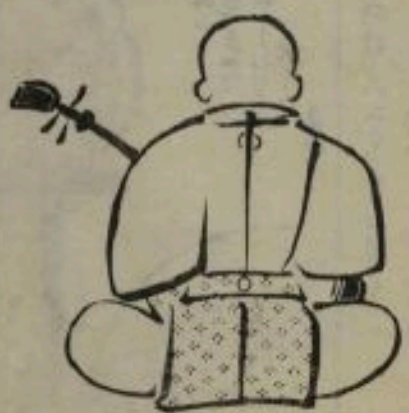


一ツツ  
 つつ  
 一とちつ山  
 一と  
 一と



主 日 山 大 正  
 主 主 主 主 主

け刀うりひさくこま  
 一ニサヤンシヤムシ



大 大 大 大 大  
 大 大 大 大 大  
 大 大 大 大 大

丁アしと下ニと三三七  
 三八のちりとうことまらう

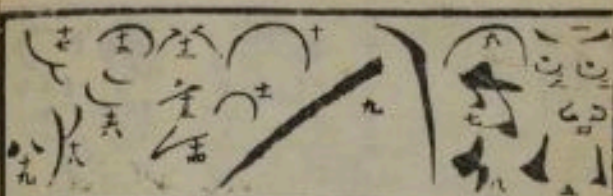
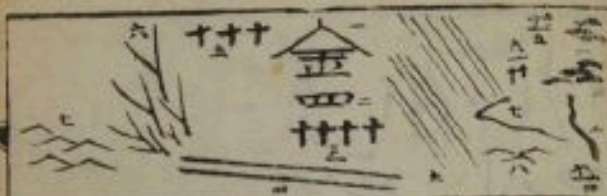


八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

天  
 月  
 星  
 雲  
 雨  
 風  
 雷  
 電  
 火  
 水  
 土  
 金  
 木  
 火  
 土  
 金  
 木







金四十二ききあもよひ六十よ  
 人のさうまひへもろふ林しう



一二二つのおつ二  
 むまはつ  
 ついこつらり  
 入い  
 あま  
 いま



Handwritten notes in the top left quadrant, including characters like 川 (river) and 山 (mountain).

Handwritten notes in the top right quadrant, including characters like 山 (mountain) and 川 (river).

七叶フミ草一廿二日川  
二ハの人もミイトル



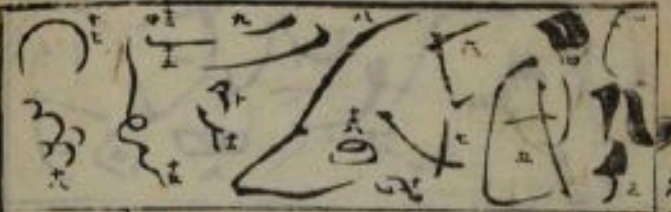
叶フミ草一廿二日川  
之川人トフレ一後



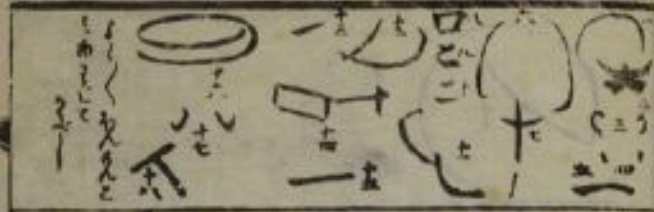
川村  
ハツ

ヒビニ人

シマウイテ



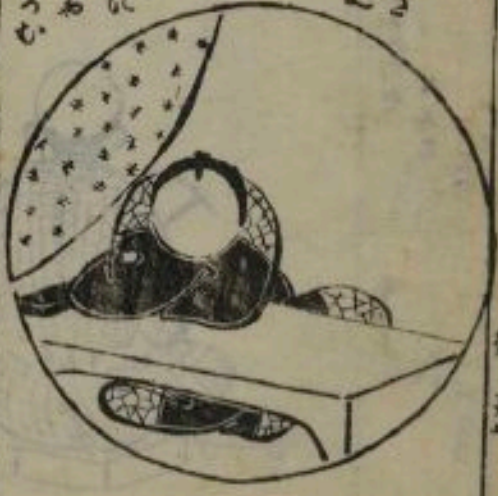
一二氏の口ハ人マア  
十一イの七廿盾あり



大ニニいつセ  
ムスコ  
一ニコ  
十丁二の  
いい  
叶あり



Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes, located above the large circular diagram.



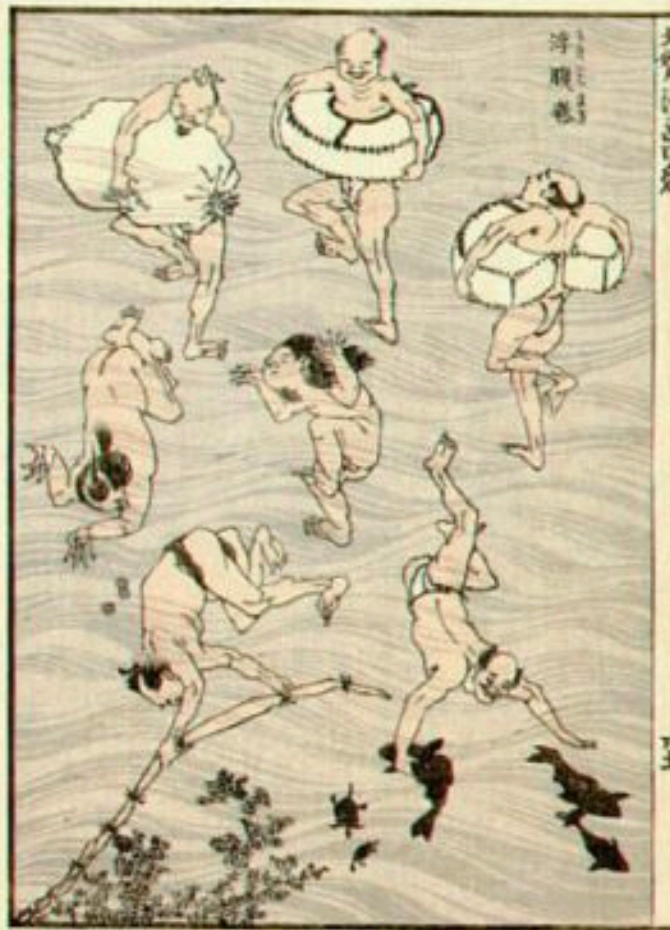
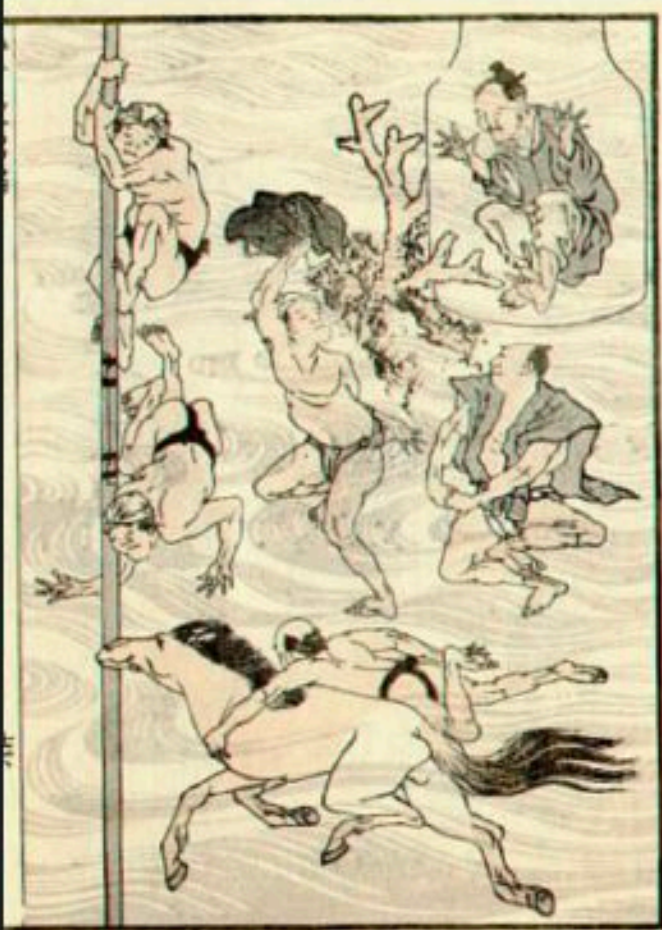
A vertical column of handwritten text on the left side of the page, providing a detailed description or explanation of the diagram above.

A small red handwritten mark or signature located at the bottom right corner of the page.

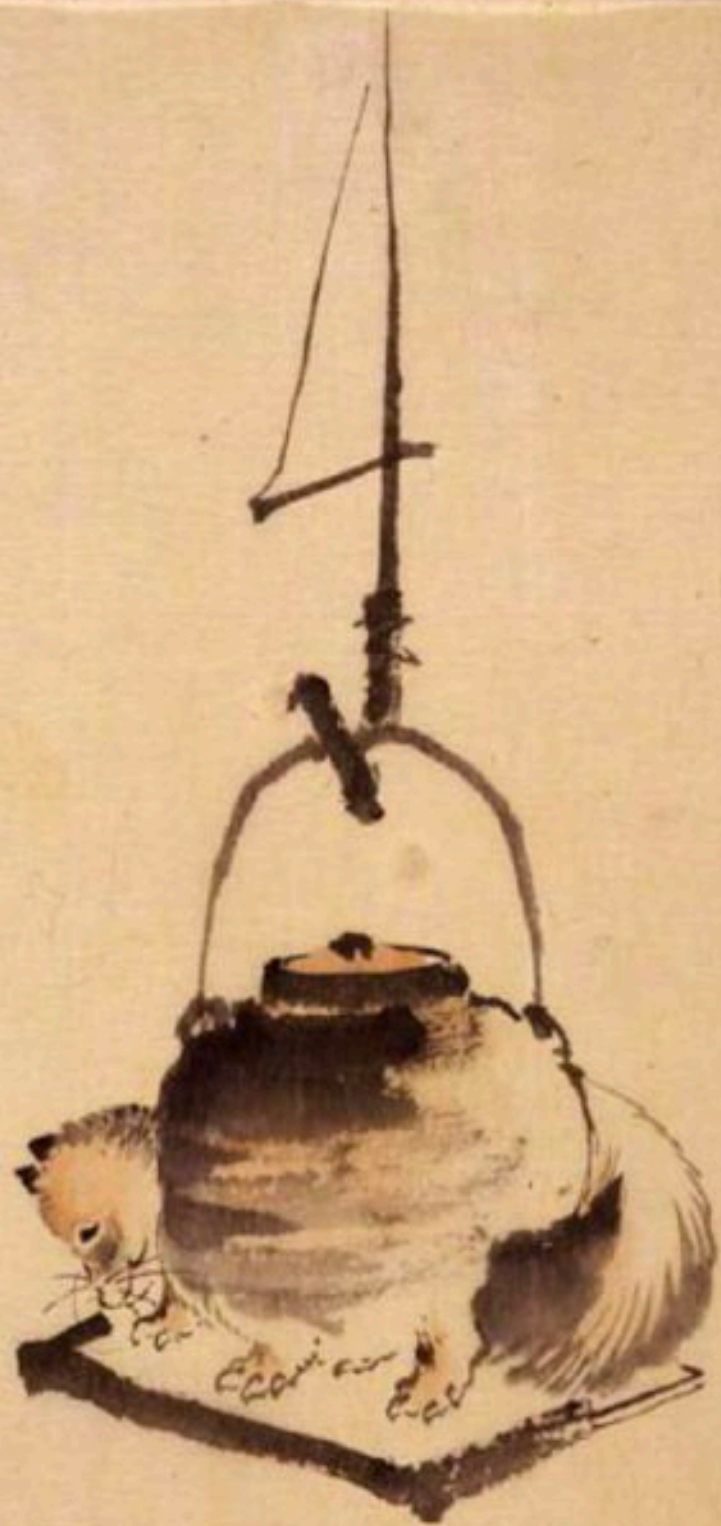


富士山 東海道 程々

藤村の富士

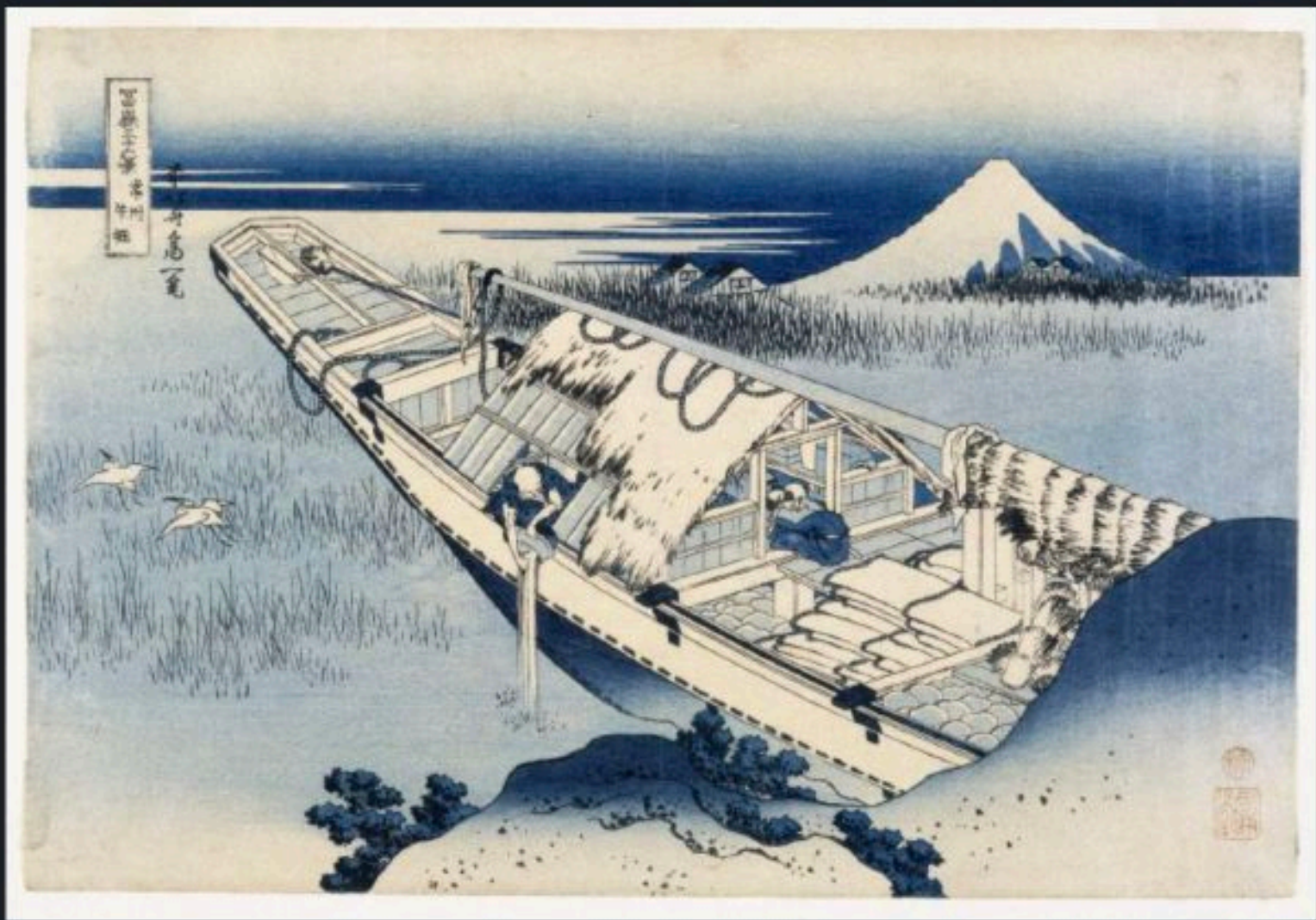








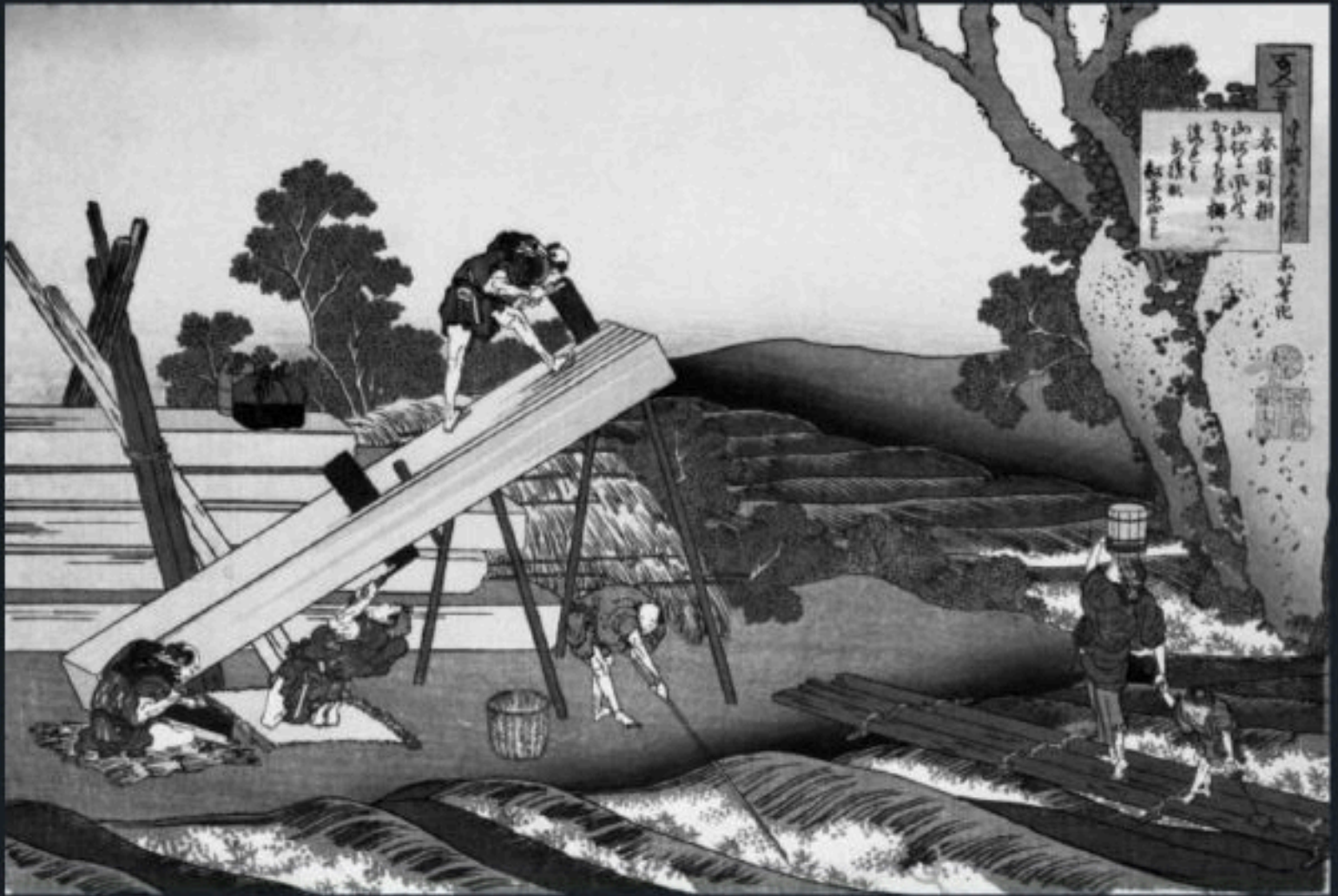




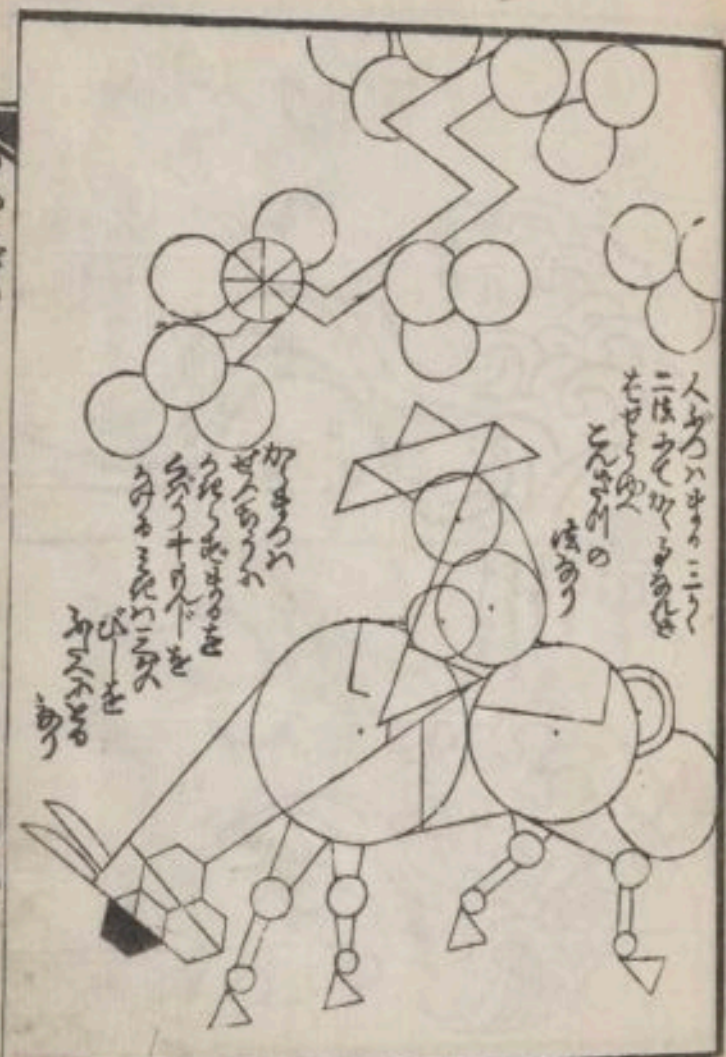
丹波川舟

舟高一丈





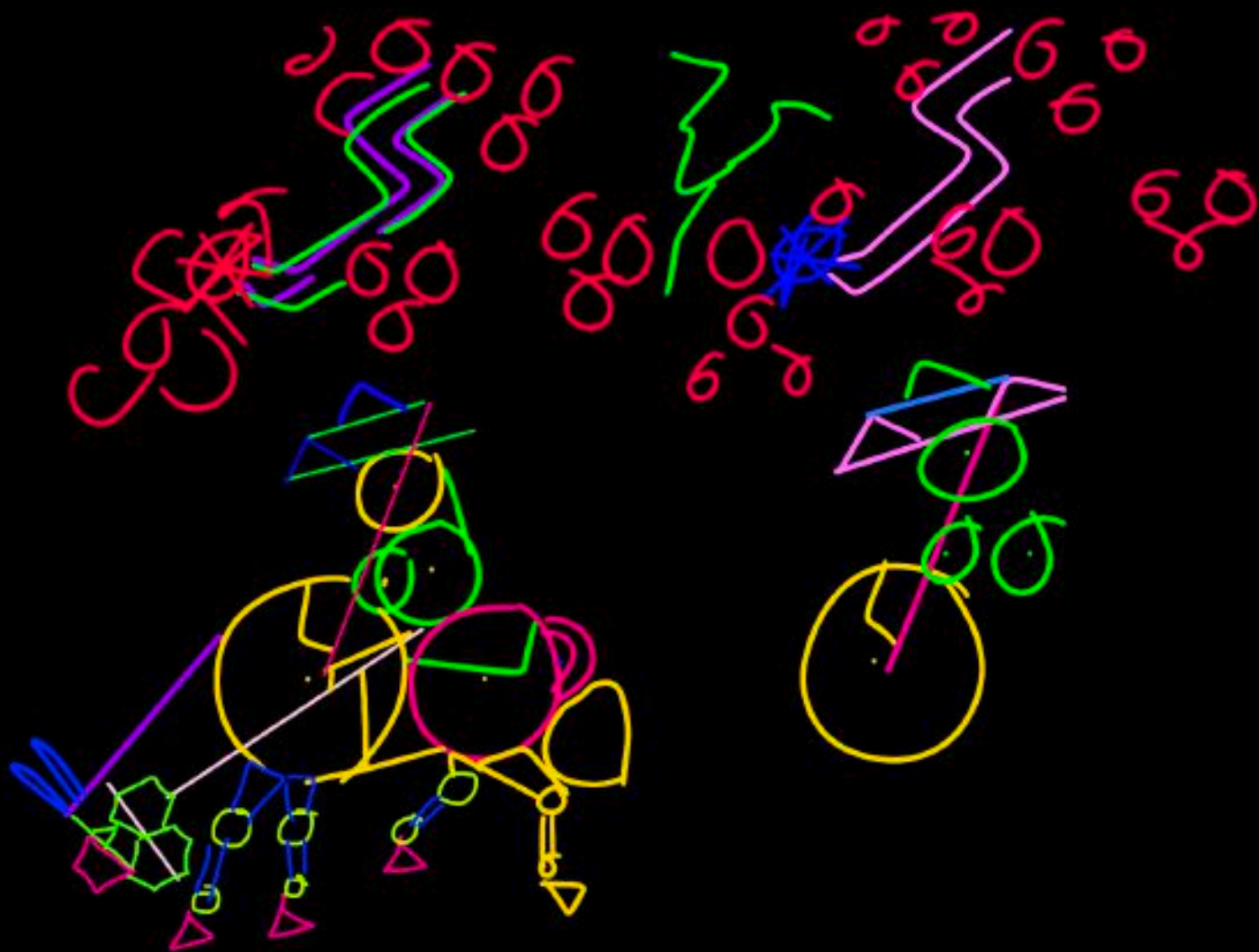


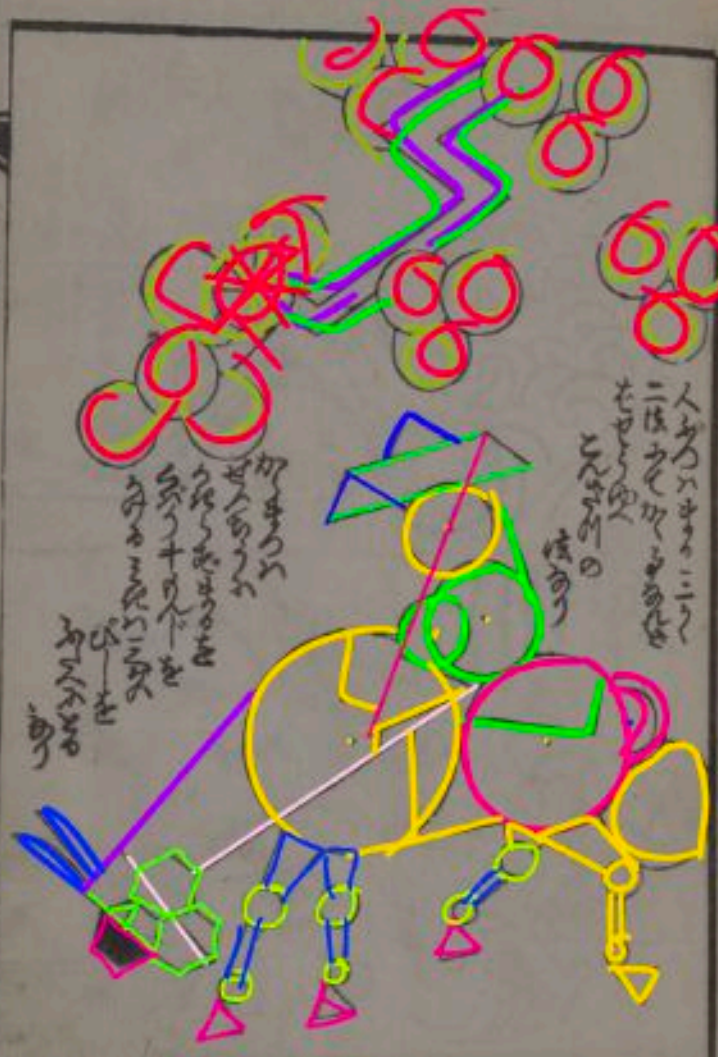


人かろいゆきこころ  
 ニほろくかきまはせ  
 もやうゆ  
 こんがりの  
 ほろり  
 かまろい  
 せんあうい  
 うねらあまろを  
 せんうすりい  
 おのろまはれい  
 びを  
 ぶらり  
 あり



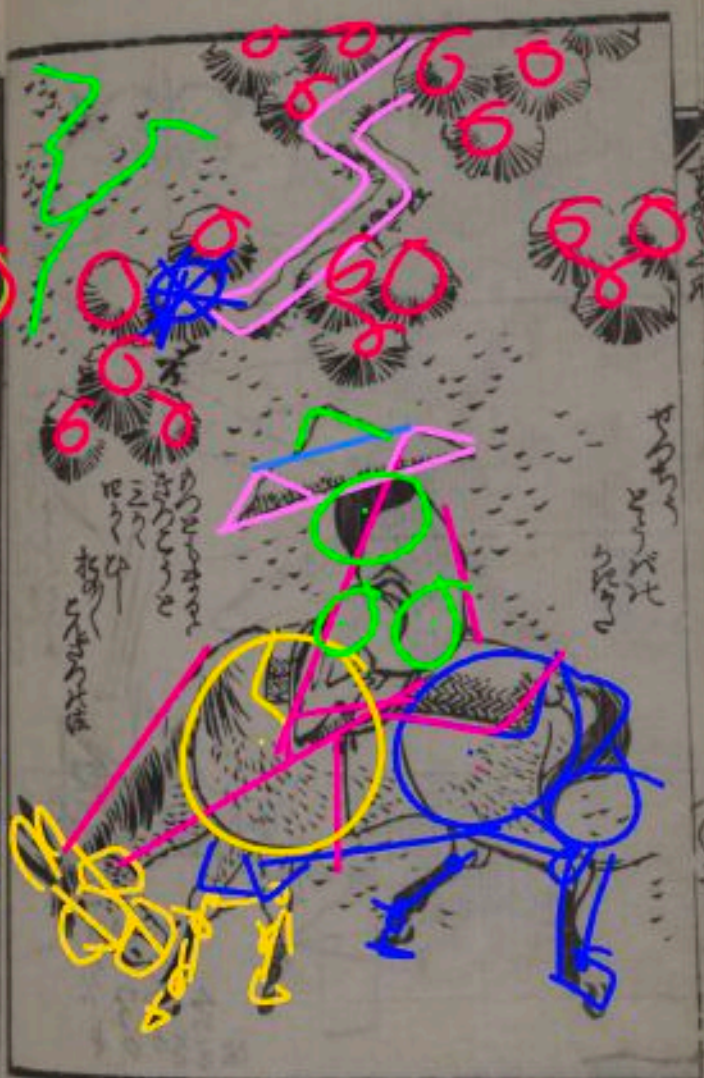
むらむら  
 こころは  
 うたむ  
 りのともま  
 きりこころ  
 こころ  
 りんご  
 木のこころは  
 せんぱい





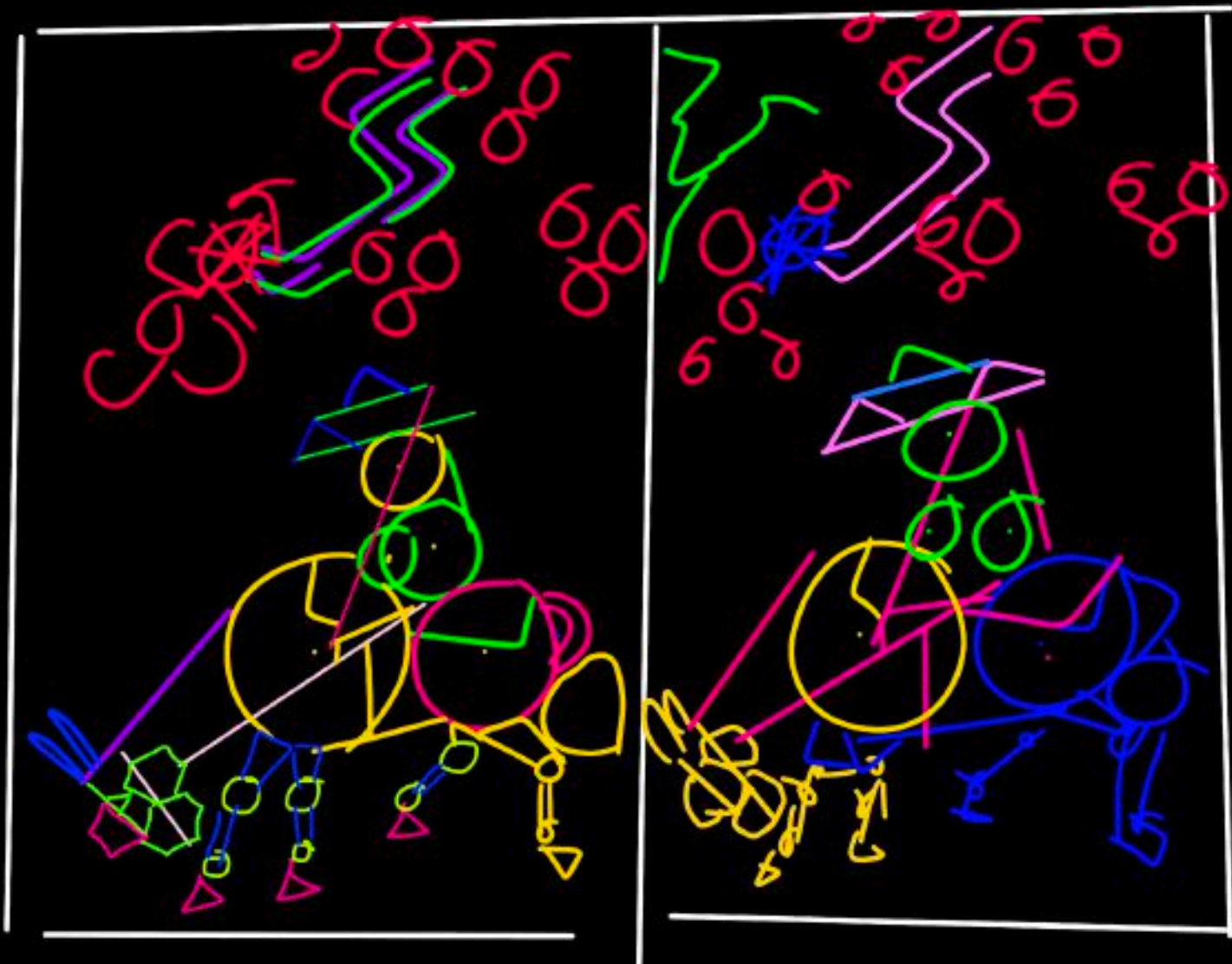
かまのり  
せんのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり

人かろのり  
二はろのり  
もせろのり  
こんろのり  
はろのり



りつろのり  
きろのり  
きろのり  
きろのり  
きろのり  
きろのり  
きろのり  
きろのり  
きろのり  
きろのり

かまのり  
せんのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり  
うしろのり







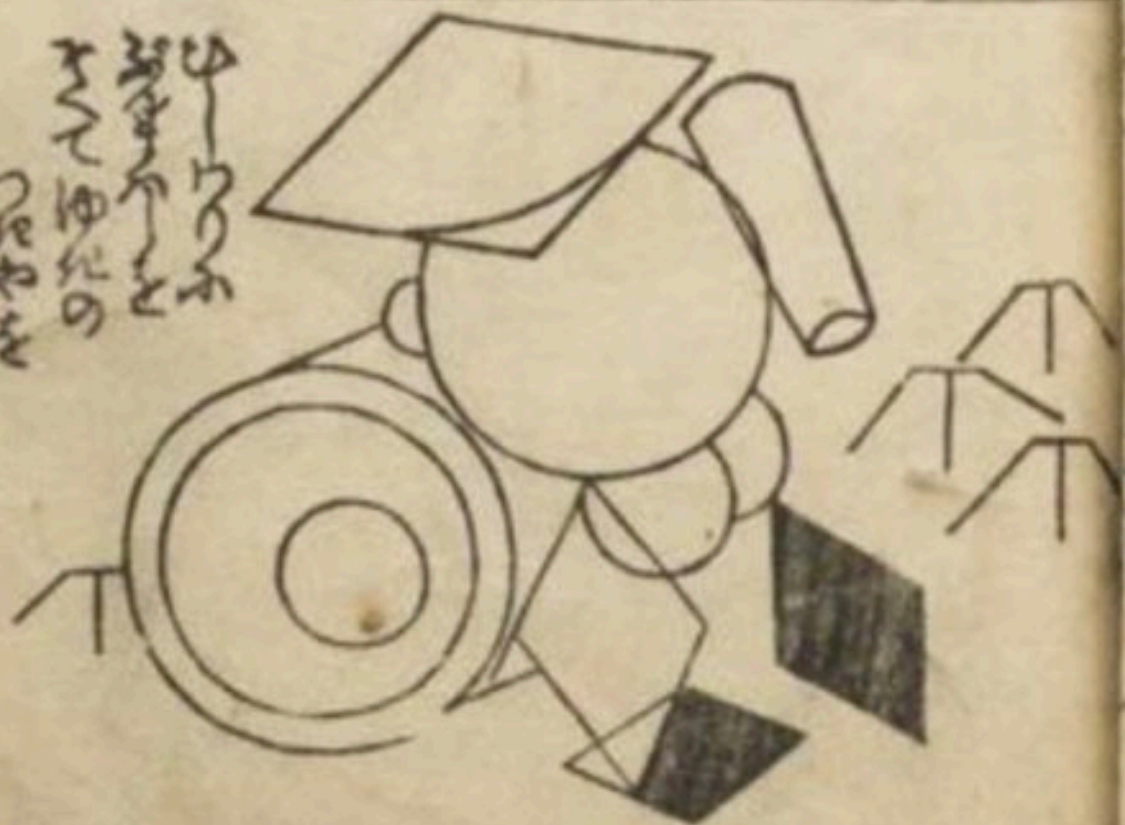


Am...  
Am...  
Am...

Am...  
Am...

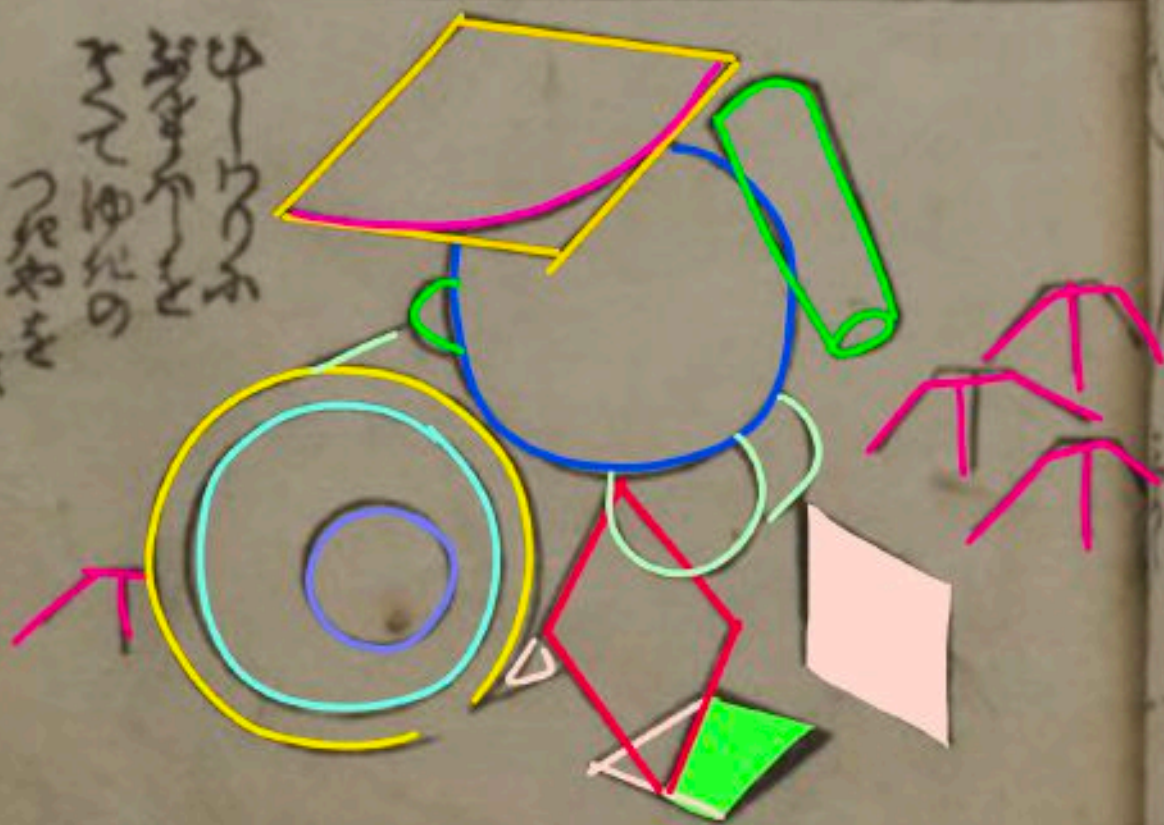


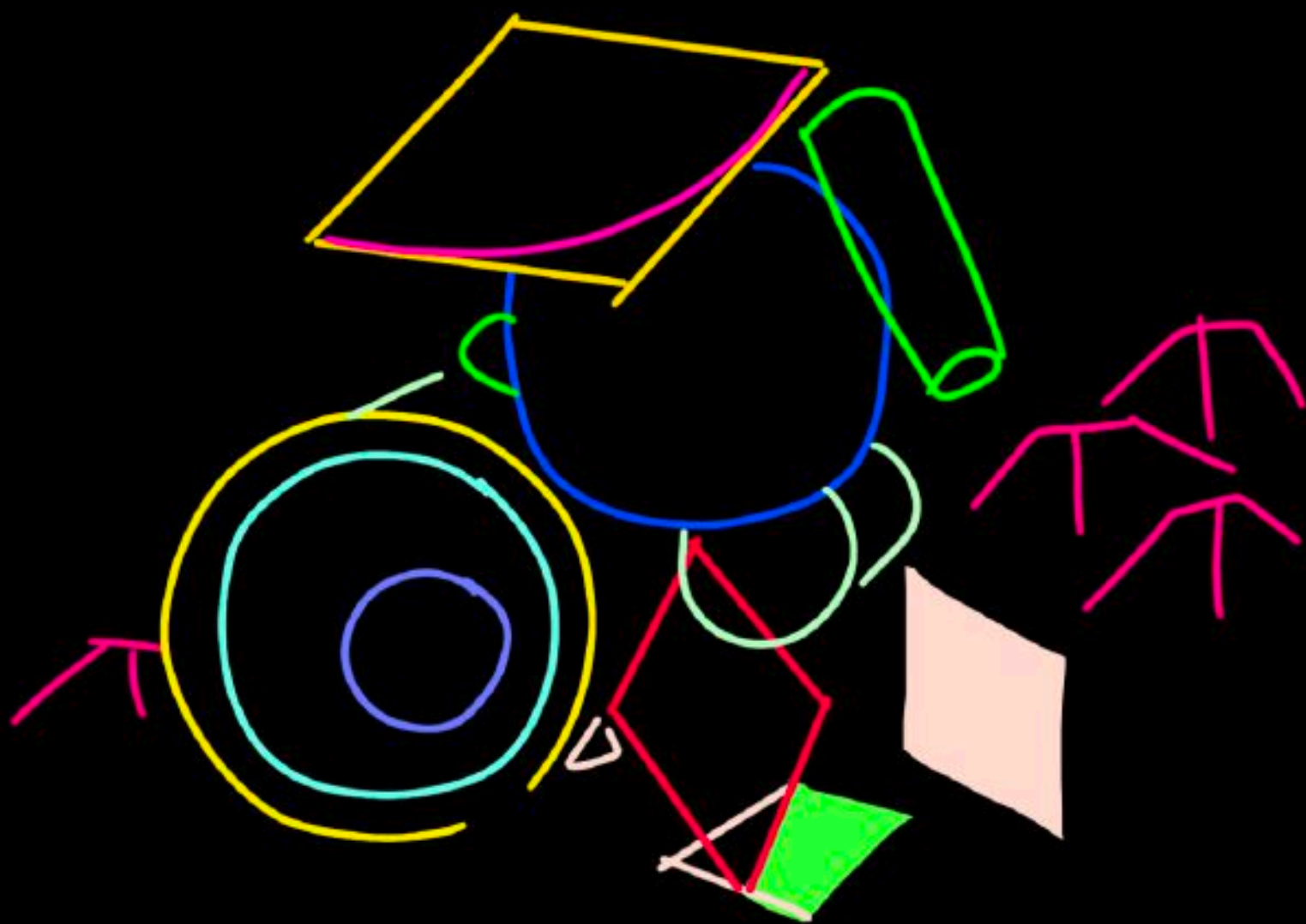
巾着のふ  
 びんやを  
 まてゆくの  
 つねを  
 かくま

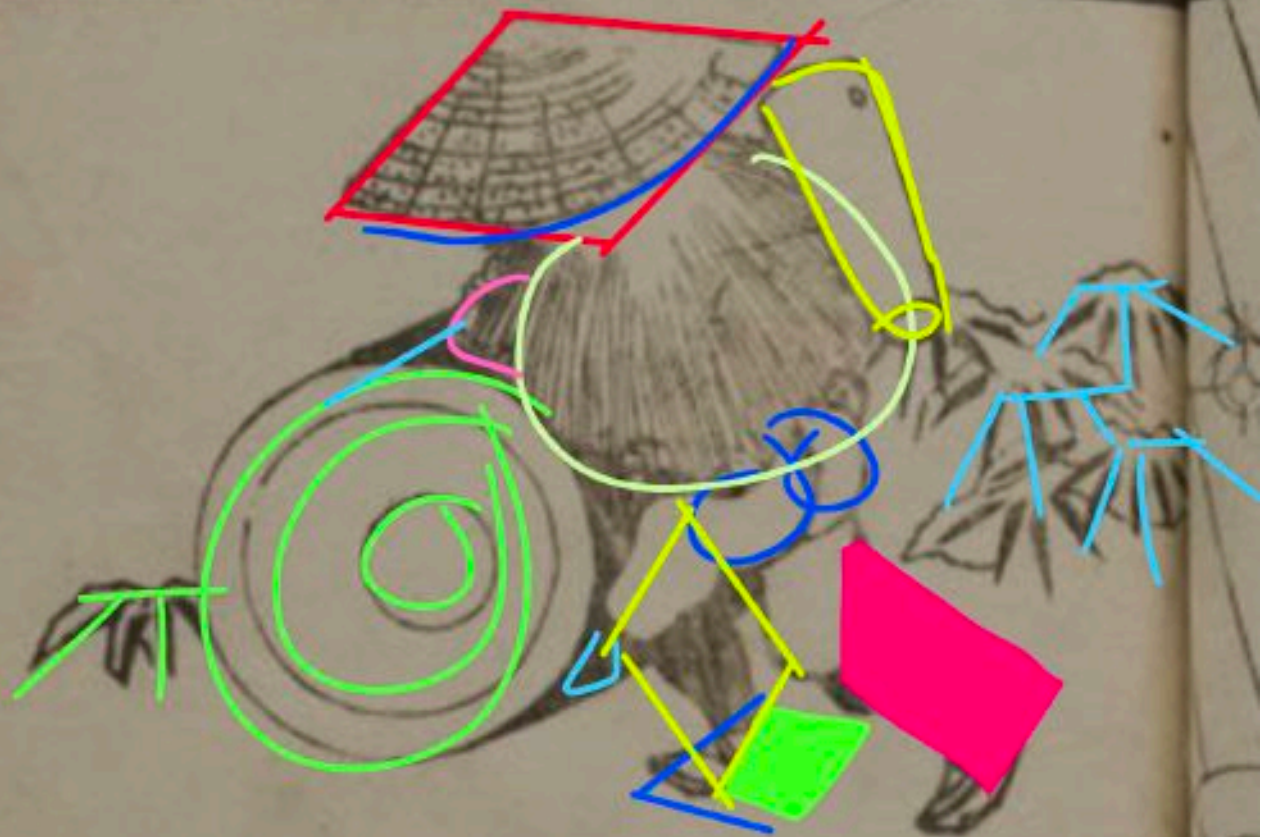




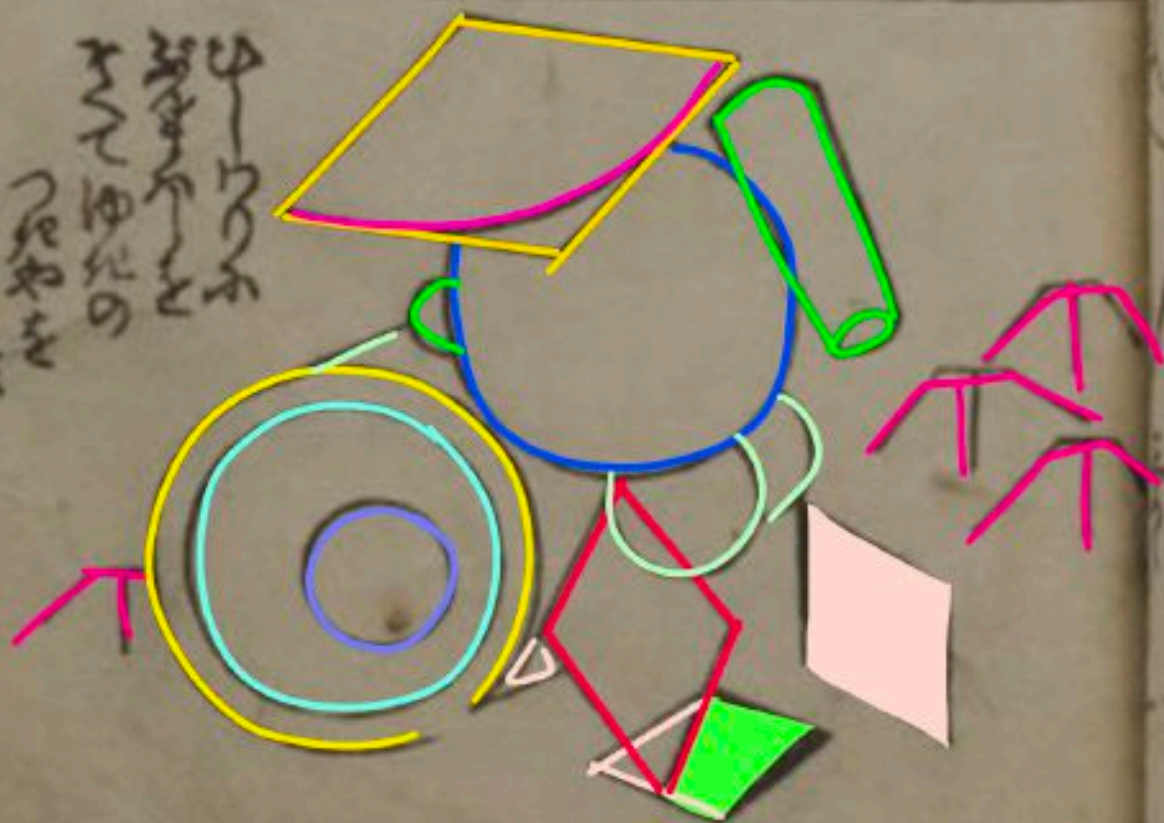
ひーりふ  
あまふを  
まてゆくの  
つねを  
かく

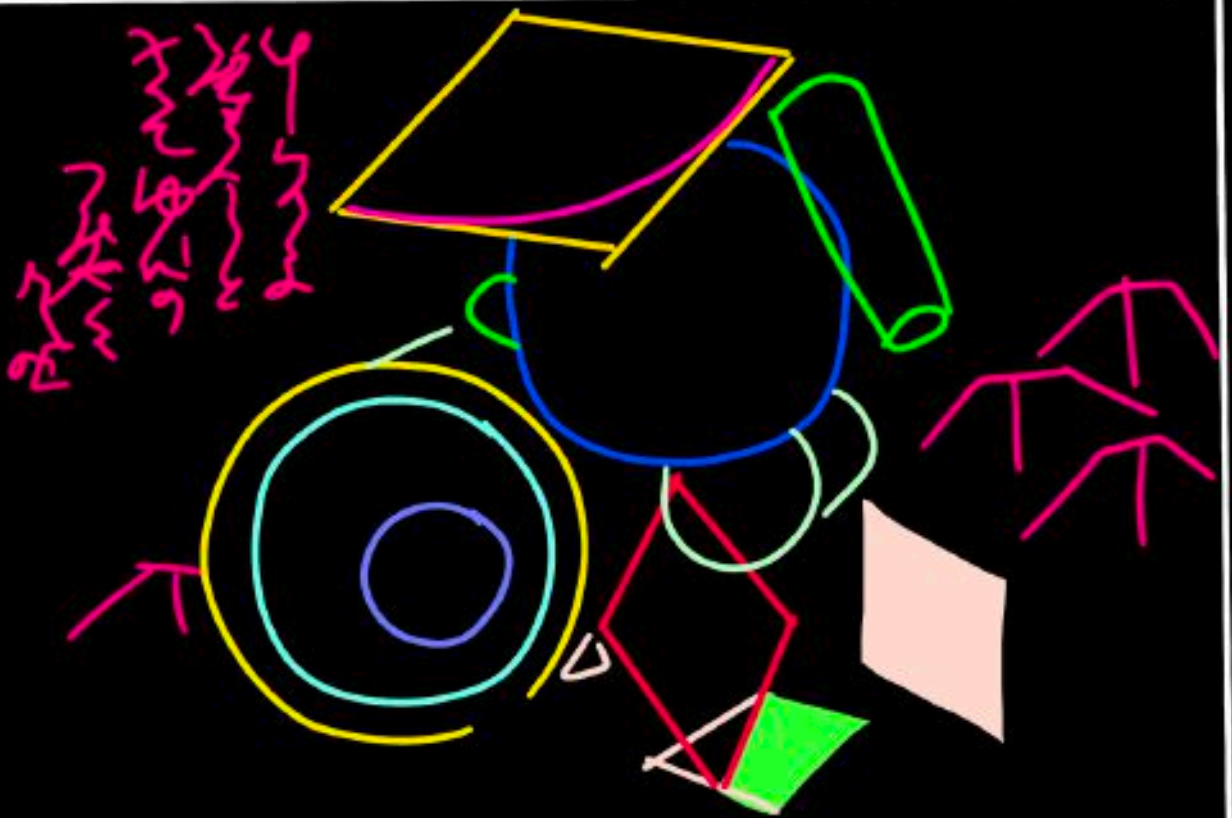
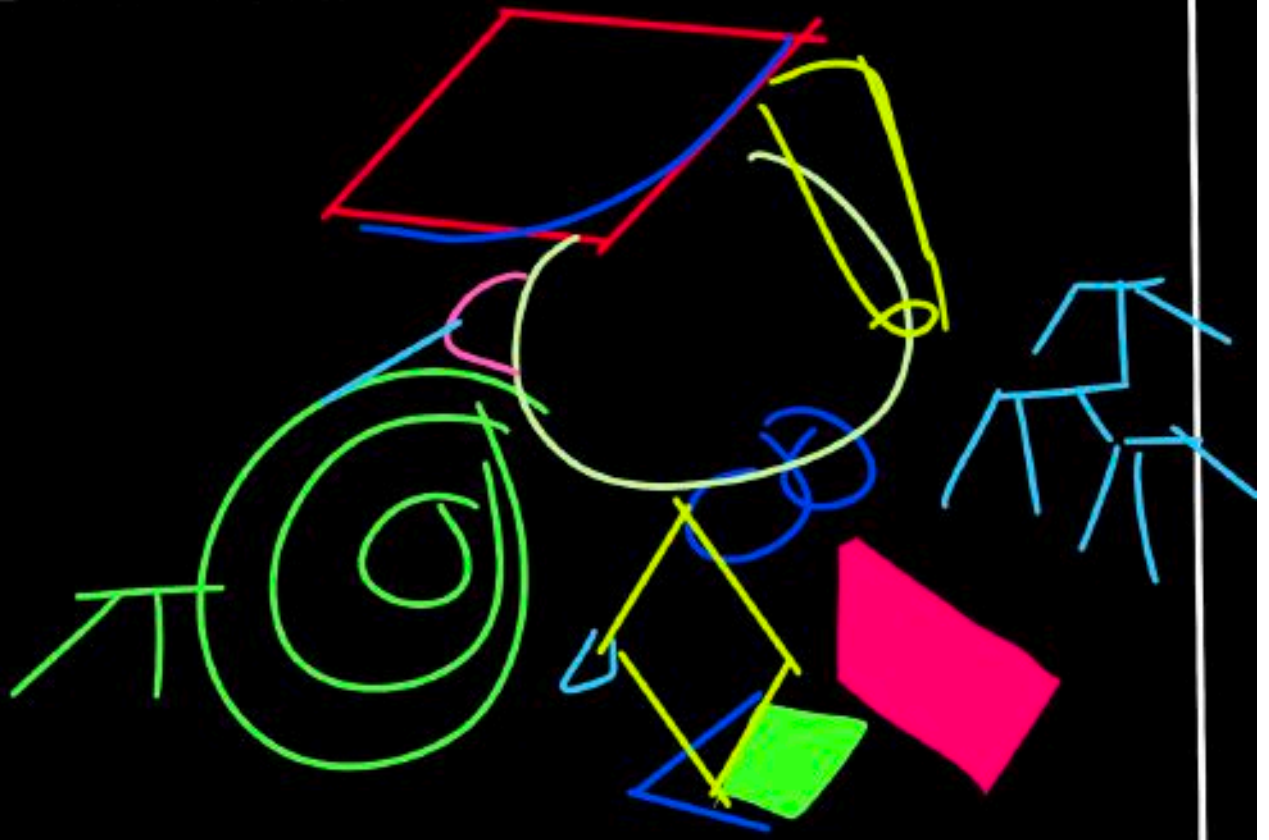






ひーりふ  
あまふを  
まてゆくの  
つねを  
かく







待  
人  
志

石  
堂  
画





木 厩



油  
餅  
蒸

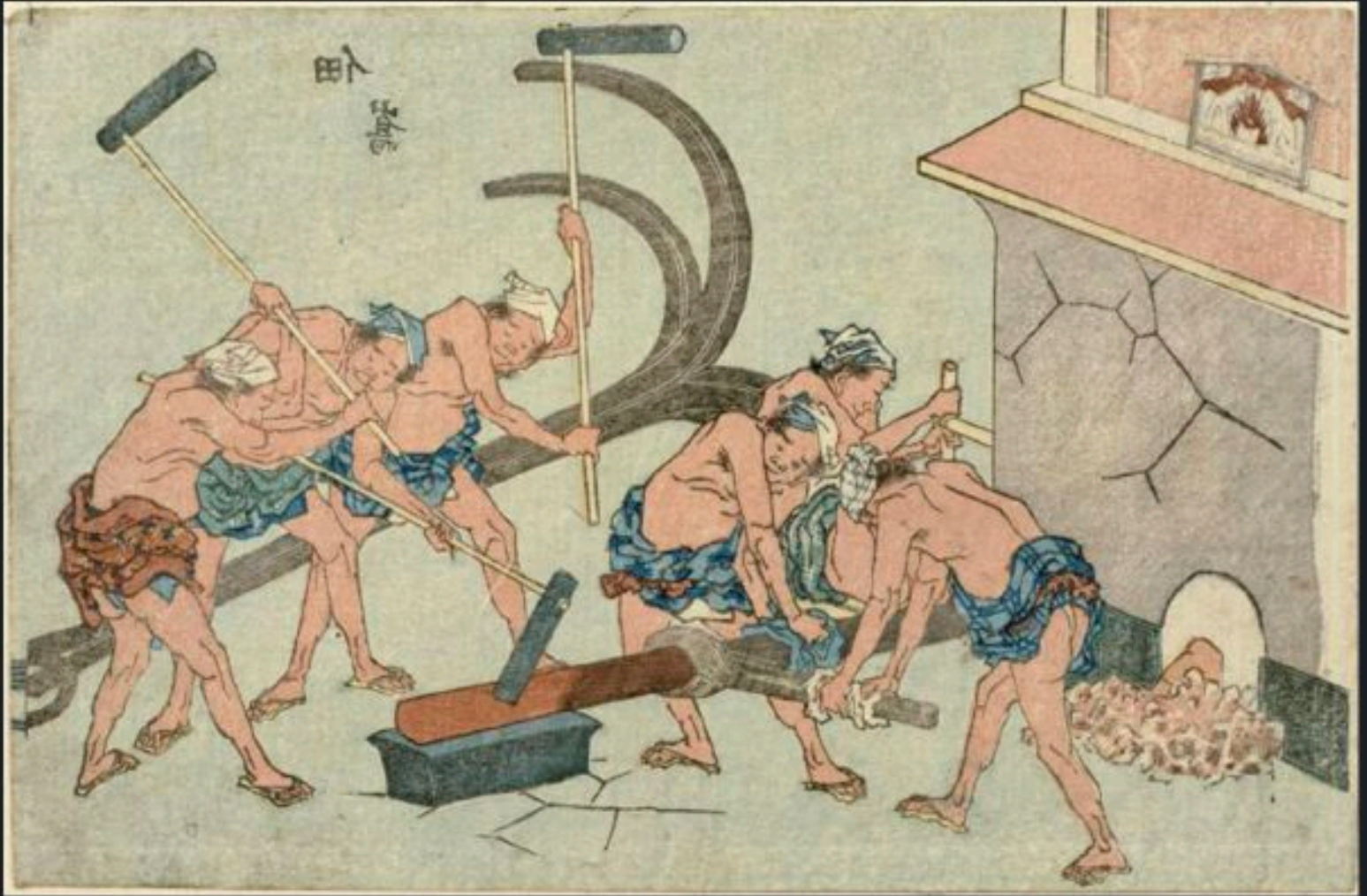








石町







湯淵瀧廻  
水音松風  
阿彌陀佛

普賢寺一休





和歌山  
和歌山  
和歌山









百四  
秋  
千  
公  
景  
東  
海  
道  
見  
田  
子  
の  
海  
邊  
也

景  
の  
み  
の  
こ  
し

はまのき

舟の

くろくさ

ねんたうり

酔

はまのき

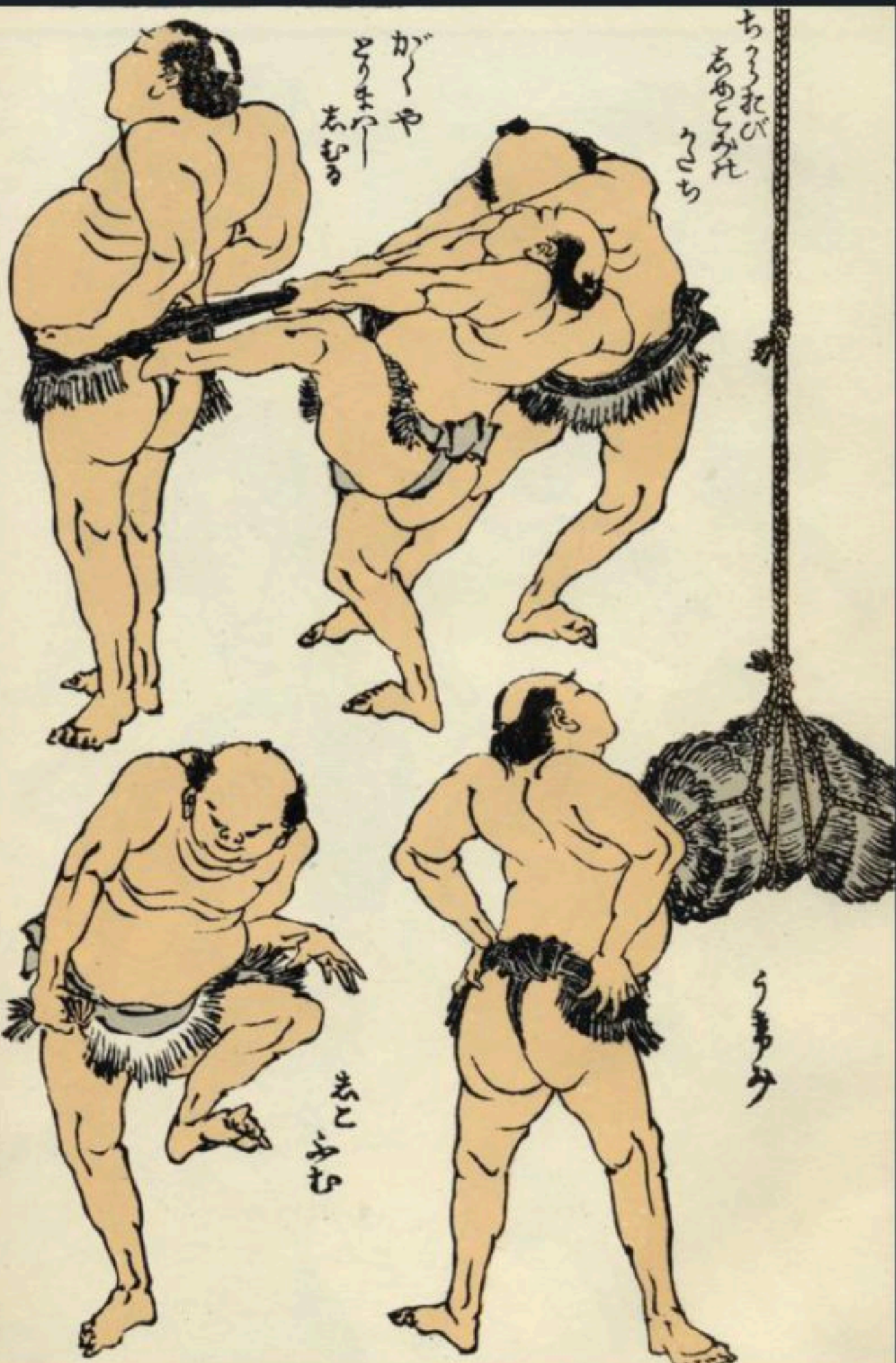
面うら

嫁菜う

了字



自他撰



ちゅうたび  
あめこみた  
うさち

かぐや  
とりまや  
あむる

らまみ

あま  
あま





記名宛 大伴 英雄  
觀 二十 南 城  
而 之 誰 爲 我  
高 之 勢 獨 據  
極 矣 其 勇 力  
笑 汗 滿 天 軀

前 大 伴 英雄 傳

重宝 初年清

斤量通 若人

まろまろやまの  
くまの物よ

梅の枝

森羅身

人成

まろまろの  
梅の枝

まろまろの  
吸酒の酒

森羅身 真華

森羅身 萬象

梅すて

まろまろのまろまろ  
まろまろのまろまろ

森羅身 真華



鳥居清満  
馬除

初日新

鳴てり

喜よ

みちや

ゆき

山と

見ゆ

まじゆき

三早亭

真湖

此は  
鳥居清満の  
筆



鹿壽卷  
幅巻

富士をあらじ  
腰のきつて月  
提のもの  
雪解とんや  
まの物取

秋長堂  
物築

正月と縁取  
目物と見徳の  
富う個の  
千金の美



不潔居る一年



琴臨水彈名月  
酒南東





富嶽三十景  
東都浅草  
本町

本町



樹  
屋  
橋  
喜  
見  
足  
利  
山  
景  
茶  
以  
合  
品  
ア  
キ

Red artist seals.





東洋の風景

富嶽山麓 耕人



富士山  
甲州伊豆  
三十二景  
暁



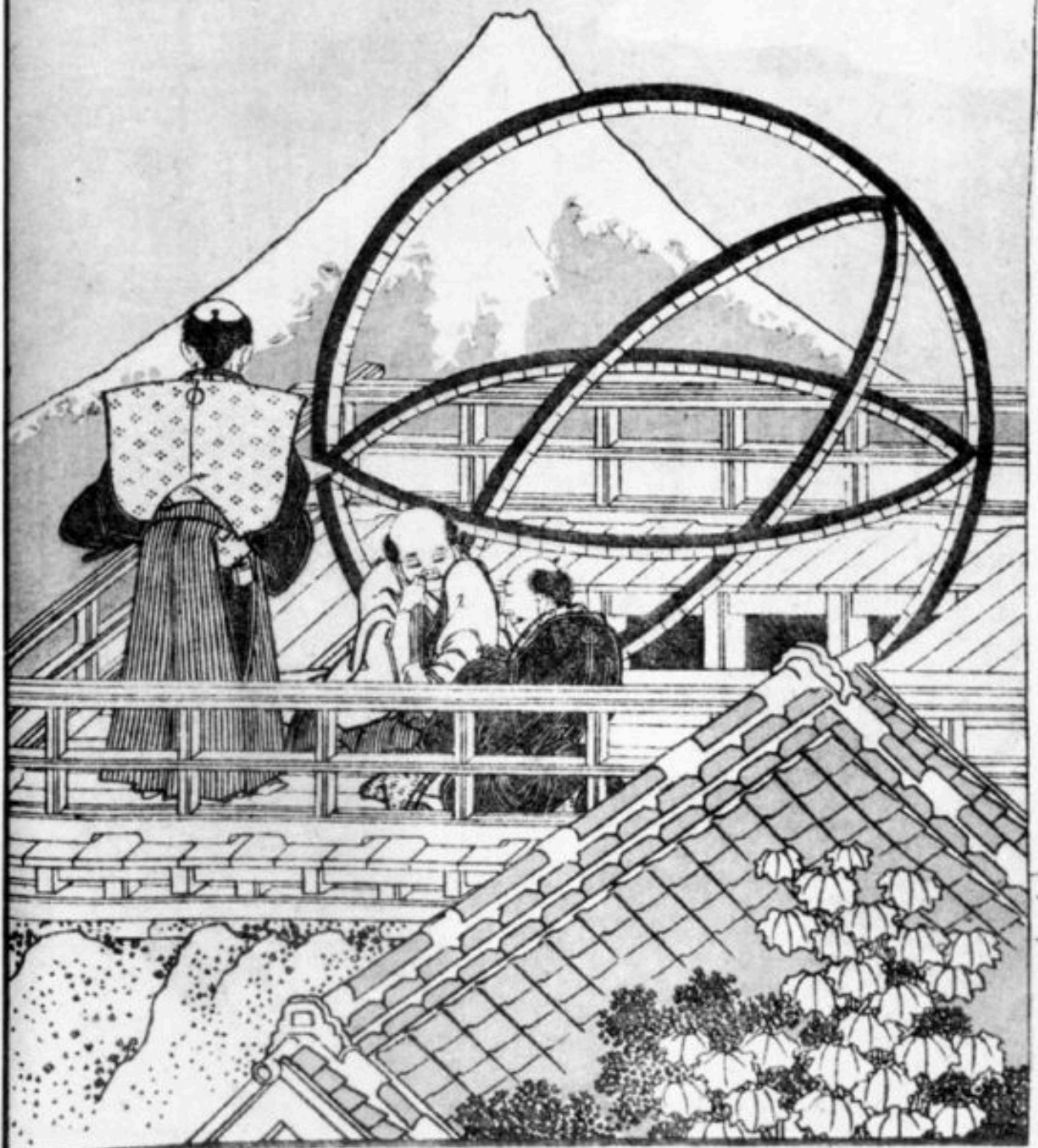
百景二十景 湖門  
江上景

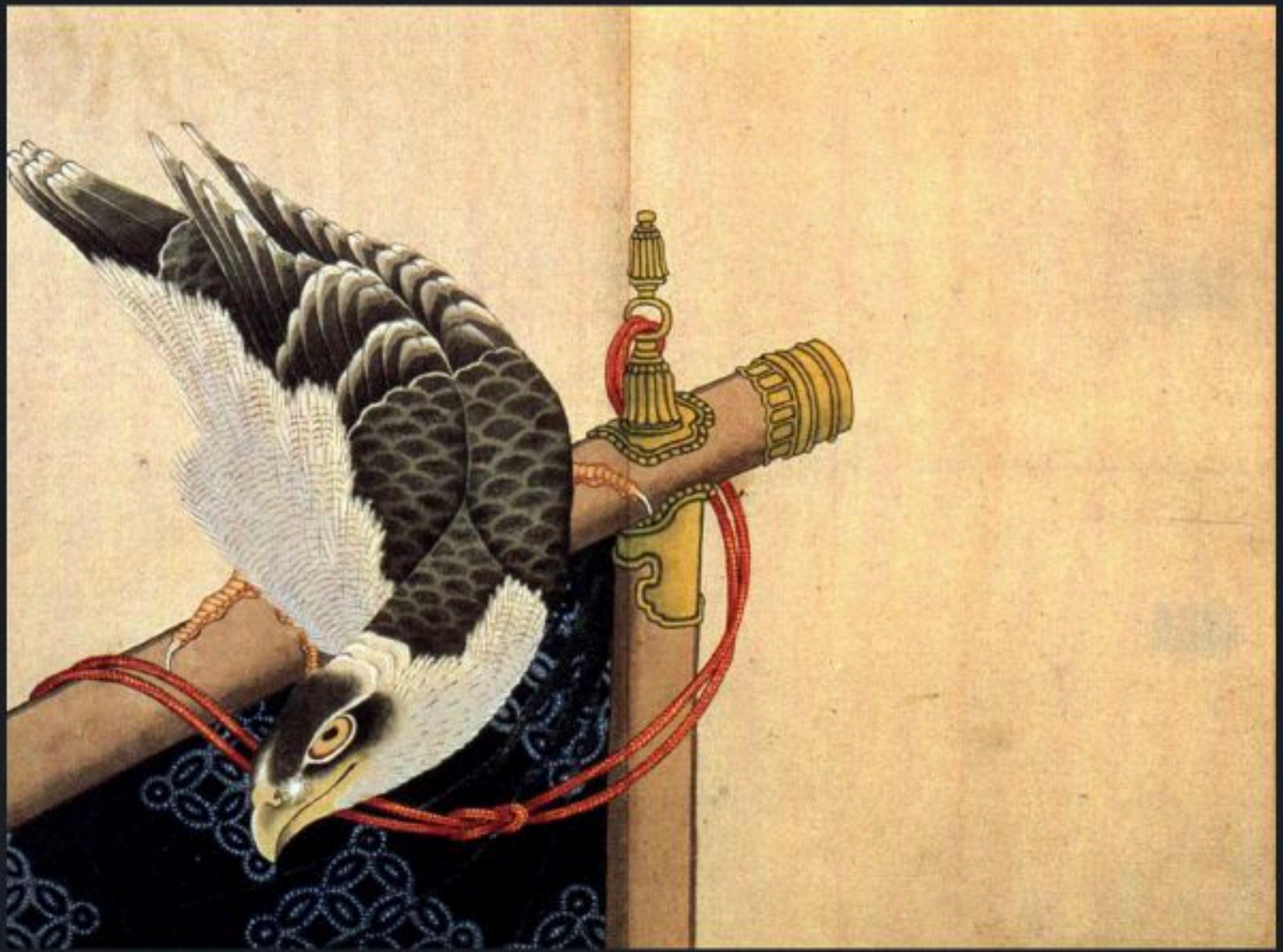
茶の湯の景





鳥越の  
不二







平野千代景 東海道  
程ノ水

平野千代景







富士山  
甲州  
石川

舟一  
舟一



小ねり



あやめ



あざ



あざ



あざ



あざ



あざ



あざ



あざ



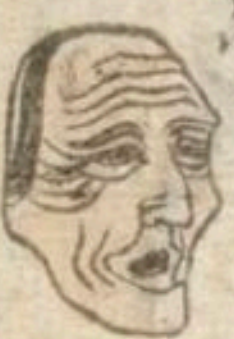
あざ



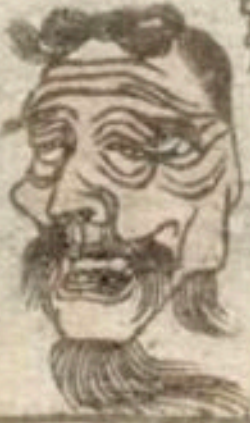
あざ



あざ



あざ



あざ



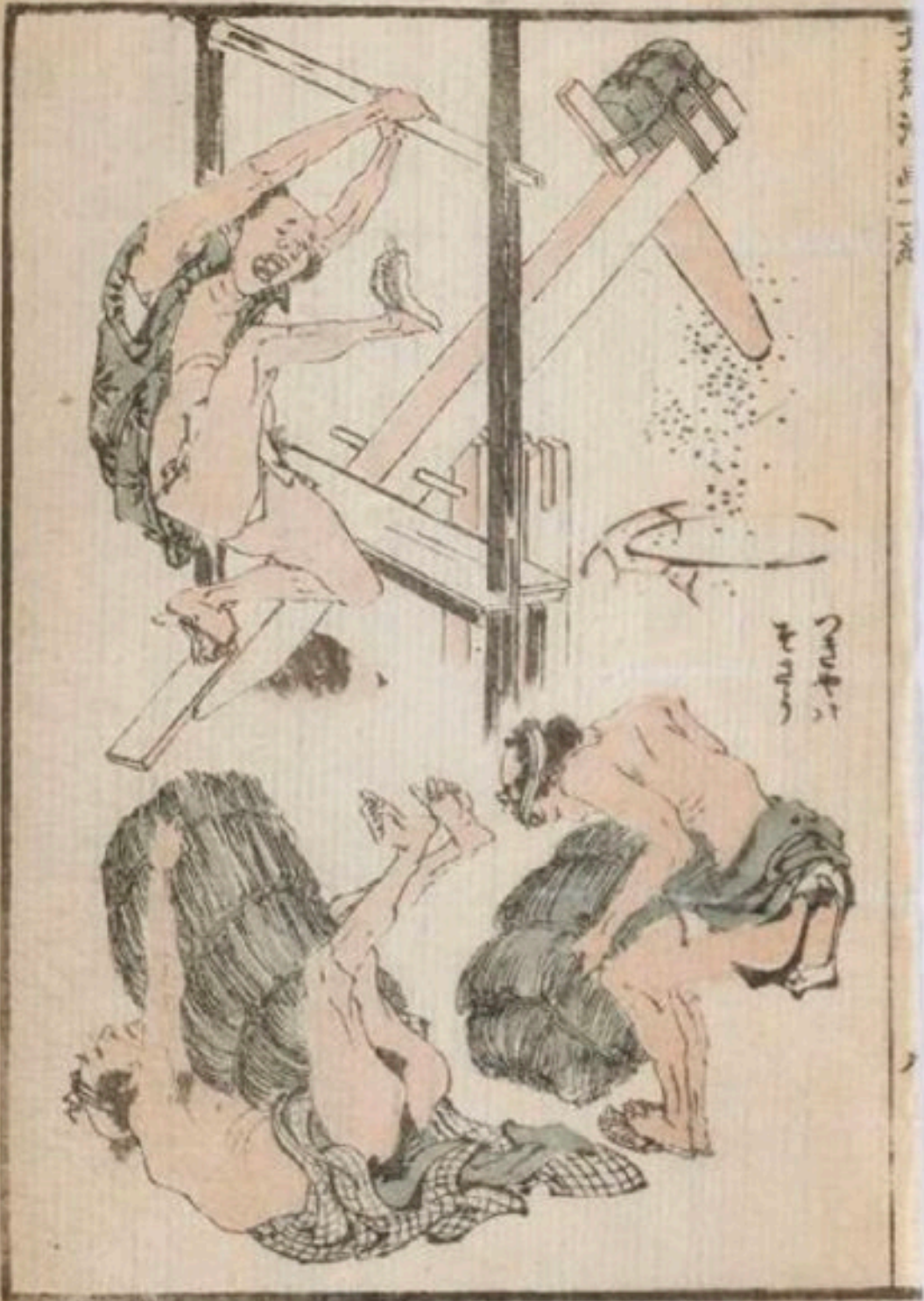
あざ



あざ







木匠の作

木匠の作



福敷子六郎  
甲子  
二五郎

早刈り台場







寛政三十七年  
江戸  
日本橋

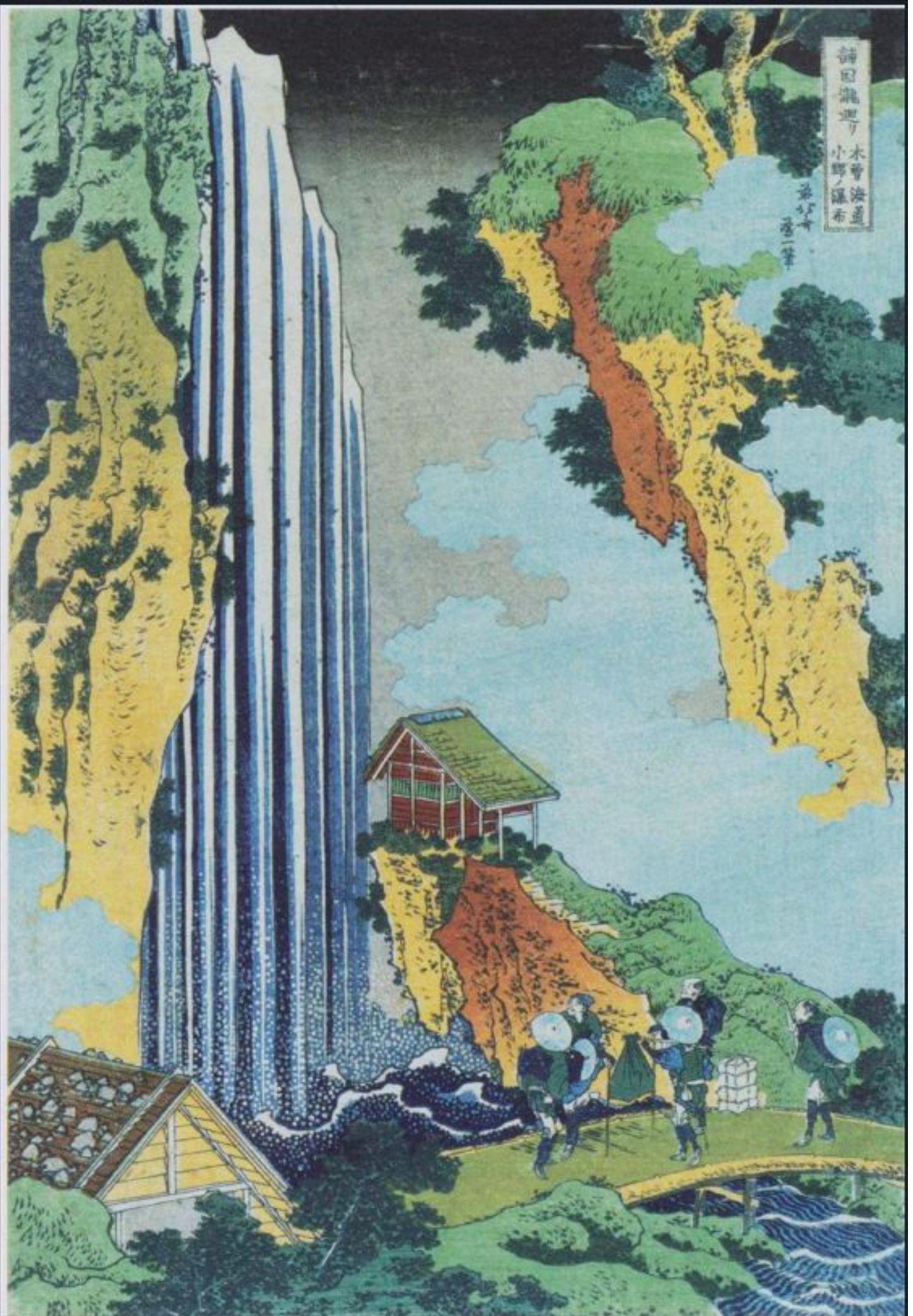
舟屋





神田瀧廻り 木曾海道  
小野ノ瀑布

長谷川  
一筆









櫻門三十一  
五月五日  
五月五日  
五月五日

通町



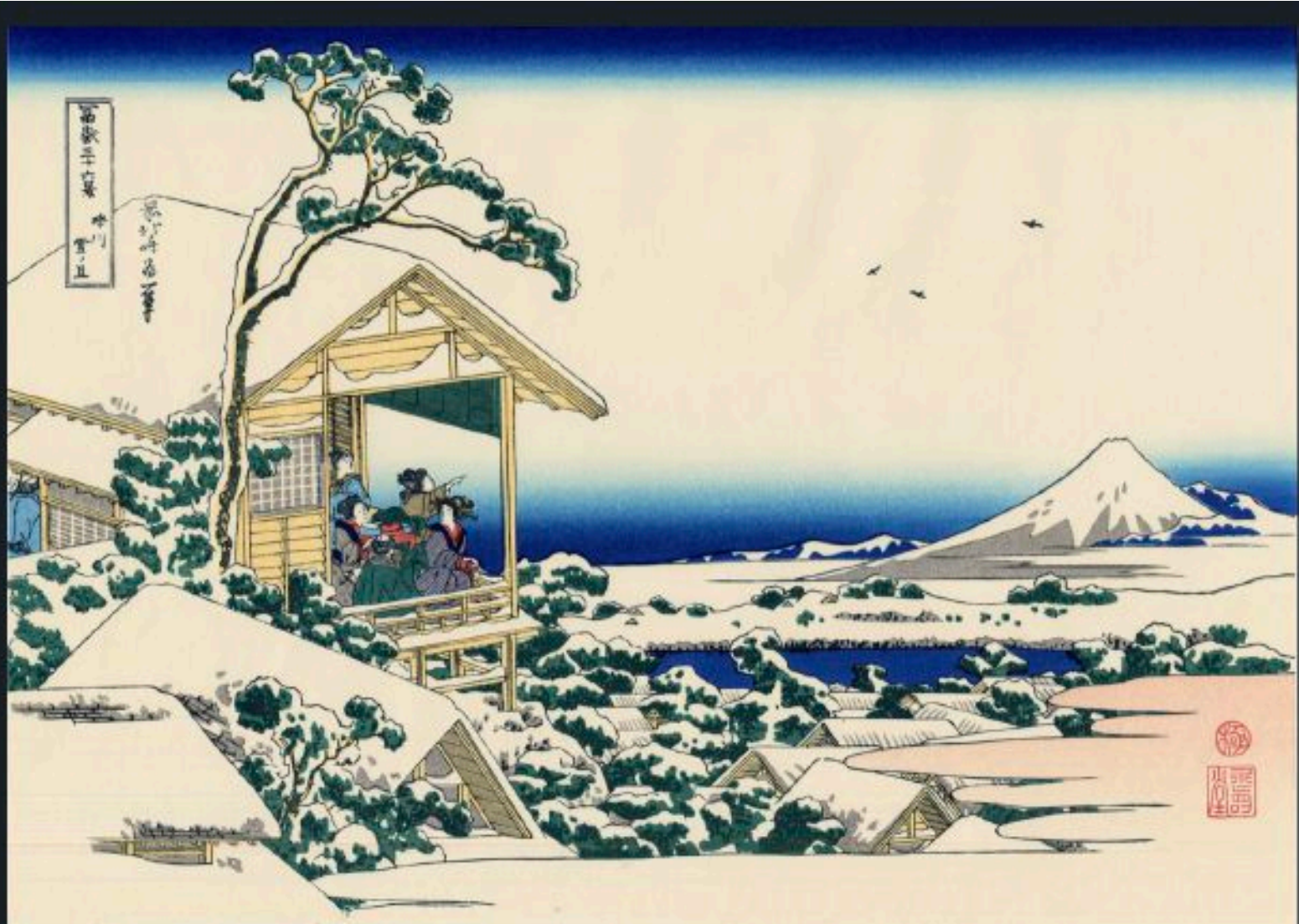


河田藏子之景  
御所川舟小  
舟間橋色美

茶坊茶坊







霜歌三十一卷 吟川 雪止

雪止



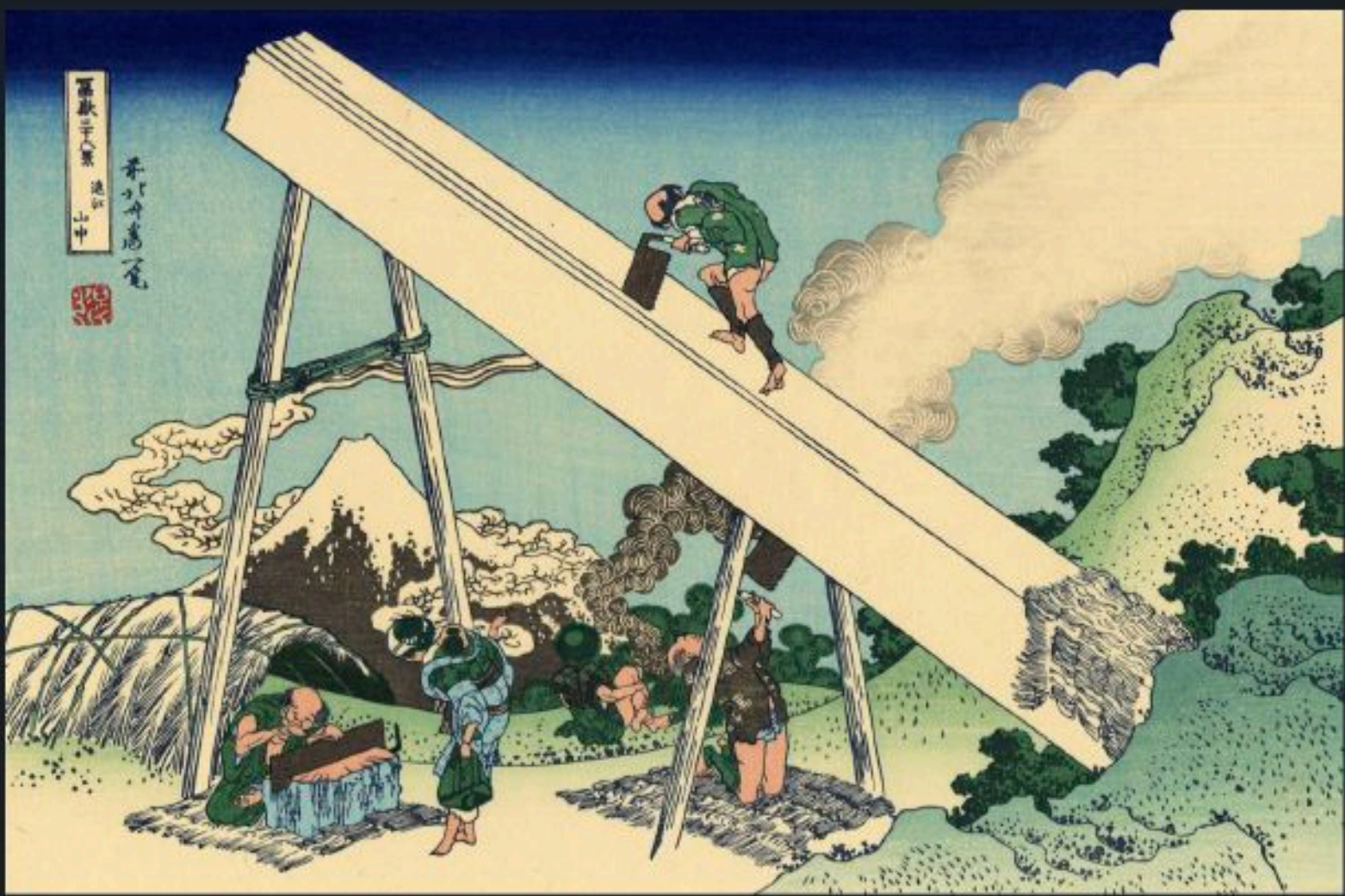


富士山  
富士山  
富士山

富士山  
富士山  
富士山

皇極天皇二十二年  
御紀山ノ下  
皇極天皇二十二年  
皇極天皇二十二年





羅敷子八景 遠江 山中

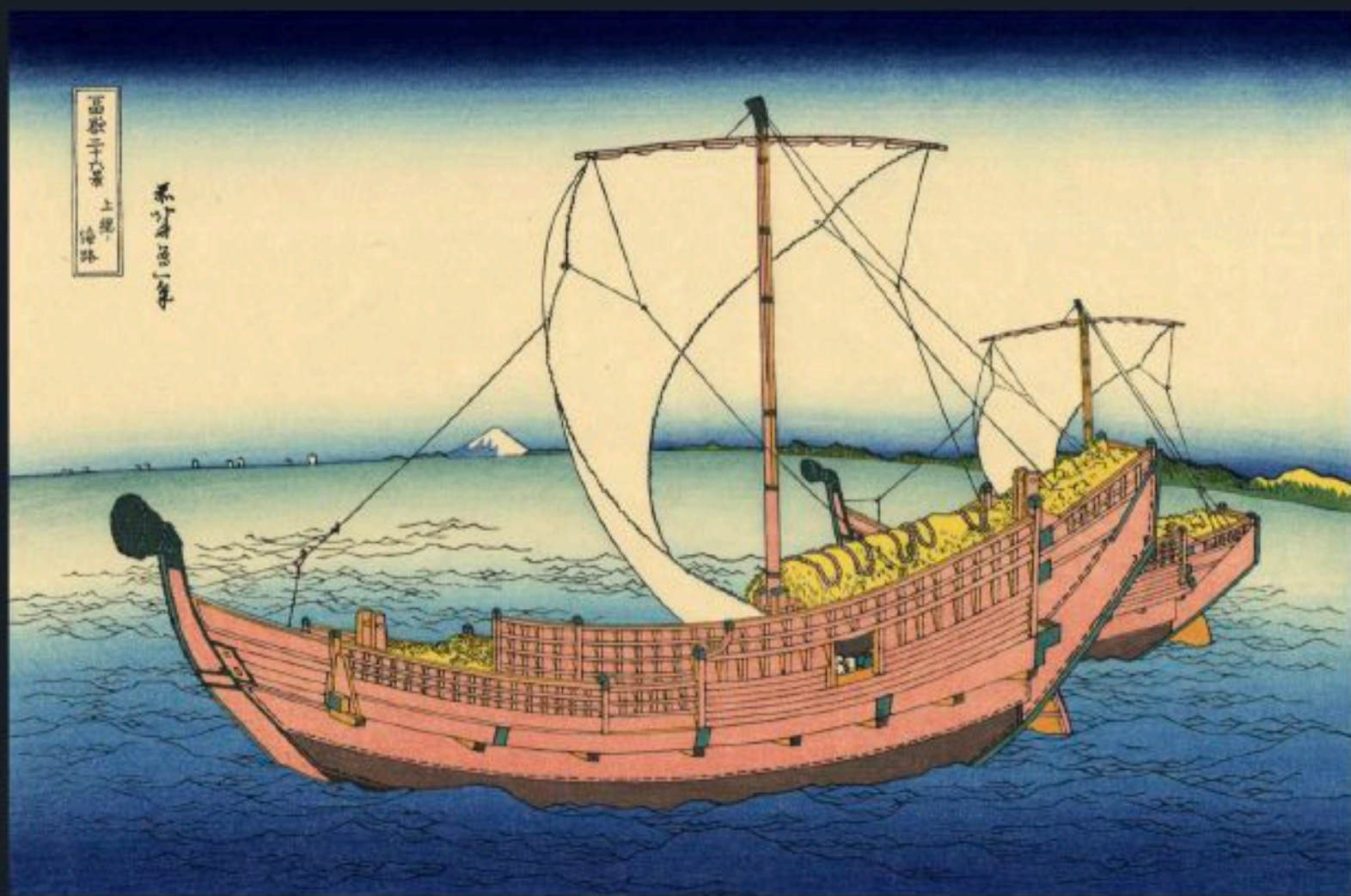
茶川舟為一尾





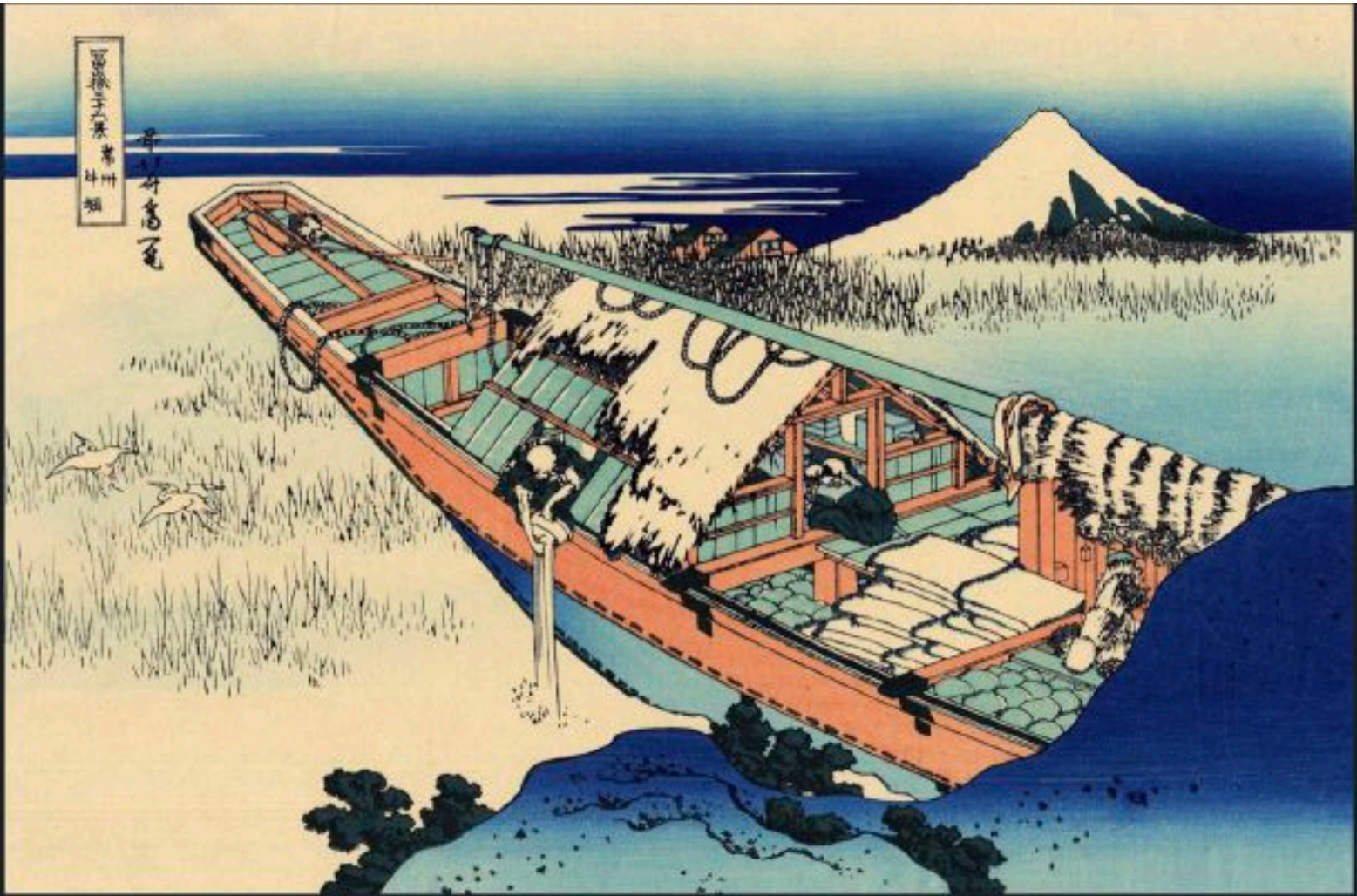
富士山  
甲州  
三ツ峠

富士山









林

揚口亭子

英風の

ぬくもて

山も笑ひ

た

池の

後

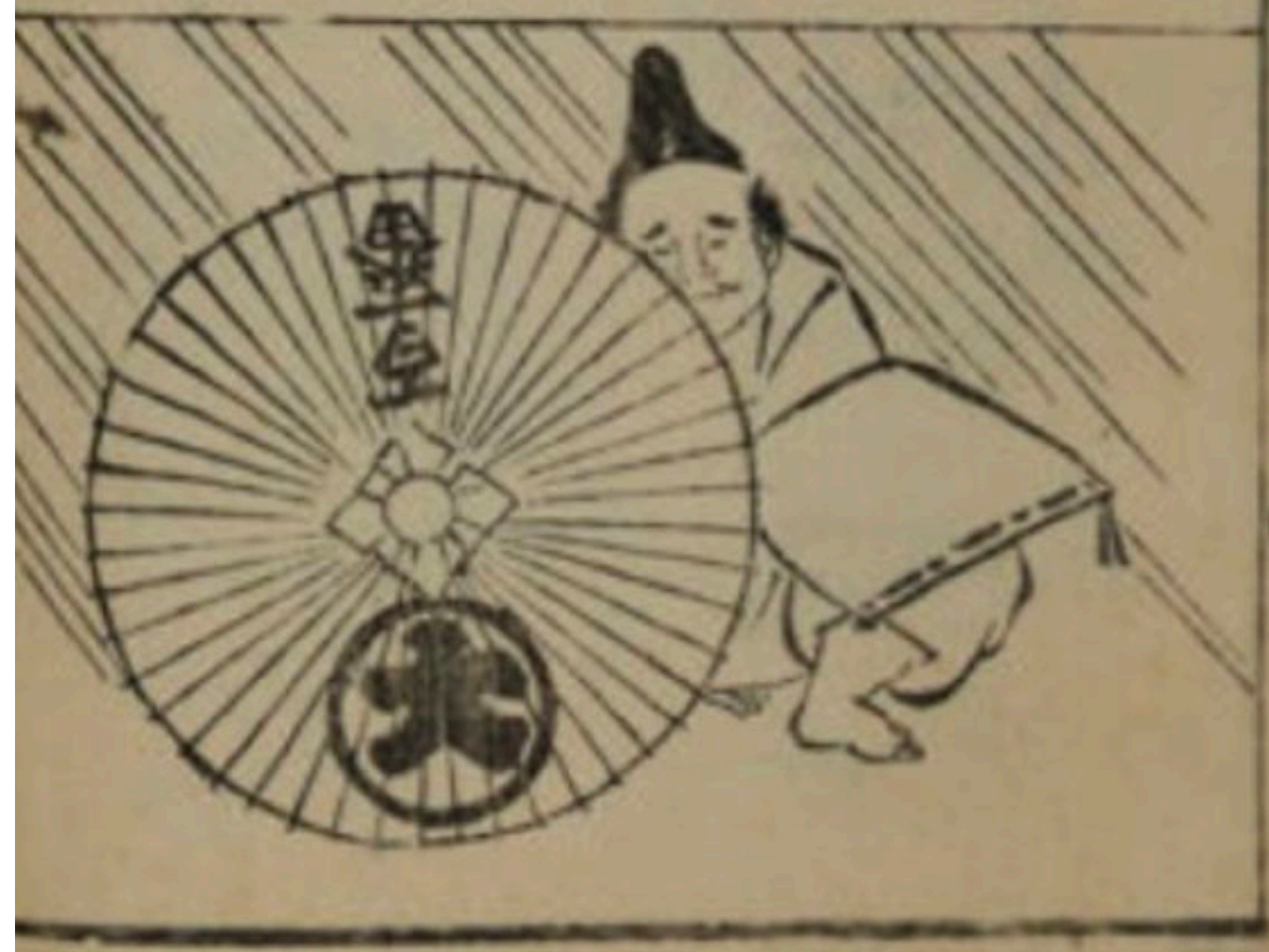
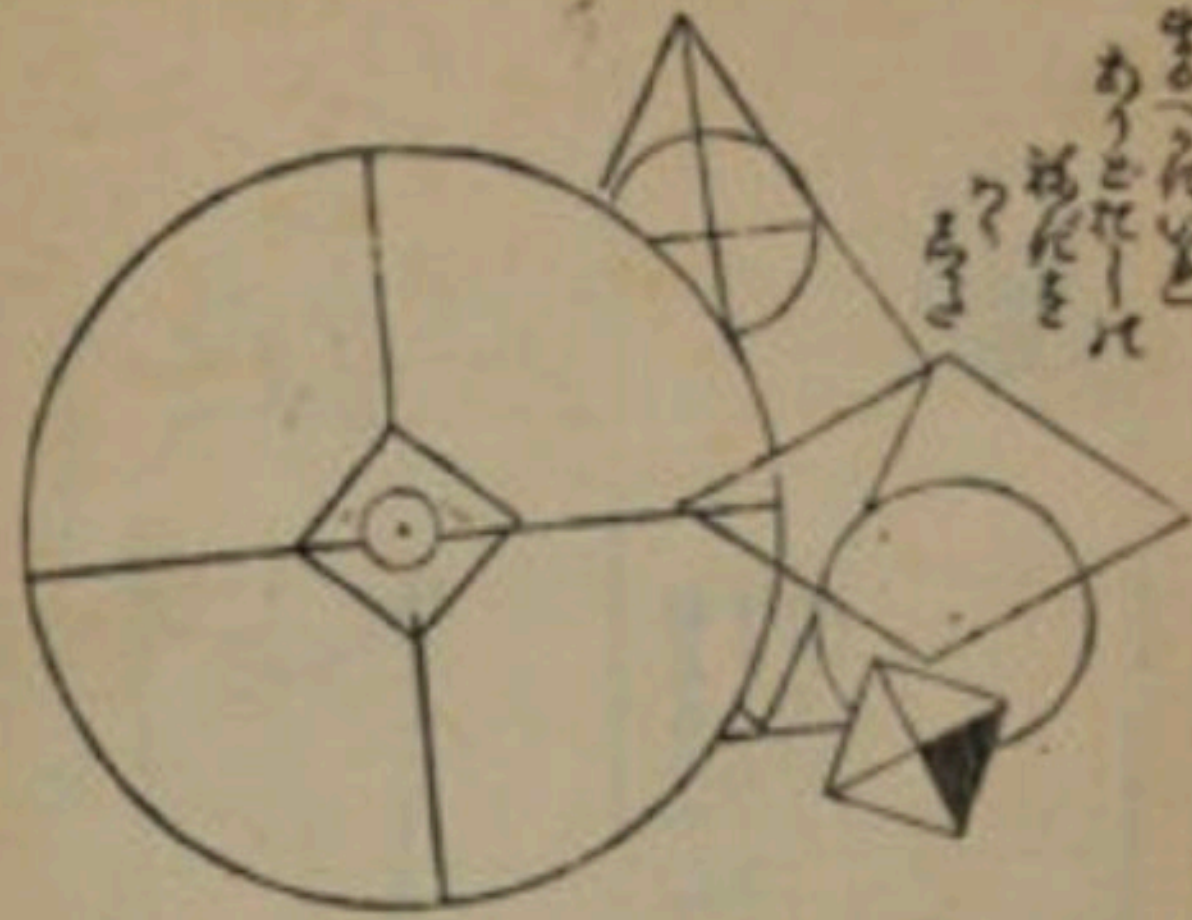
の

思

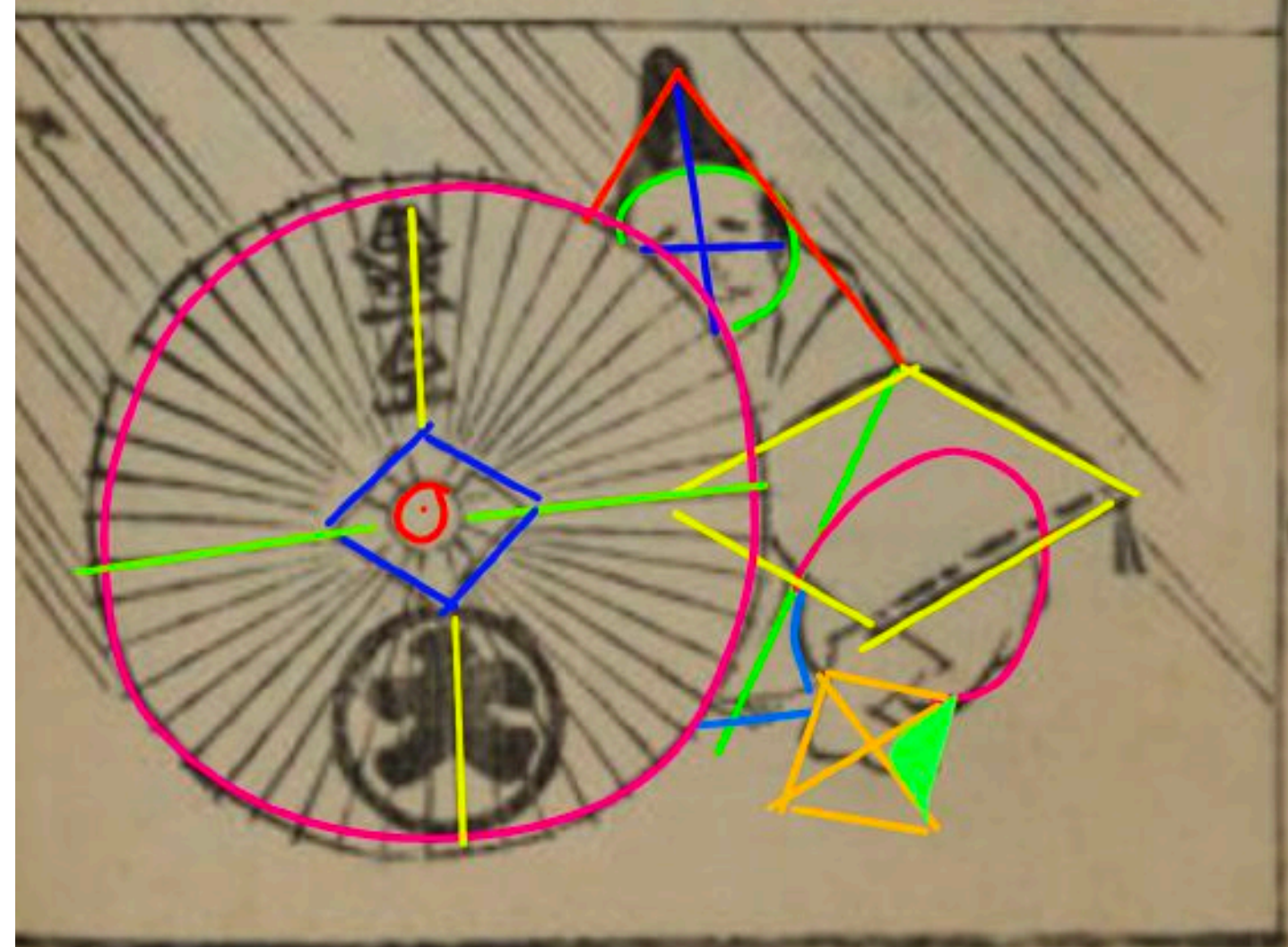
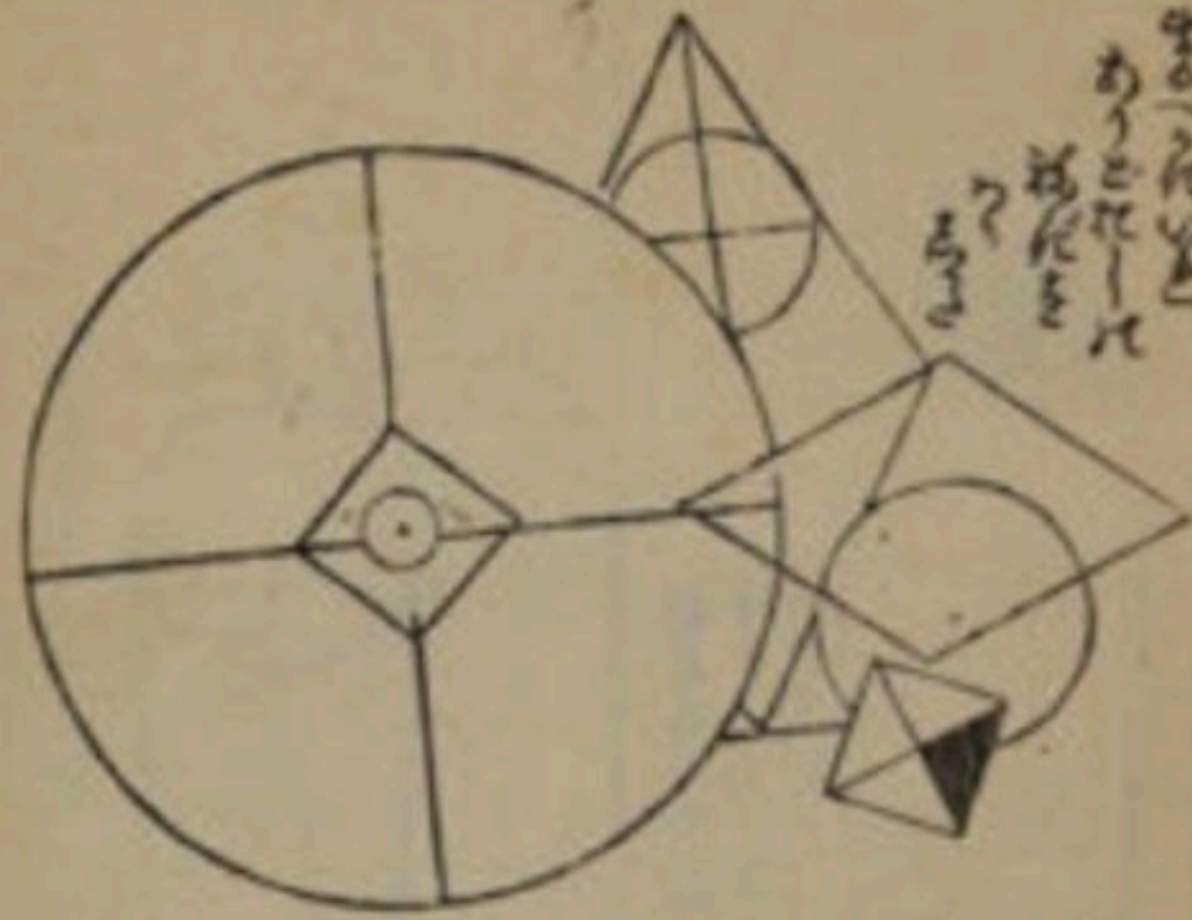


宮内理

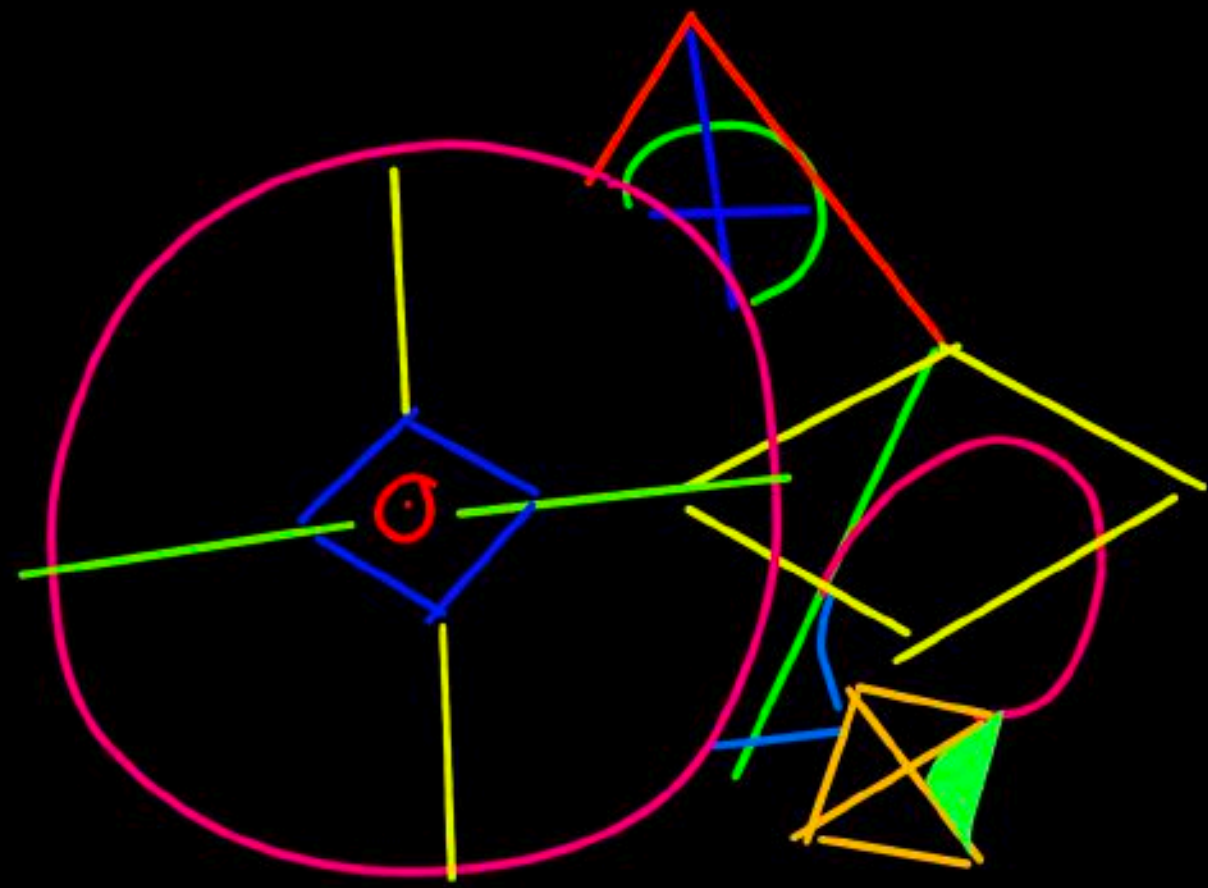
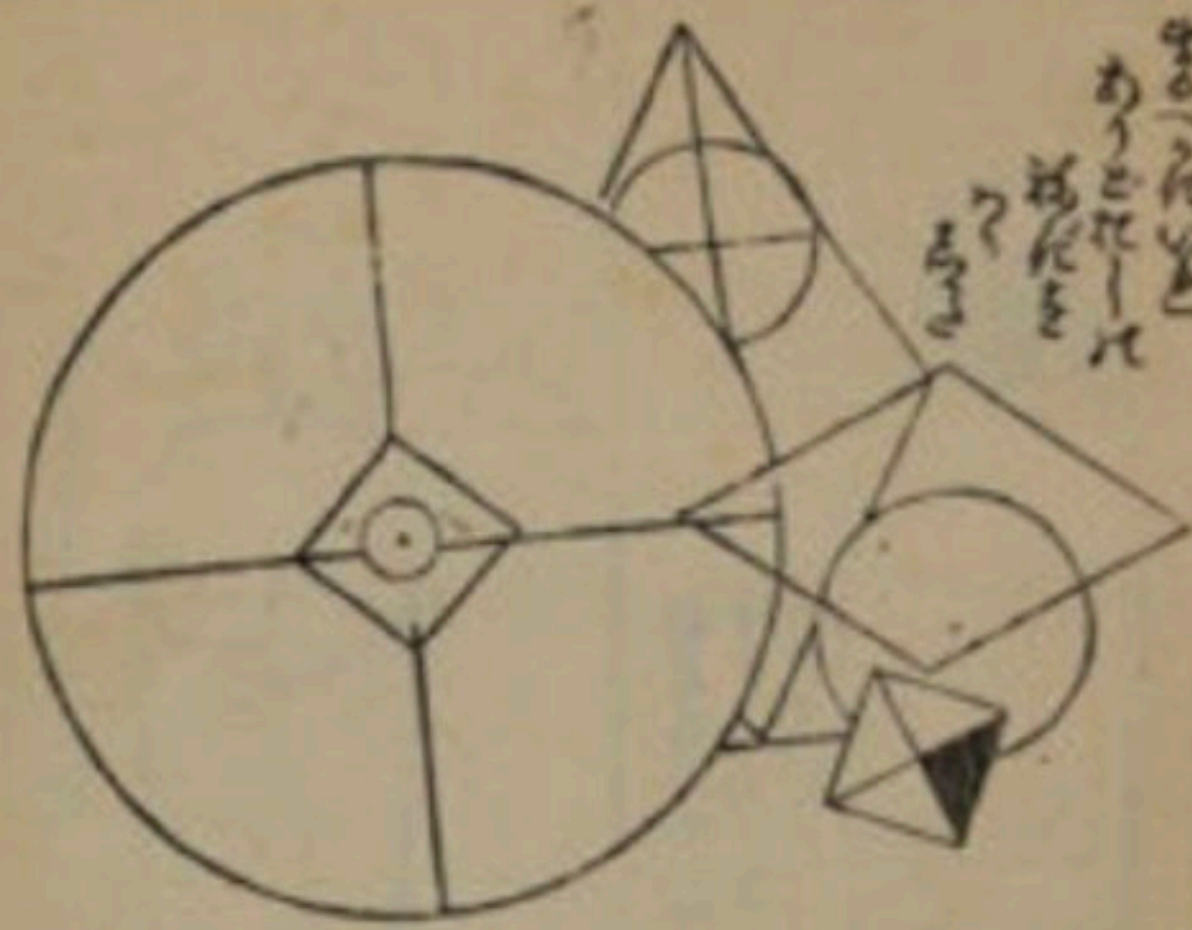
ひーと  
叩くこと  
まろへんやと  
あうとたしん  
たんを  
つ  
ま

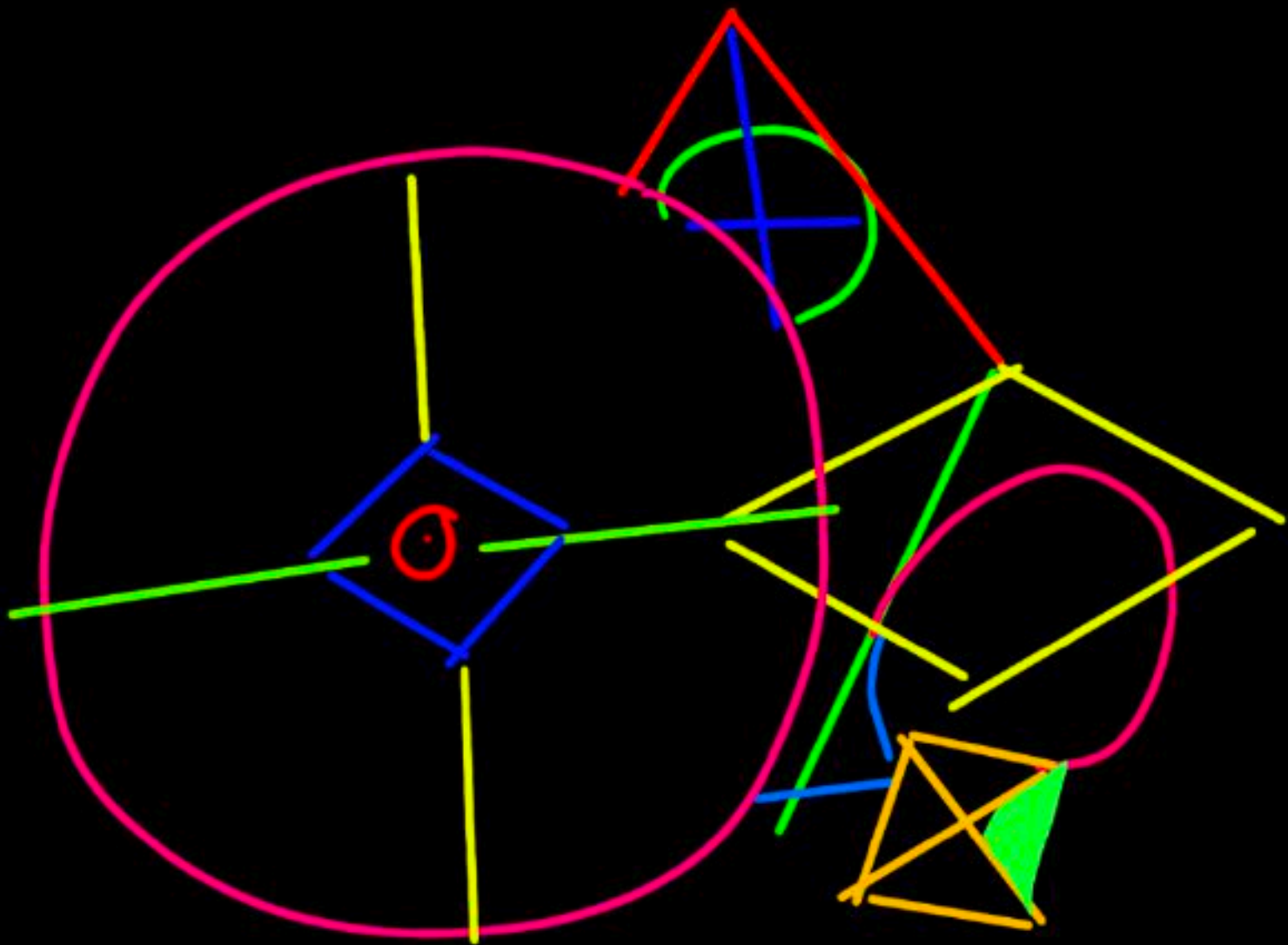


ひーと  
叩くこと  
まろへんこと  
あうこと  
あうこと  
あうこと



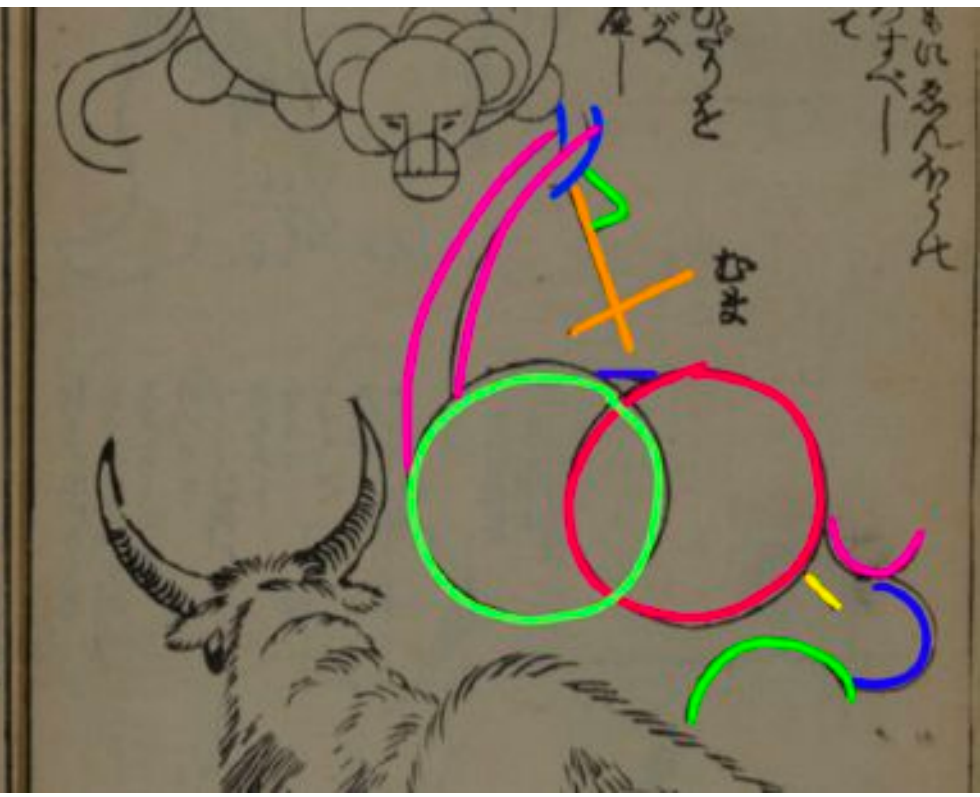
ひしと  
ひしと  
まろへんひしと  
あうとたし  
ひしと  
まろへん

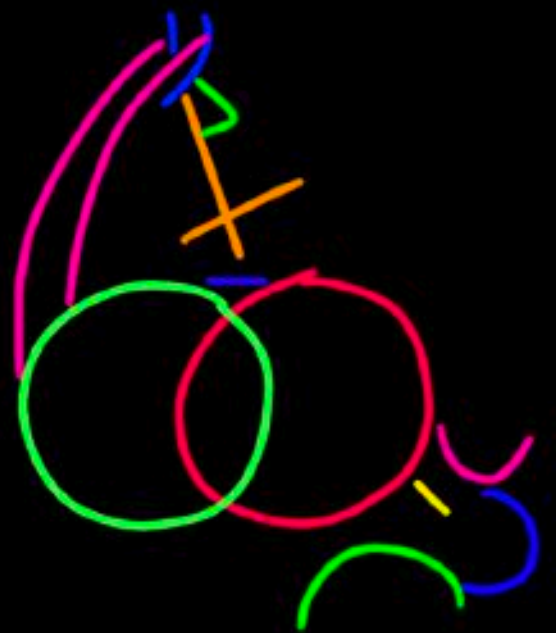


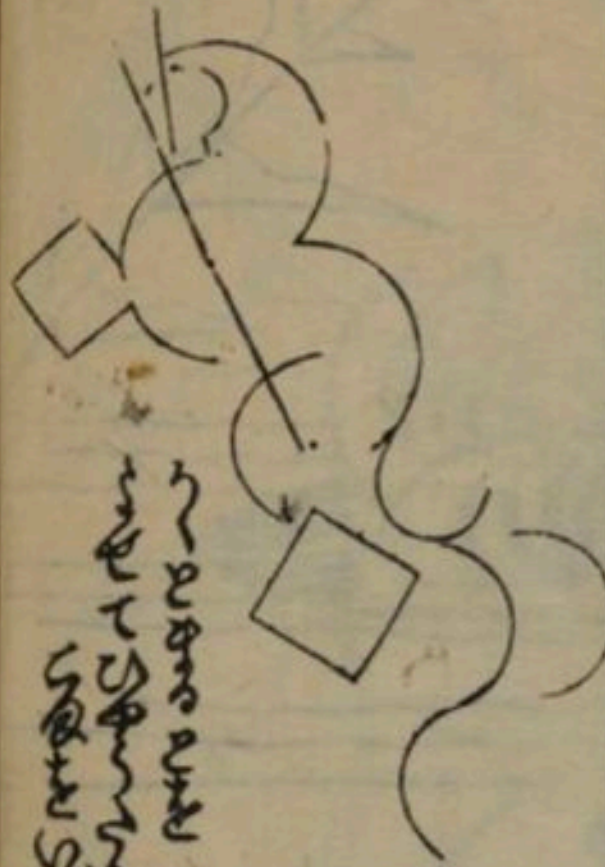




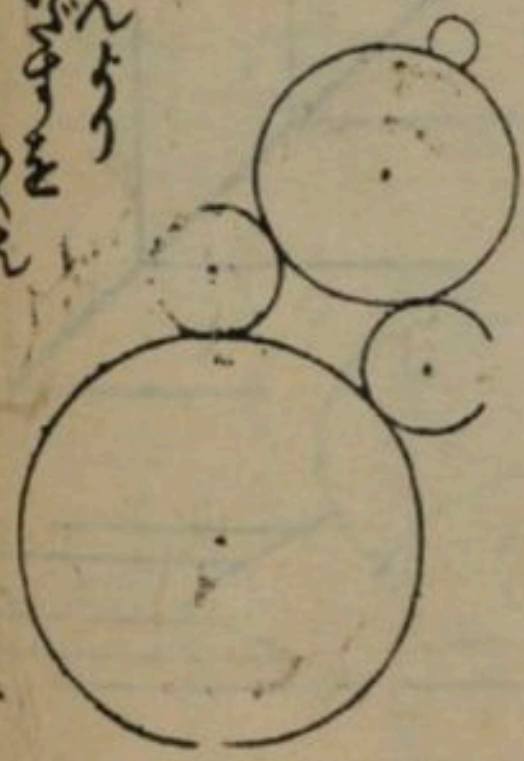


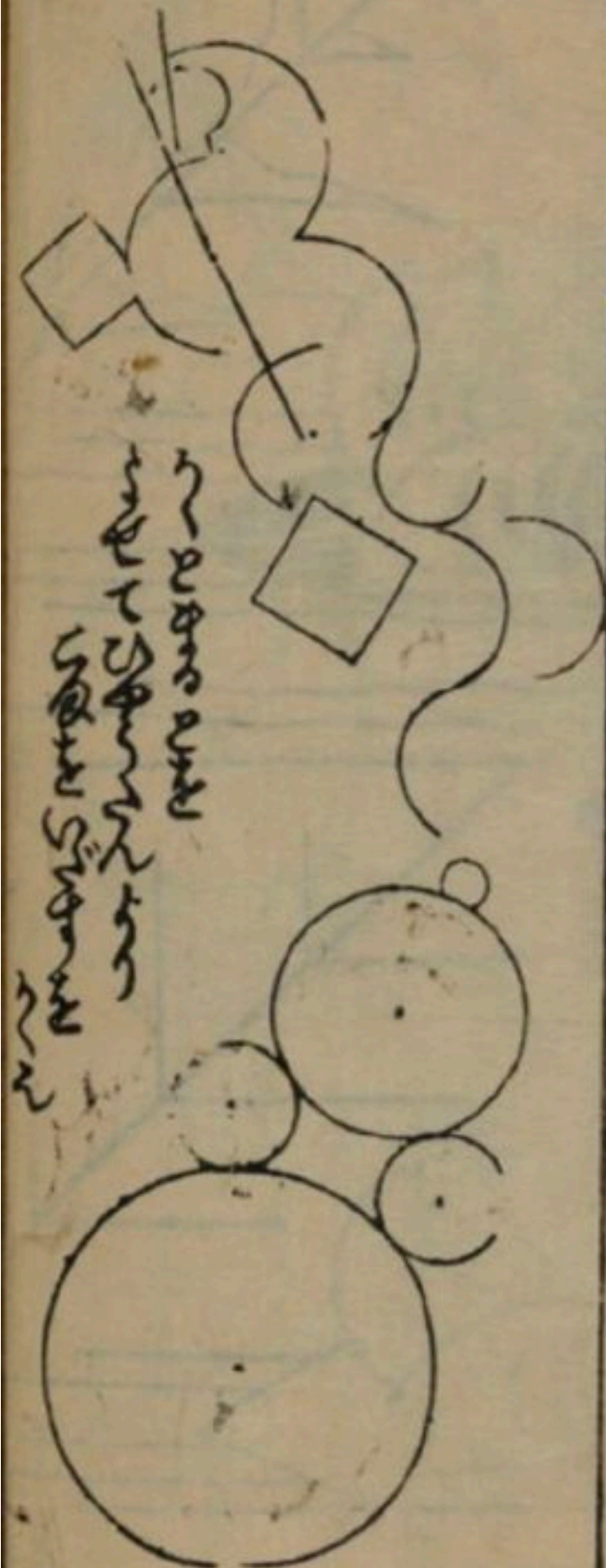




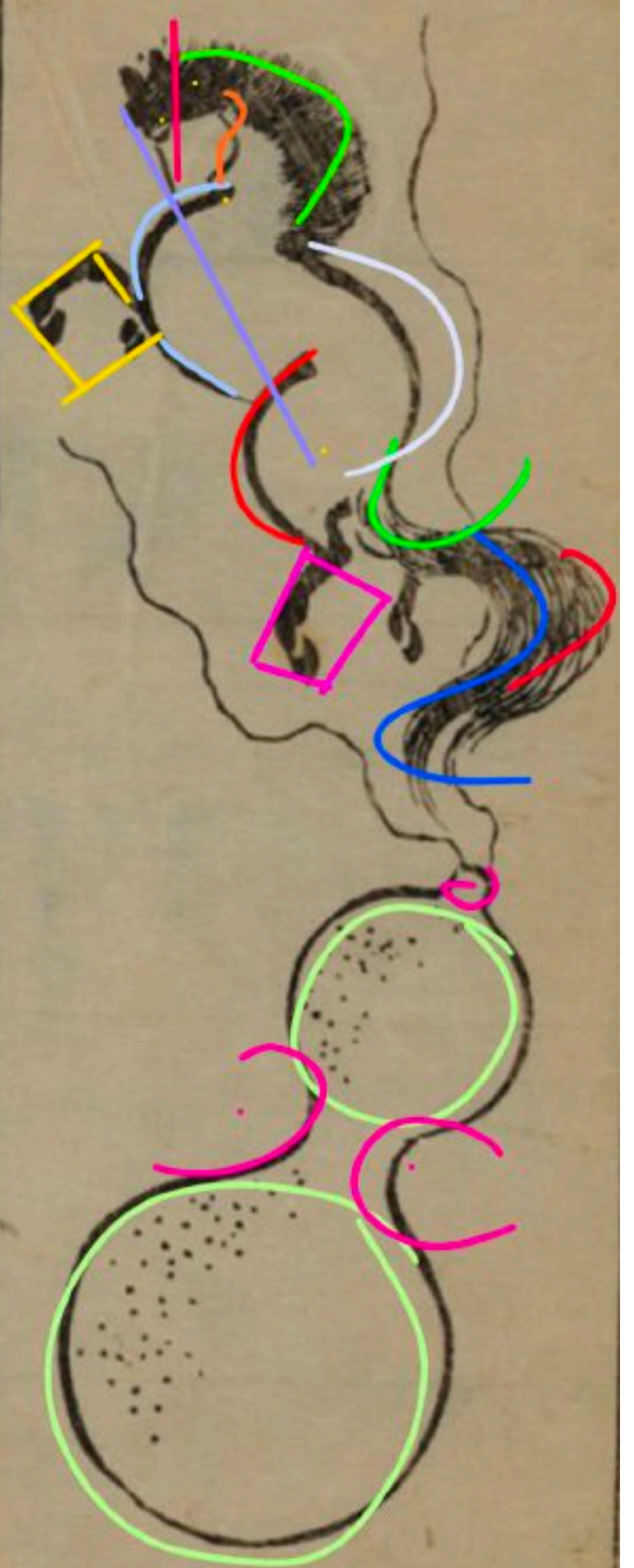


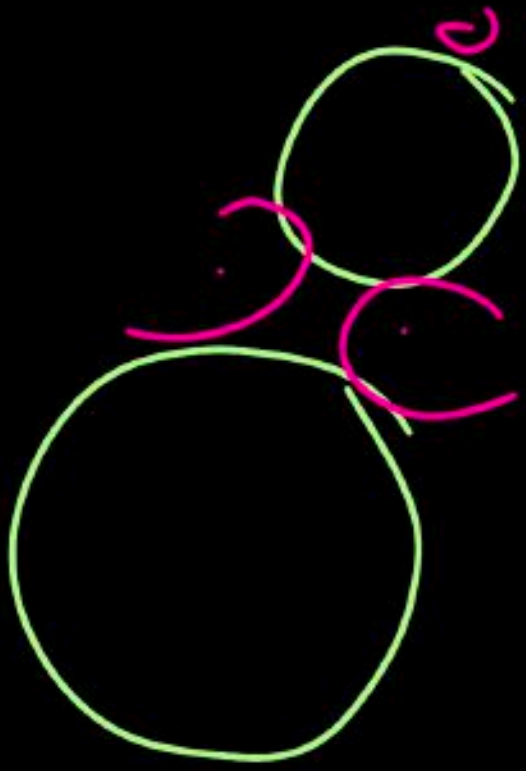
Handwritten text in the top-left quadrant, oriented vertically. The text is written in a cursive script and appears to be a list or set of instructions. The words are difficult to decipher but seem to include "Sider", "Sider", and "Sider".

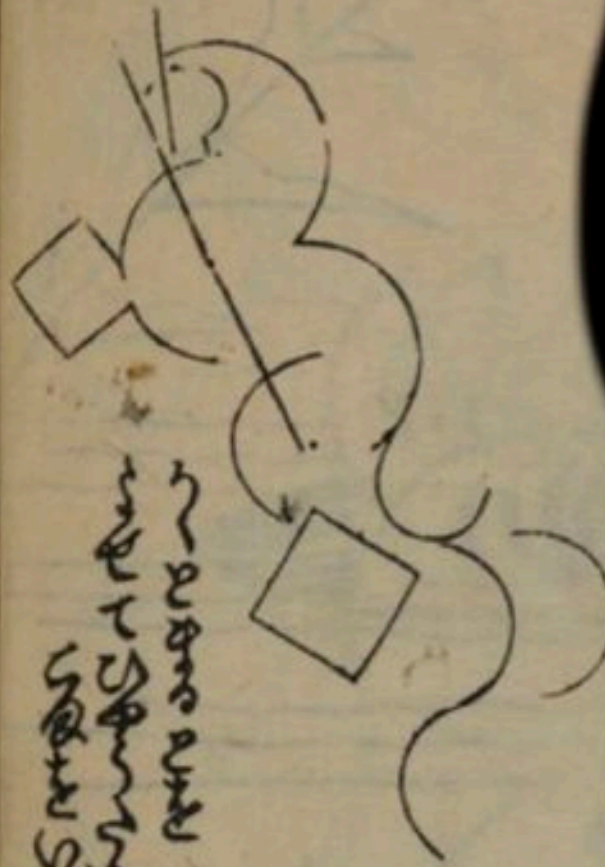




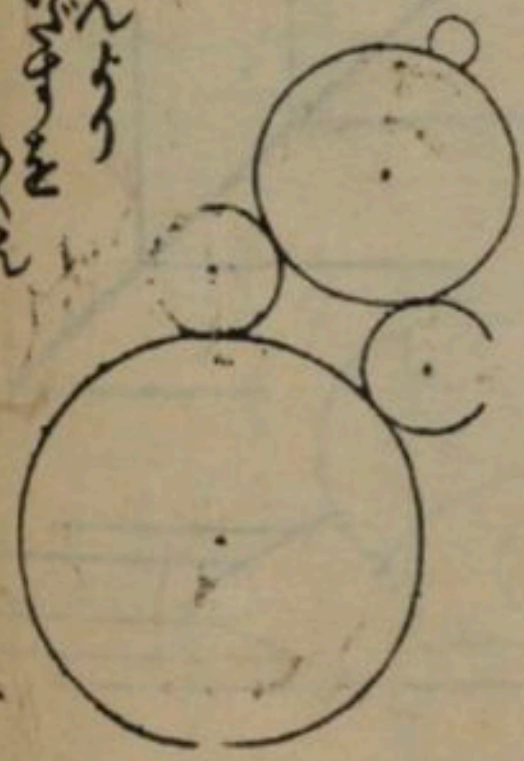
Handwritten text in a cursive script, oriented vertically. The text is difficult to decipher but appears to contain several lines of characters.

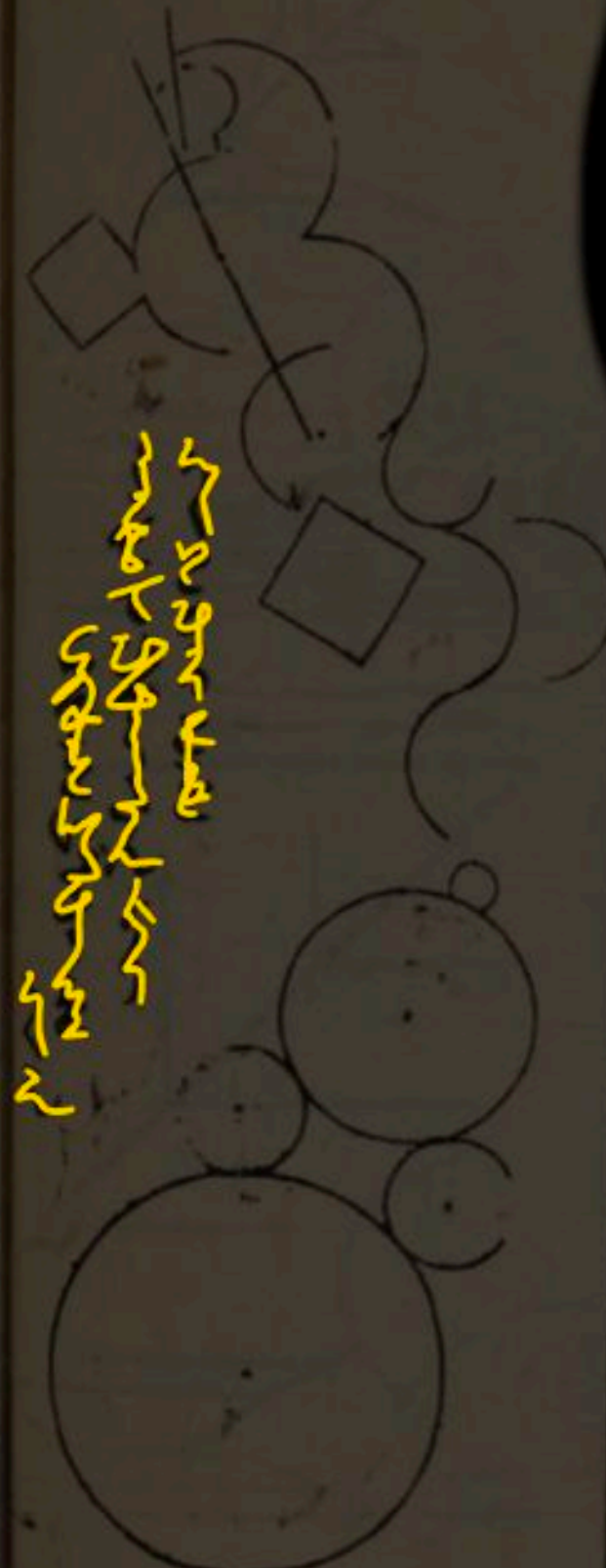




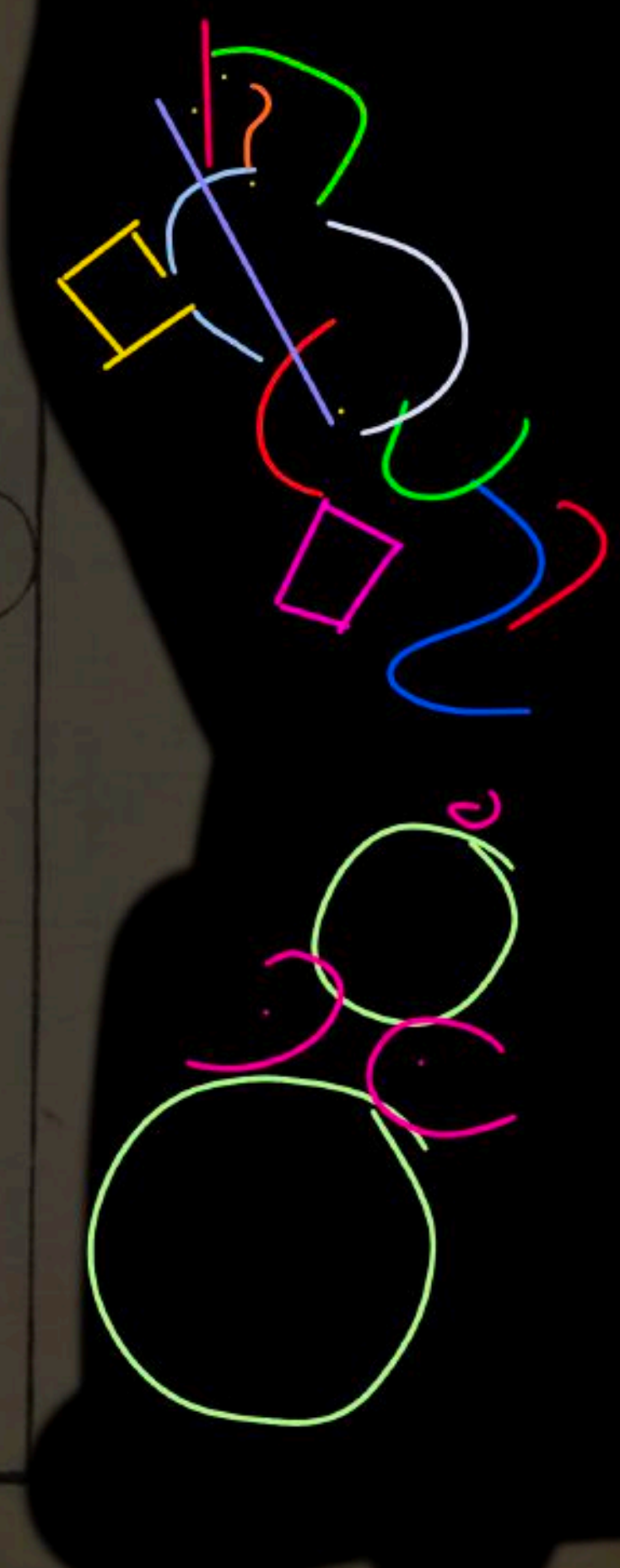


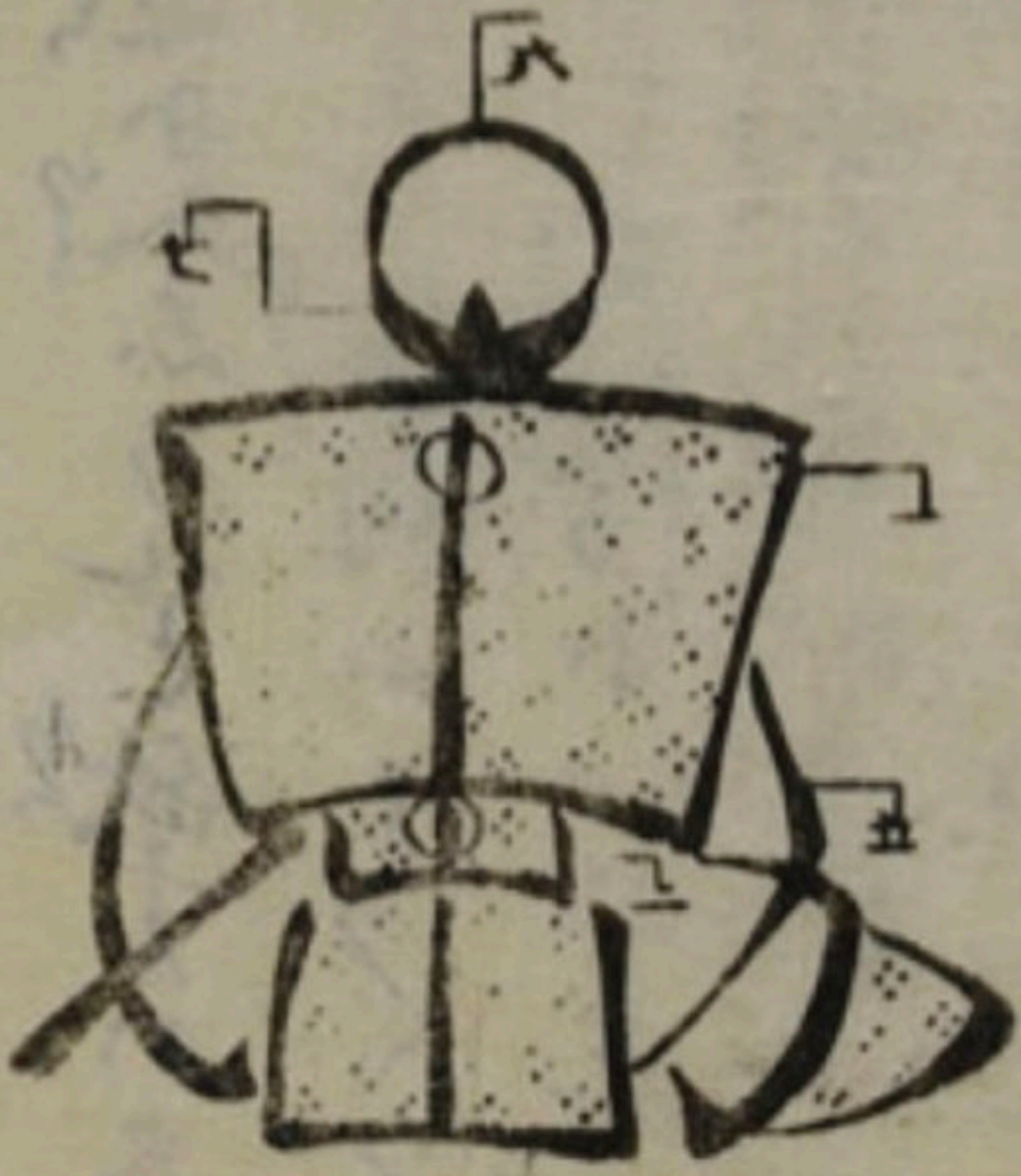
Handwritten text in a cursive script, oriented vertically. The text is difficult to decipher but appears to contain several lines of words.





Handwritten text in yellow ink, possibly a list or notes, written vertically. The text is difficult to read due to its cursive style but appears to contain several lines of characters.







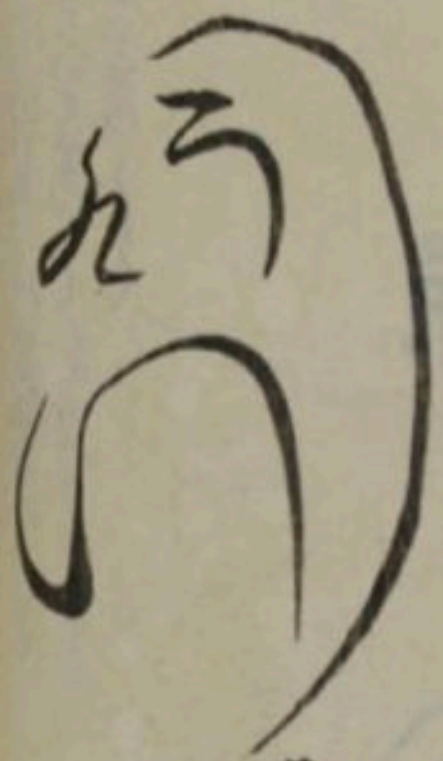
返真無志吊入道  
濃土瓶立山水天狗



龍の口を  
 龍の口を  
 龍の口を  
 龍の口を  
 龍の口を

龍の口を  
 龍の口を  
 龍の口を

龍の口を



龍の口を

龍の口を

龍の口を

龍の口を

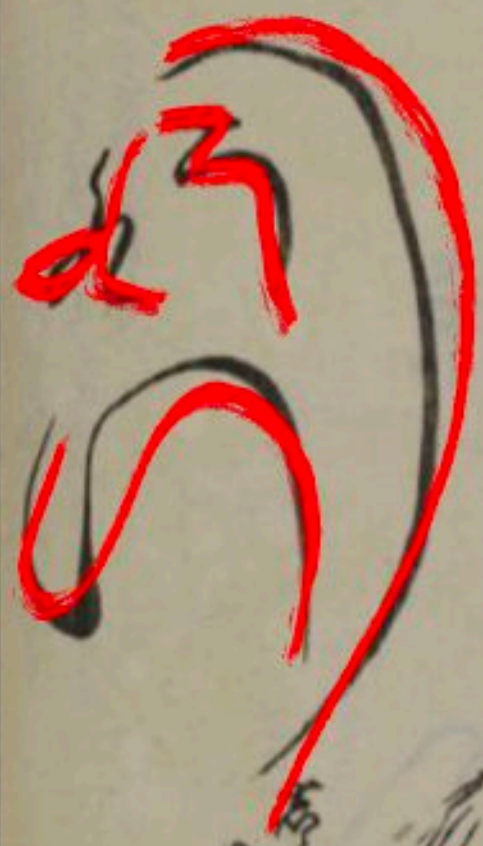
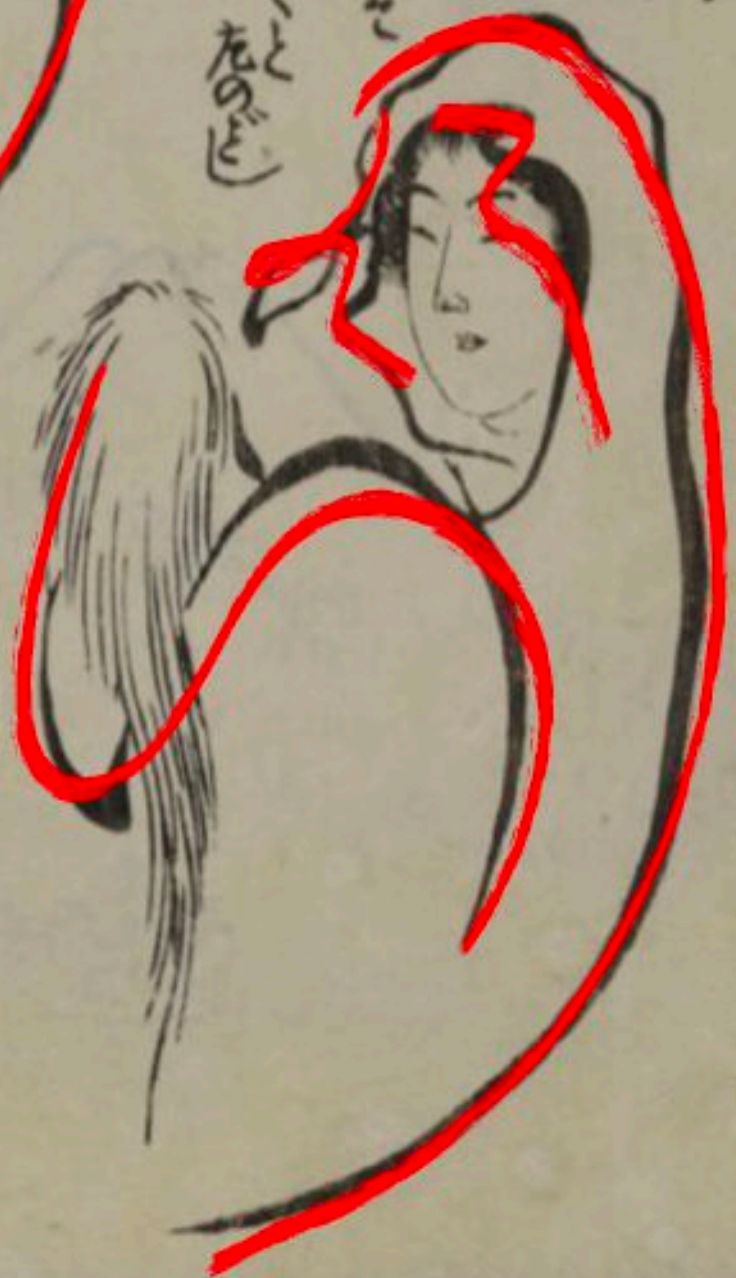
龍の口を

龍の口を

Handwritten text in a cursive script, likely a list or notes, located at the top of the page.

Handwritten text in a cursive script, located below the top text.

Handwritten text in a cursive script, located to the left of the central figure.



Handwritten text in a cursive script, located to the right of the red scribble.

Handwritten text in a cursive script, located below the previous block.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the central section.

Handwritten text in a cursive script, located on the left side of the page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom left of the page.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom left of the page.





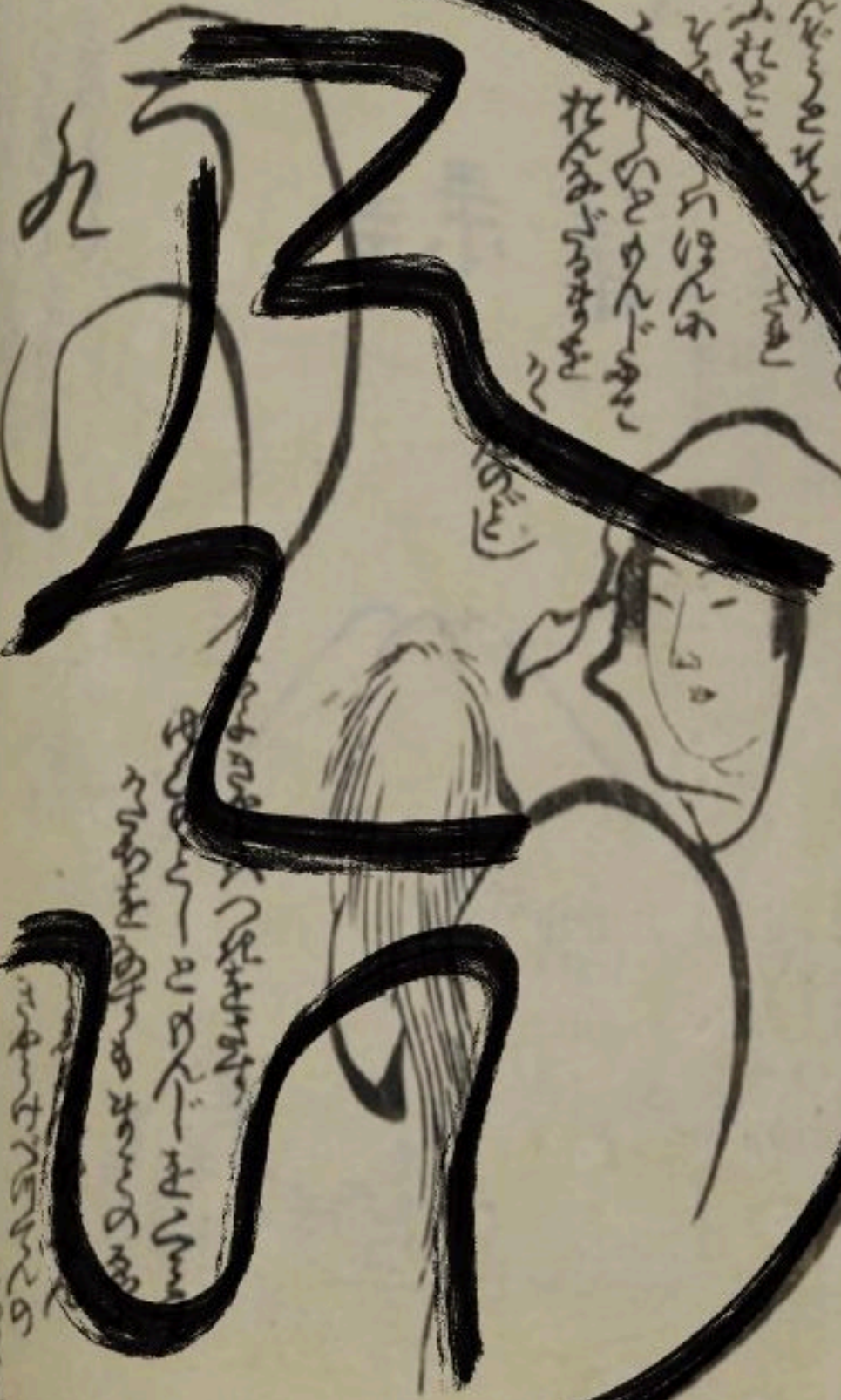




くがすぬんのあぢからんち  
りちちちちちちちちちちち  
ちんちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち

ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち

ちちち



お

ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち

ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち

ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち

ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち  
ちちちちちちちちちちち













武松  
將軍神



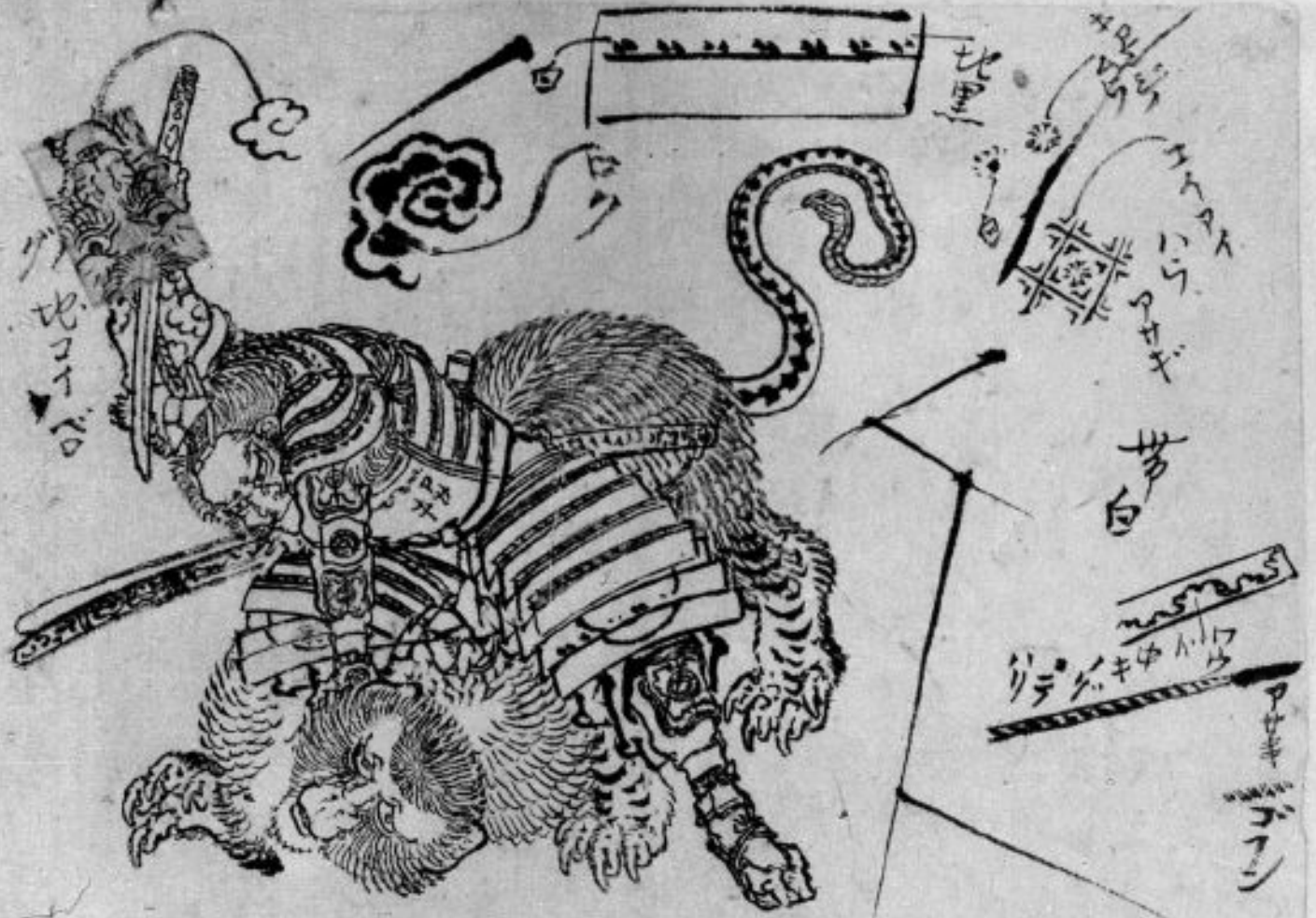


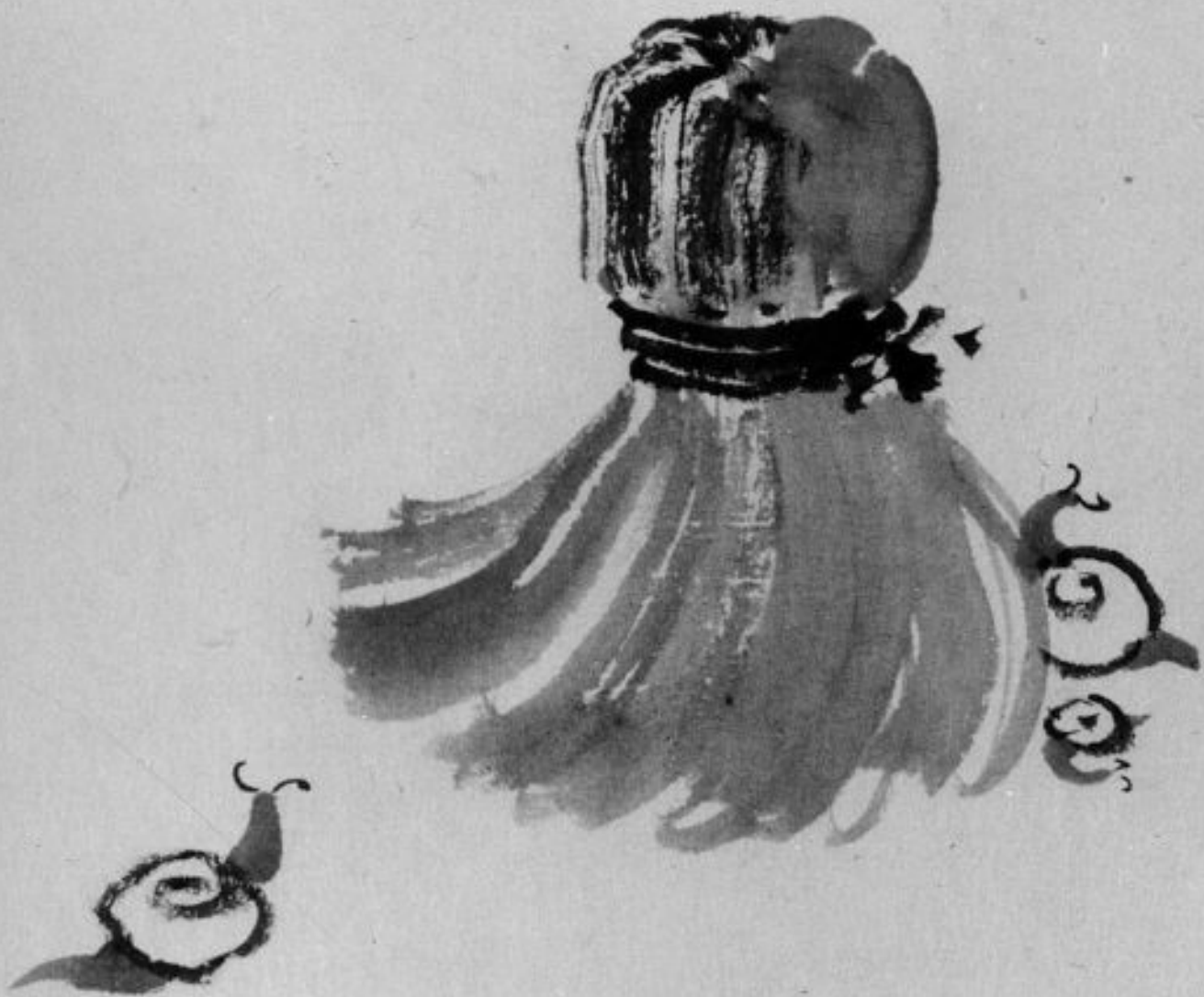


1954/11/11

1954/11







田川

自得亭  
花咲翁

よりの秋の  
あけし  
あきつりゆく  
いふの音せの  
くさくさけさ

乃善堂  
最良

つとむのそ  
はせよせらん  
しほす  
けいよ  
石川の浦



不了軒  
止古

えぼせと  
船六のよ  
せんの上信  
羽子田の  
兼ていひ  
説船

市人

あそびの  
はなはたし  
石川の  
をあげし  
浦の初英



日本橋

東田舎丁雅

さしこもり  
像をくま  
まわりの  
小舟んちより  
出るわらうと

朝倉兼三筆

私引山と

うけゆき  
日舟橋  
よりハ九草  
江戸の形



南枝屋吉

和ら  
まはやく  
いれ  
ひつ  
精  
く  
ん  
さ  
い

重宝堂西伝

三三三

富士山  
初松葉

ねねうく  
日寺堂







写真の  
不二



写真の  
不二



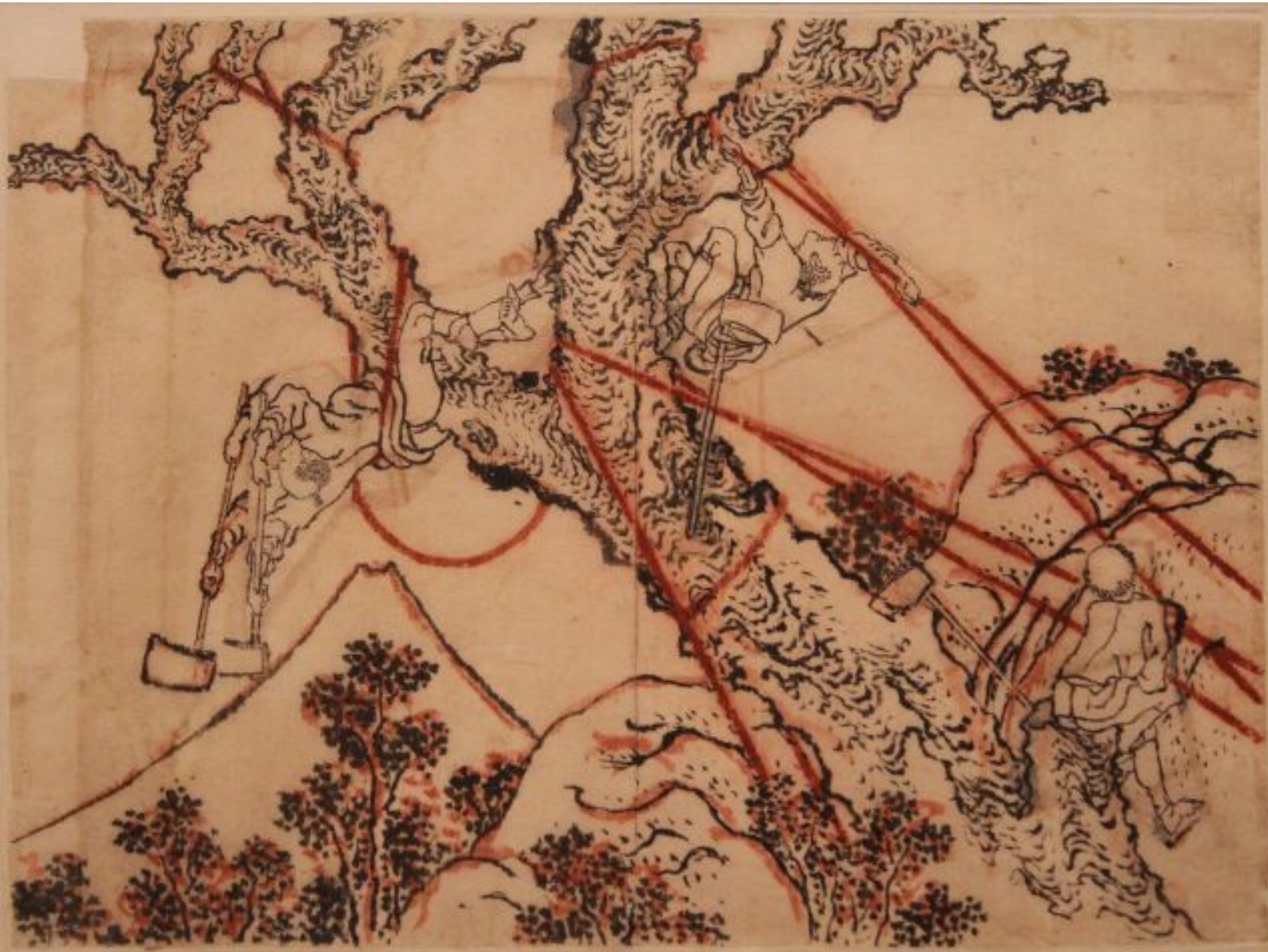


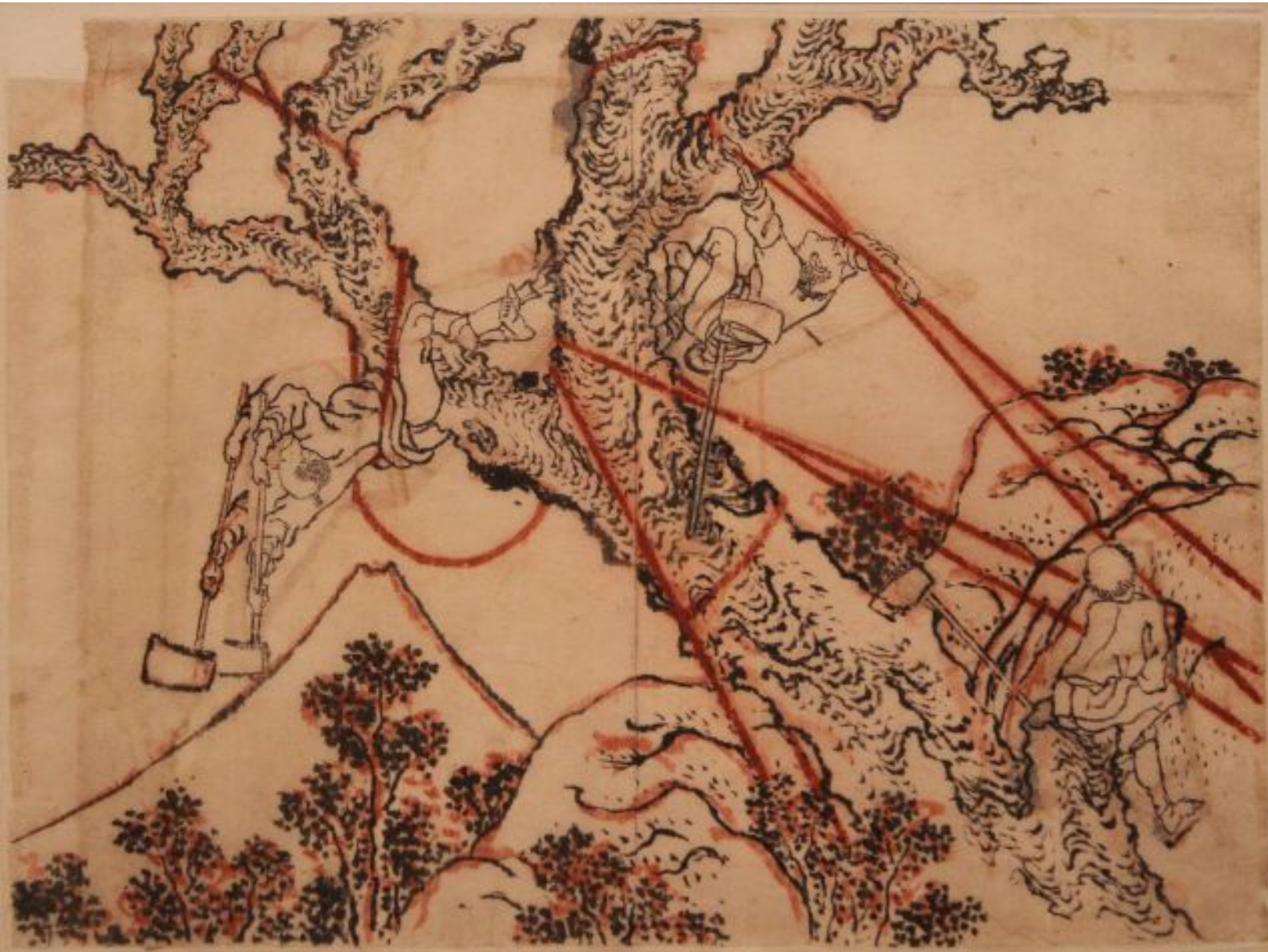


諸名橋奇覽  
五卷下  
五十一

華山居士







遠江山中  
不二



遠江山中  
不二







雪夜の旅



雪夜の旅







[Main page](#)  
[Welcome](#)  
[Community portal](#)  
[Village pump](#)  
[Help center](#)

Language select

English

Participate

[Upload file](#)  
[Recent changes](#)  
[Latest files](#)  
[Random file](#)  
[Contact us](#)

Tools

[What links here](#)  
[Related changes](#)  
[Special pages](#)  
[Permanent link](#)  
[Page information](#)  
[Wikidata item](#)  
[RSS feed](#)  
[Nominate category for discussion](#)

Print/export

[Create a book](#)  
[Download as PDF](#)  
[Printable version](#)

In other projects

Wikipedia

In Wikipedia

English

Français

Italiano

日本語

Русский

Tiếng Việt

中文

3 more

Edit links

Not logged in [Talk](#) [Contributions](#) [Create account](#) [Log in](#)

Category [Discussion](#)

View

[Edit](#)

[History](#)

Search Wikimedia Commons

## Category:Katsushika Ōi



From Wikimedia Commons, the free media repository

**English:** **Katsushika Ōi** (1791?–?) was a Japanese Ukiyo-e artist in the late Edo period. She was the biological daughter of **Katsushika Hokusai**.

**日本語:** **葛飾応為**（寛政3年?–?）は、江戸時代後期の浮世絵師。葛飾北斎の娘。

### Pages in category "Katsushika Ōi"

This category contains only the following page.

**K**

- [Creator:Katsushika Ōi](#)

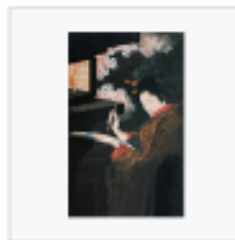
### Media in category "Katsushika Ōi"



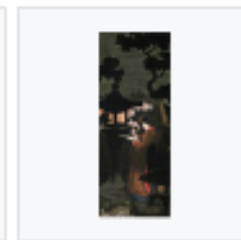
The following 23 files are in this category, out of 23 total.



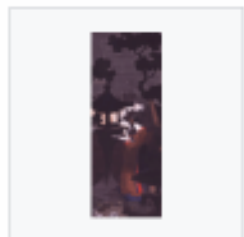
Announcement of Hokusai's death.jpg  
1,713 × 1,259; 511 KB



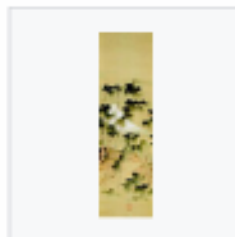
Cherry trees at night (detail) by Katsushika Ōi.jpg  
3,785 × 6,045; 4.07 MB



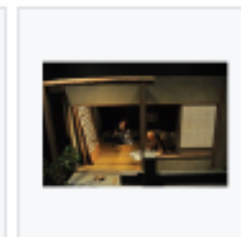
Cherry trees at night by Katsushika Ōi.jpg  
2,113 × 5,533; 2.37 MB



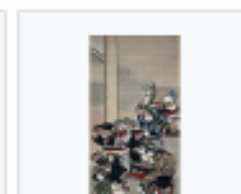
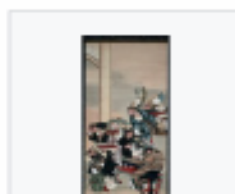
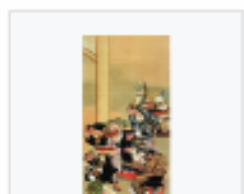
Cherry trees at night.png  
212 × 550; 58 KB



Chikurin no Fuji-zu by Katsushika Ōi.jpg  
823 × 2,761; 504 KB



Edo-Tokyo Museum - miniature model of Hokusai's studio 01 (15585495469).jpg  
4,288 × 2,848; 5.3 MB



### Katsushika Ōi [Hide]

Japanese artist (c.1800-c.1866)



[Upload media](#)

[Wikipedia](#)

**Name in native language** 葛飾応為

**Date of birth** c. 1800  
Edo

**Date of death** c. 1866

**Floruit** 1880

**Country of citizenship** Japan

**Occupation** painter

**Field of work** ukiyo-e

**Father** Katsushika Hokusai

**Sibling** Katsushika Tatsujo

**Work location** Ōsaka

**Authority control** [\[Hide\]](#)

[Q11621076](#)

[VIAF ID: 252578691](#)

[Library of Congress authority ID: n84094177](#)

[GINII author ID \(books\): DA10315358](#)

[National Diet Library ID: 001099026](#)

[Reasonator](#)  [PetScan](#)  [Scholia](#)

[Statistics](#)  [OpenStreetMap](#)  [Locator tool](#)

[Search depicted](#)

久

産何西ト何北何云々

情何何貨道云

角行

西ノ何人何

多澤何

角行

何屋何屋

眼の巾キ糸と人キ白髪ノモジヤ



と海新文



肥角ナ

た女人の角

ミヤ



鴈首行燃中反圃  
 猪牙坐走大川橋  
 雷神抱臍狂歌會  
 人偃東風淺草寮



乃 羅馬  
 乃 羅馬

千歲館

乃 羅馬  
 乃 羅馬

自得蒼花咲翁

乃 羅馬  
 乃 羅馬

花咲万丸

乃 羅馬  
 乃 羅馬

霞開守

乃 羅馬  
 乃 羅馬

布留仲道

乃 羅馬  
 乃 羅馬

晚起急

乃 羅馬  
 乃 羅馬

佳日蒼

乃 羅馬  
 乃 羅馬

芳春園蝴蝶

乃 羅馬  
 乃 羅馬

李軒止安

上野高崎

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

平尾春雨付

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

鶴野住

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

元日窓松人

全 紅葉連

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

中仙堂山道

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

松掛島舟成

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

新樹亭茂

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

知足菴吾唯

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

水寿免留

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

悟下位

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

得意度凡

全 藤丘

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

萌黄浦人

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

其身徳成

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

五月葎暗兼

全

あつたも甲斐のあまのりまのちのち

寝語野太降



前北齋  
画狂老人卅筆

画本  
和漢譽

全壹卷

嘉永康成孟春新編  
江都東昌軒發行



古小云書を三とておとさへ言ハこととて  
きすことらう。今こまに成りハ草本多致  
乃形状といふは精々書あるはもそく  
言とおくくとい稽こと。その寫生我  
た一目見ふかちをあり。かハ軍物語  
小つそりの出立といふ。お具此を  
そのありさぬハあくと。詳子阿里こもよ

お者大男と名ひやまのふしう。それこそ  
 おんまゝにいらいてやまらま。此一巻とひら  
 きえんまの清不わま。いしへの巻ある。今  
 の巻ふさぬと。おのけうらま。んちをせら  
 る。終る画程老人の孝此乃よ。健き  
 きのふ乃よ。まきま。くく。ちう。ふ。こ。そ。あ。れ。  
 嘉永三の卯月日山崎美成しるは



十字願満之  
 摩利支尊天

摩利支尊天  
 行前

翻開此天不可見  
 不可捉火不能燒  
 水不能濕由第一  
 陽炎故也

身如物々無心無智  
 正智正見正行正念

十字願満之  
 摩利支尊天







番組

式三書史

初咲法樂器

金屋母子

後の雛形

乱菊杖児童

三月

マ 深川惣藝者中

ハ 同川岸山本齋藤中

千秋萬歳

僅主

鞍羊藏



城敷置本  
琉球八景  
平比有唐一筆





雪月花 第廿卷  
田 福

田 福



此の  
 節は  
 江戸  
 名物

江戸  
 名物

小  
 権

祝  
 歌

江戸  
 名物

江戸  
 名物

江戸  
 名物

江戸  
 名物

江戸  
 名物

江戸  
 名物



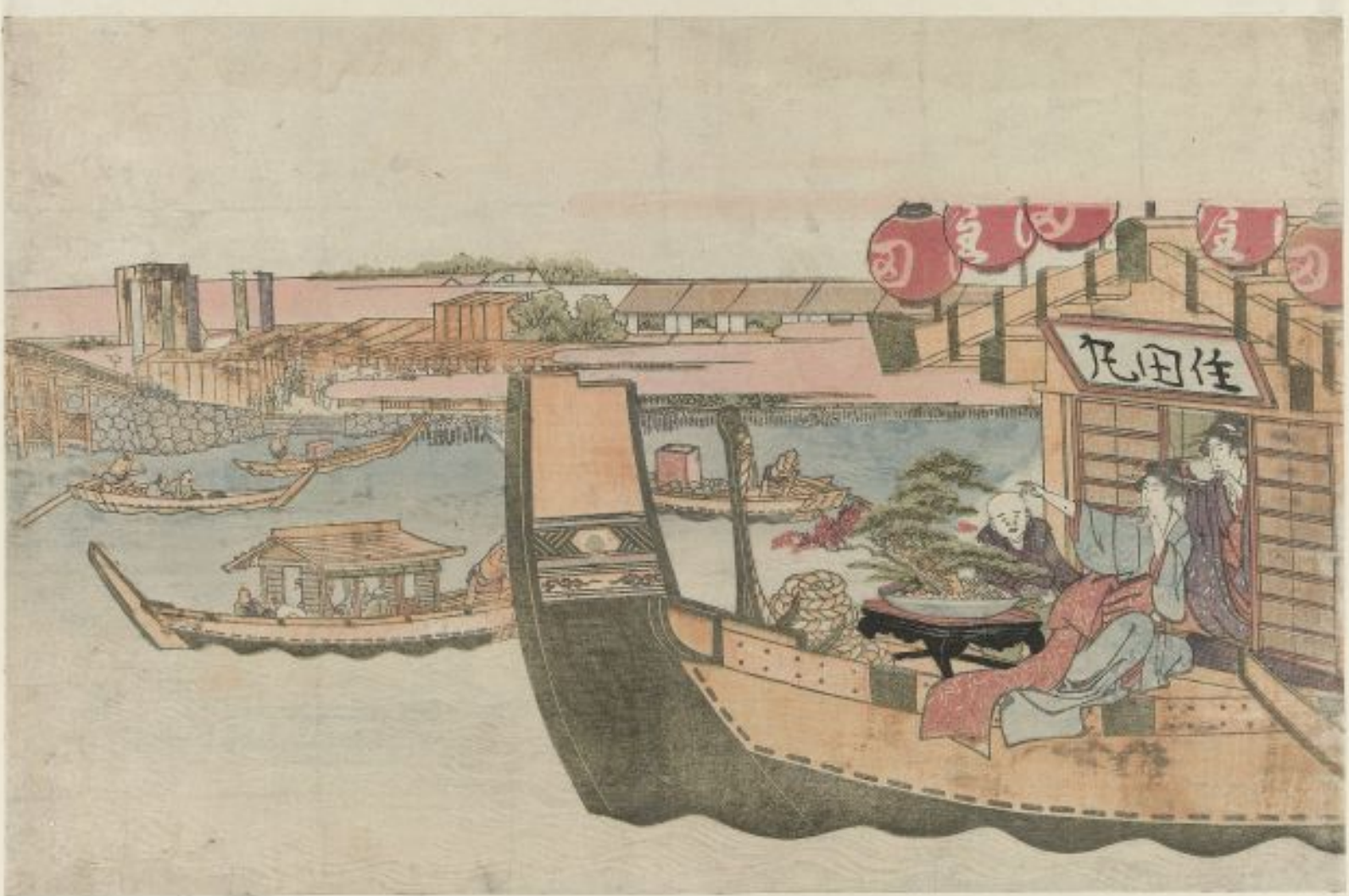
26.710

富士三十六景 相列  
伊原

茶好子







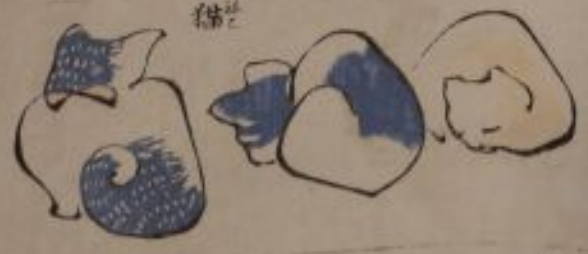




十二支



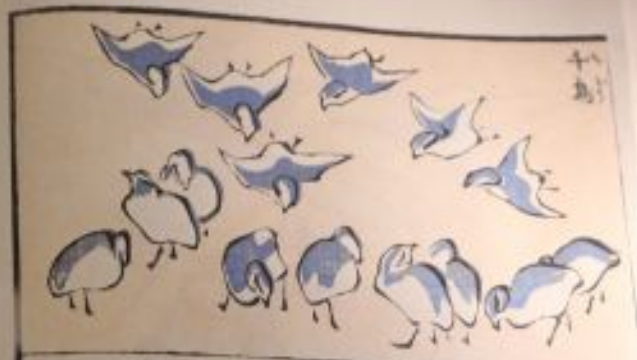
雁



猫



野飼生



十鳥



翠



六五



淺草  
觀世音

金龍山

新板浮繪淺草金龍山之圖繪師北条重八  
下巻  
伊勢屋利兵衛

北条重八



保来千鶴  
山王八  
正徳  
人目  
相  
...

...

...

...

















鶯う啼天は鶯よ  
まをむらうこ

節亭  
南山

まをむらうこ  
かきくは

まをむらうこ

まをむらうこ

まをむらうこ  
まをむらうこ



おなま

世八の玉の

四月夜

まをむらうこ

大徳必局

狂歌堂

桜木よこころくまの物あめ

酒のあはかぬ人のあはれ



狂歌堂







千羽草  
文車花の  
月日をのぼるとく  
まらつてまはるの  
うつくしすの

芦の屋遊雀

梅をえとほりて文車花の  
はもとのまはるの  
まのあはれ

春衣真つ袖成

月日をのぼるとく  
まらつてまはるの  
うつくしすの



春衣真つ袖成  
うつくしすの

紅の玉

赤ん坊

とま

ひん

白ん坊

しん

春亭服成



春亭  
しん



彈初也  
迦陵  
頻伽此  
声高  
二橋

舞小霍の項  
初日乃出  
雲外



雲外





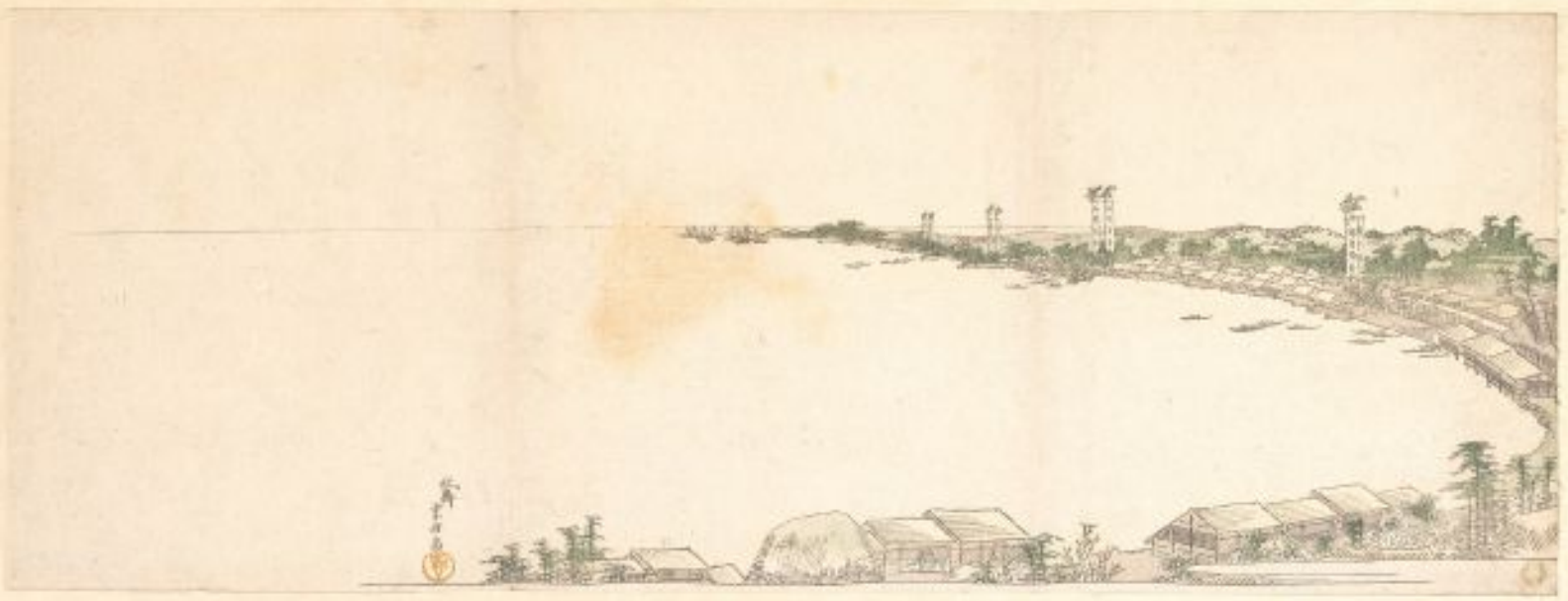






蘇子瞻





樂聖巷

春々々々々々々々々々々々々々々々  
石んと竹くくくくくくくくくく  
石をばくくくくくくくくくく

石上舎  
三年

和合非わくれをむむむむ  
石をとりくくくくくくくくくく  
まろめくくくくくくくくくく

むむむむむむむむむむむむむむ  
これも 石氏くくく  
ちんちんちんちんちんちん  
くくくくくくくくくく

推古天皇の御代に石

石上舎



山家栲面  
四寸五分



山家栲面

雪の舞のほろひのきつね  
あまのこもきつねのこころなり

四寸五分

雪の舞のほろひのきつね  
あまのこもきつねのこころなり



此の世にこそまじりてのまじりしむ  
 しのよとてぞしるすのまじりしむ

宗理改  
 北母魚

花と鳥とをうらと視たりうらとくあうへり屋の橋うめ  
 うらとをうらとせむいほいほのうらとけのちき袖の移り

能舎  
 芳春亭下主  
 櫻 下 堂

未 春

林 礎



夜合位

本



西國橋近

多摩川

小袖もあらん

さほ昨のおさんち町子

白き出—様丁

千人節早業

多路女のみ了正月の物若星

七種赤沼比栴乃い所花



尾重





百人一首

三條院

高橋のまゝりて  
御幸ふまゝりて  
巻く衣  
在礼  
三條院

諸名橋 高麗 何村  
以橋名圖

高麗 第一





武蔵野高橋則

鎌倉種高景政

文



薄田流馬  
小野原

巻二第...





五月廿一日  
江戸  
葛原  
君のあはれ  
今も  
毎日の事  
かき

新橋奇覽  
すべし  
まじし  
まじし

東海道  
新橋





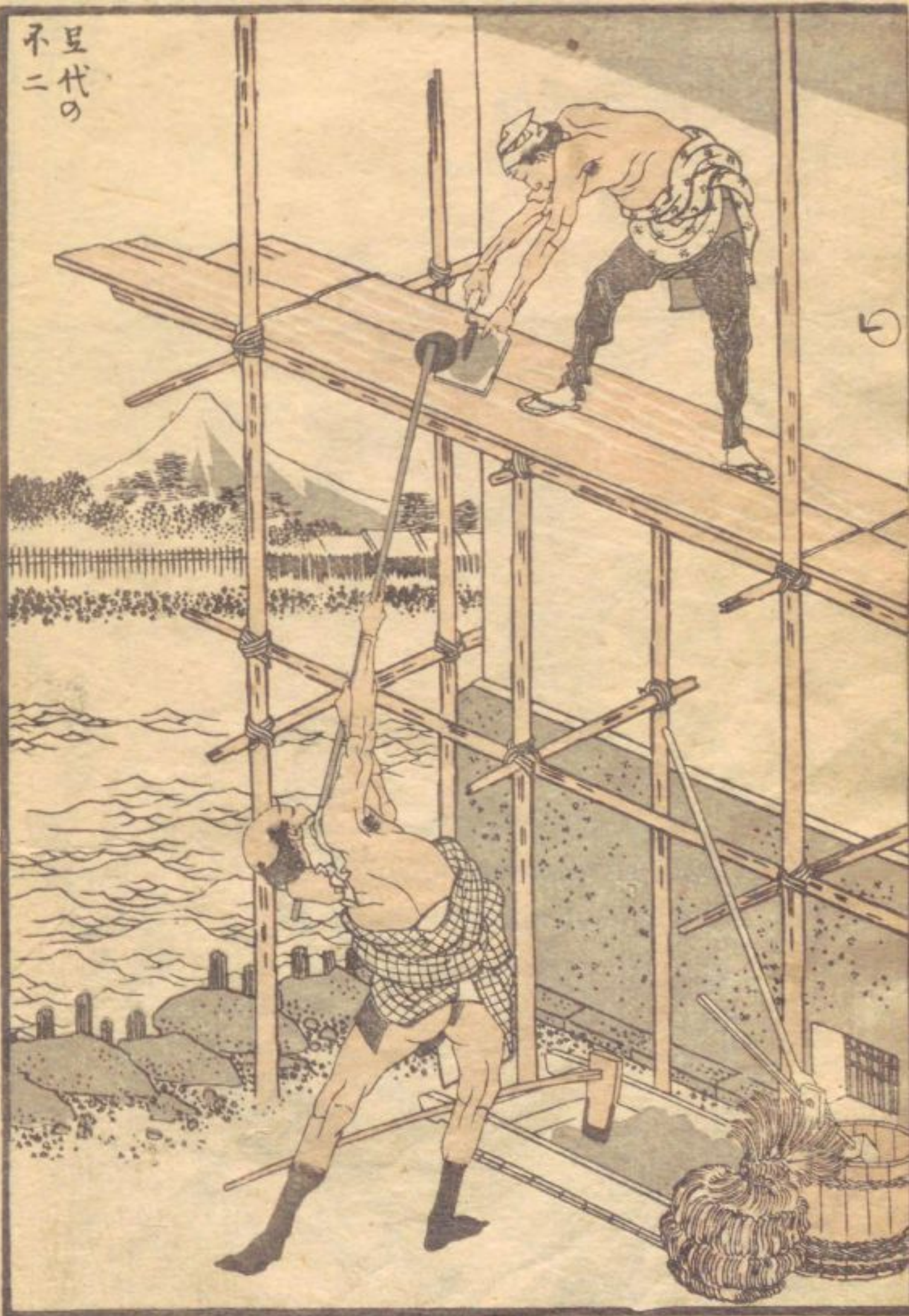
鳥居清満  
画





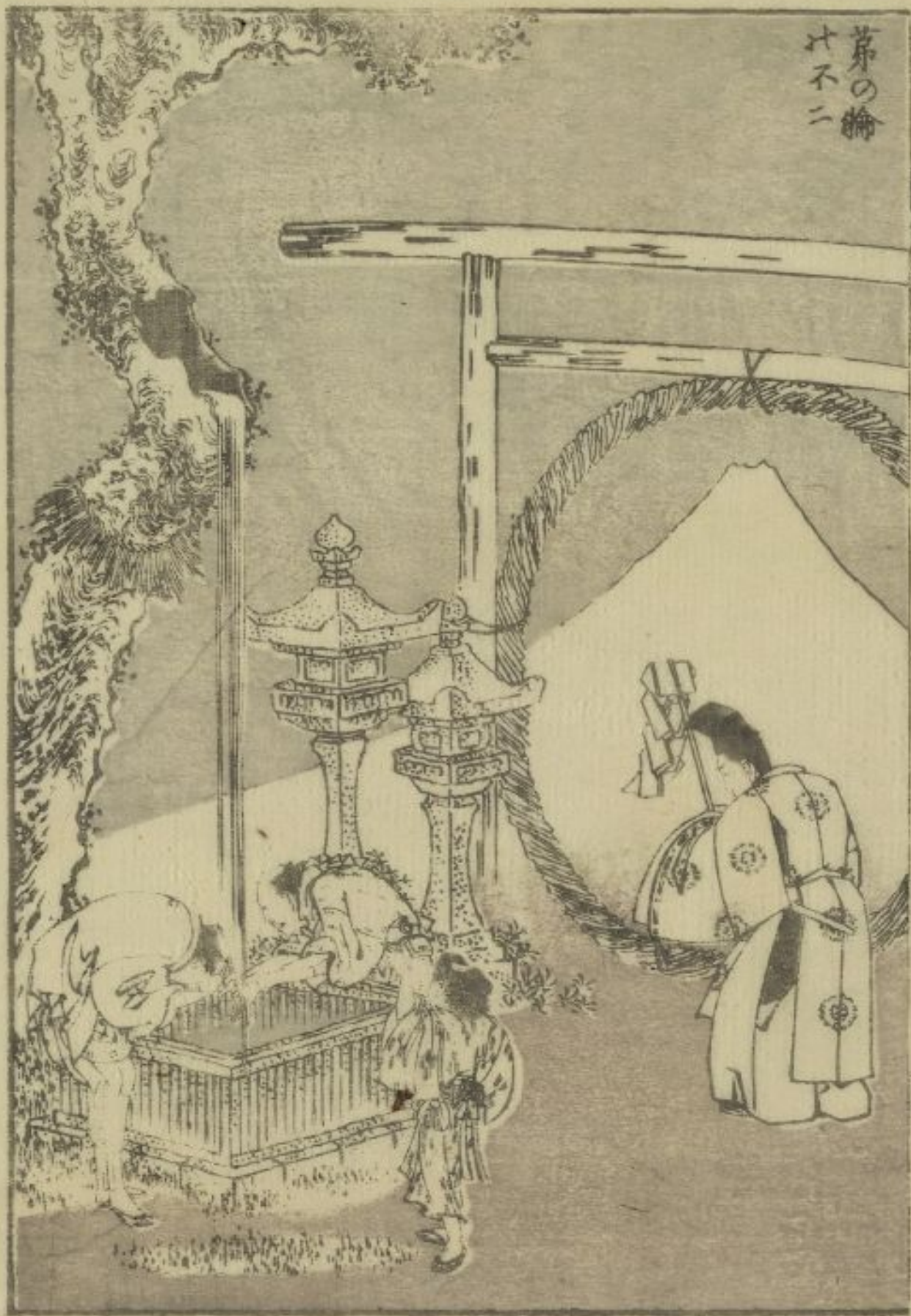


豆代の  
不二



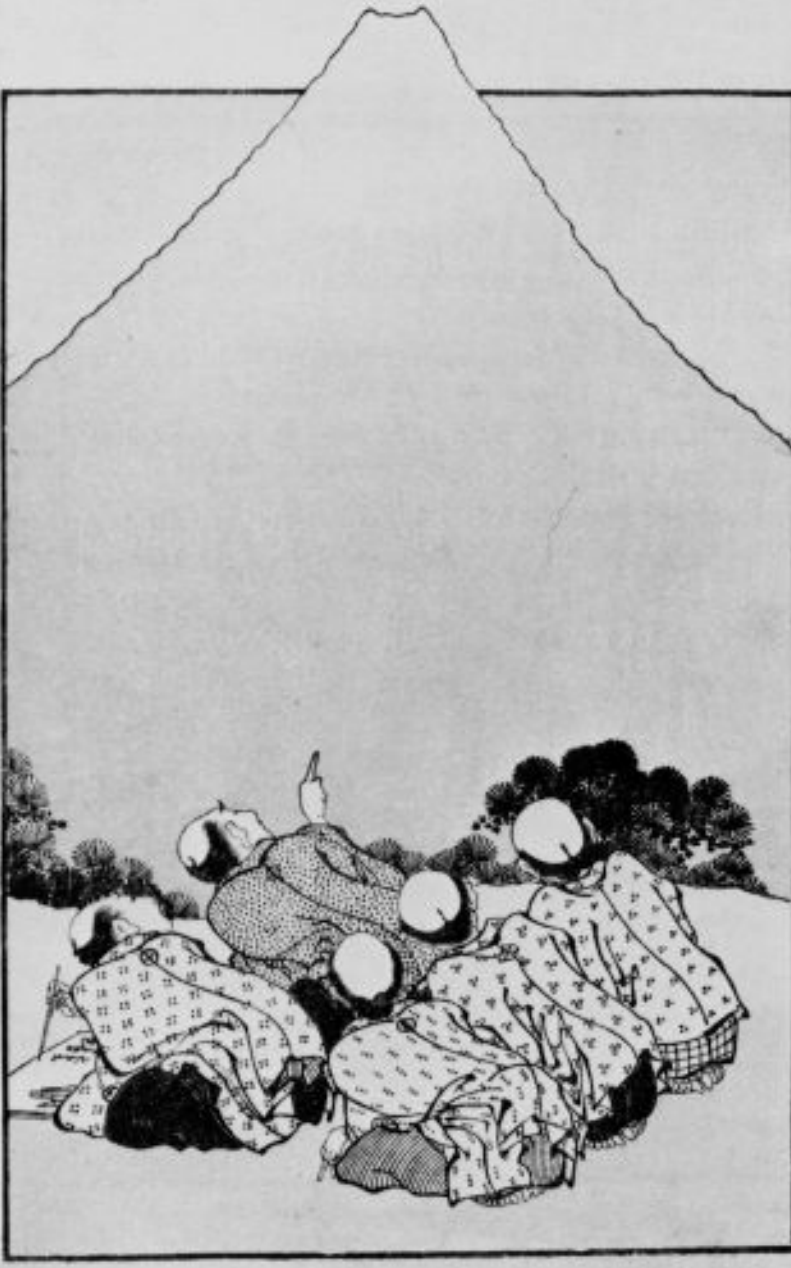
第の輪  
は不二

百景百景三編



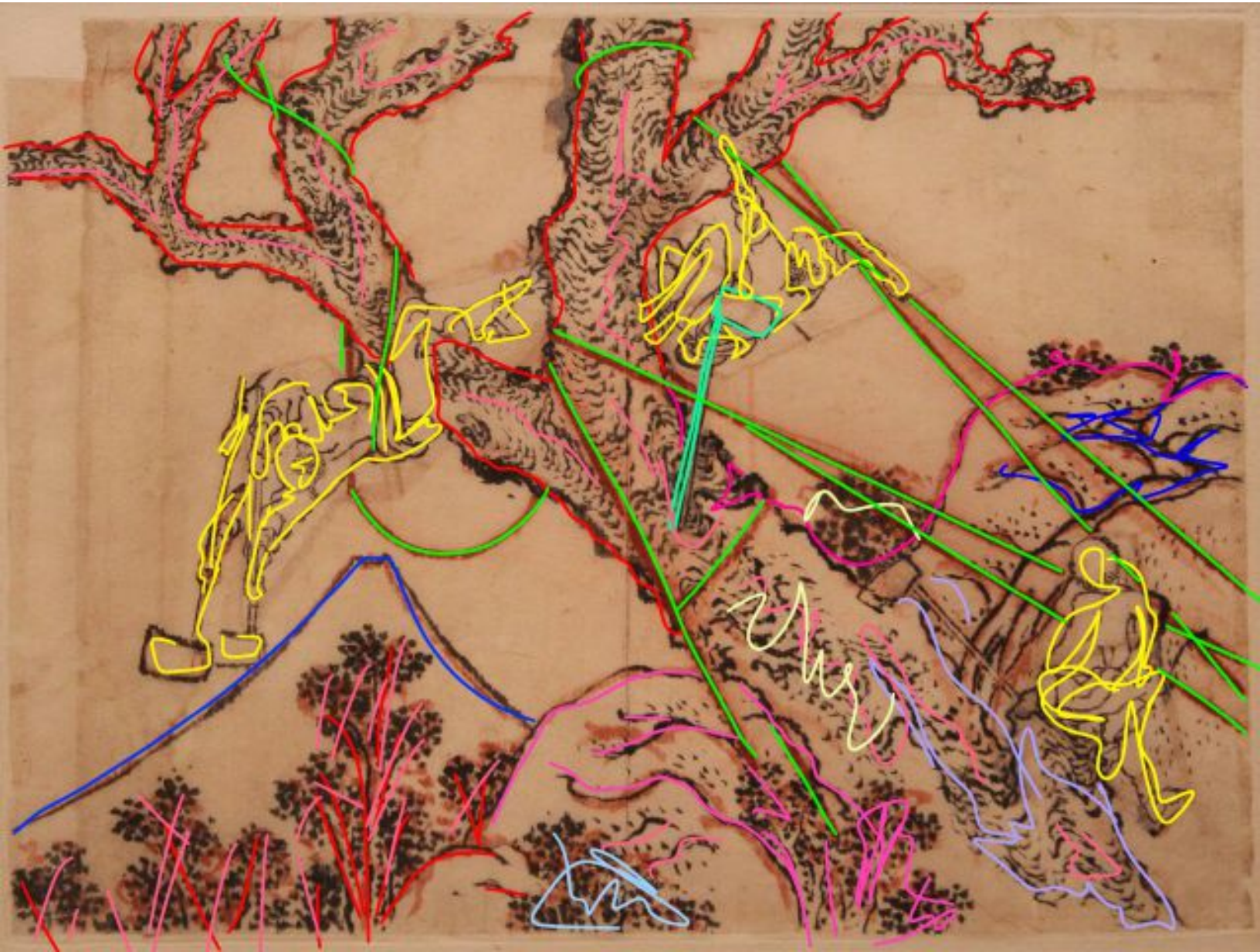
三十一

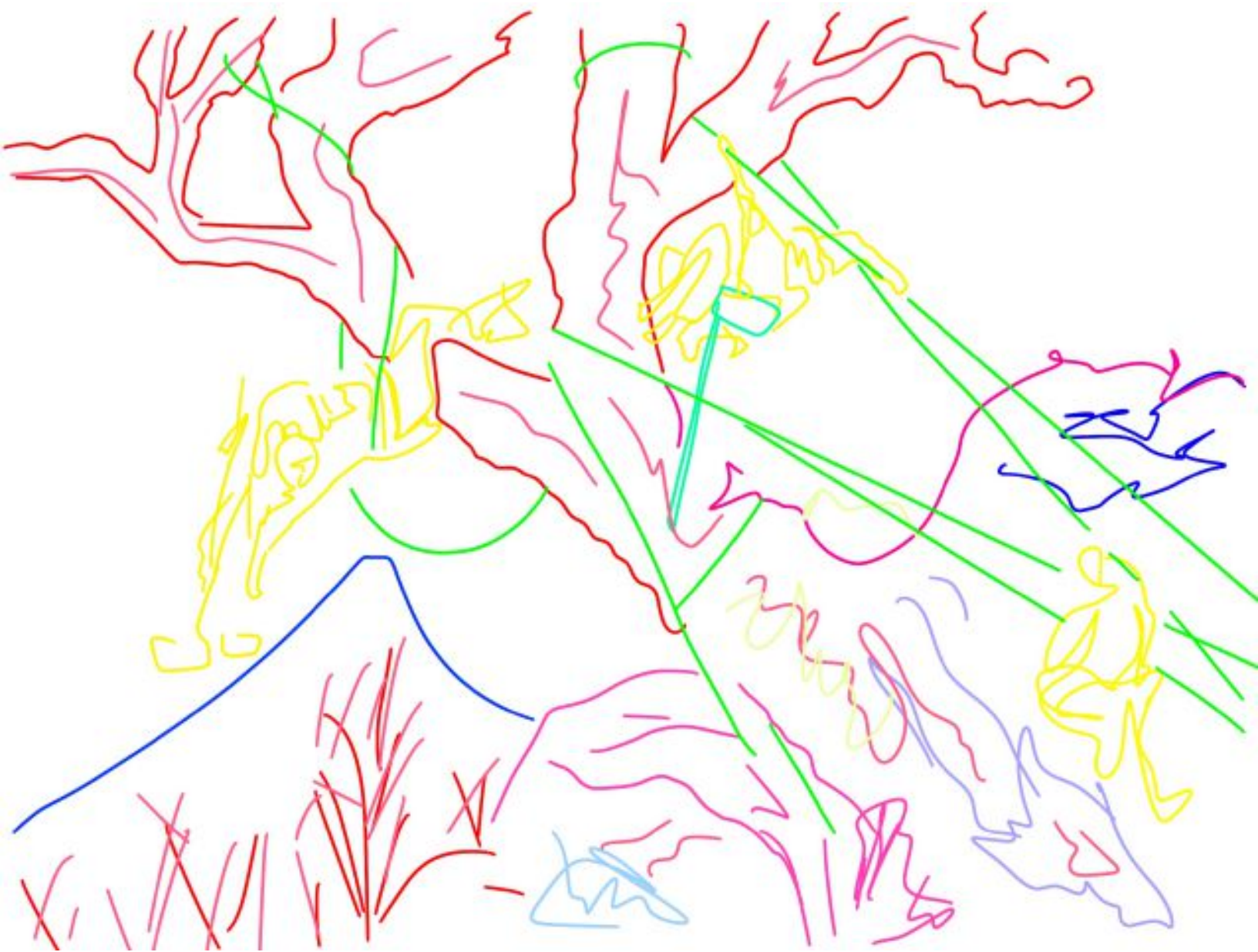
孝靈五年  
不二峯出現



撥穴の  
不二

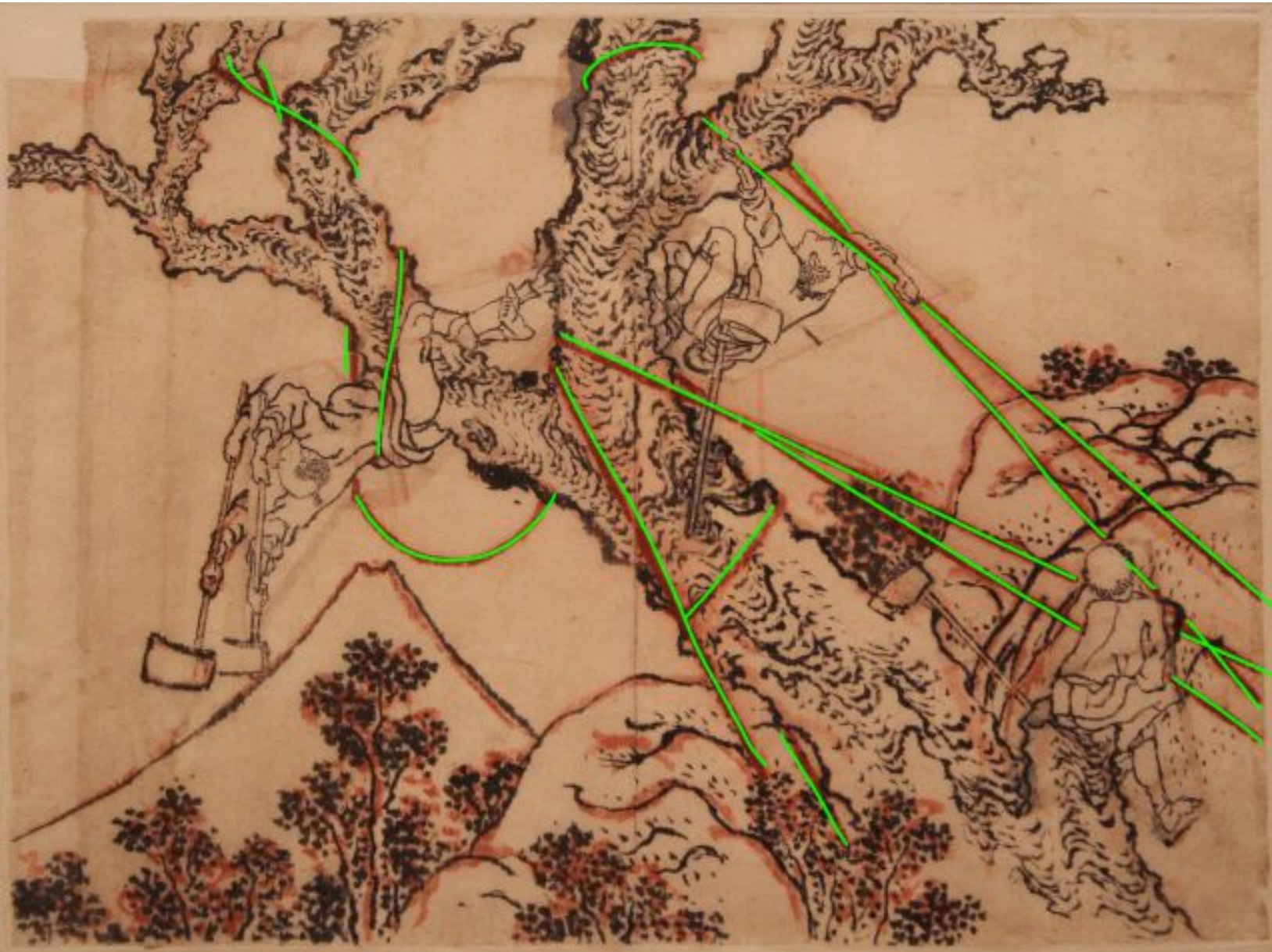


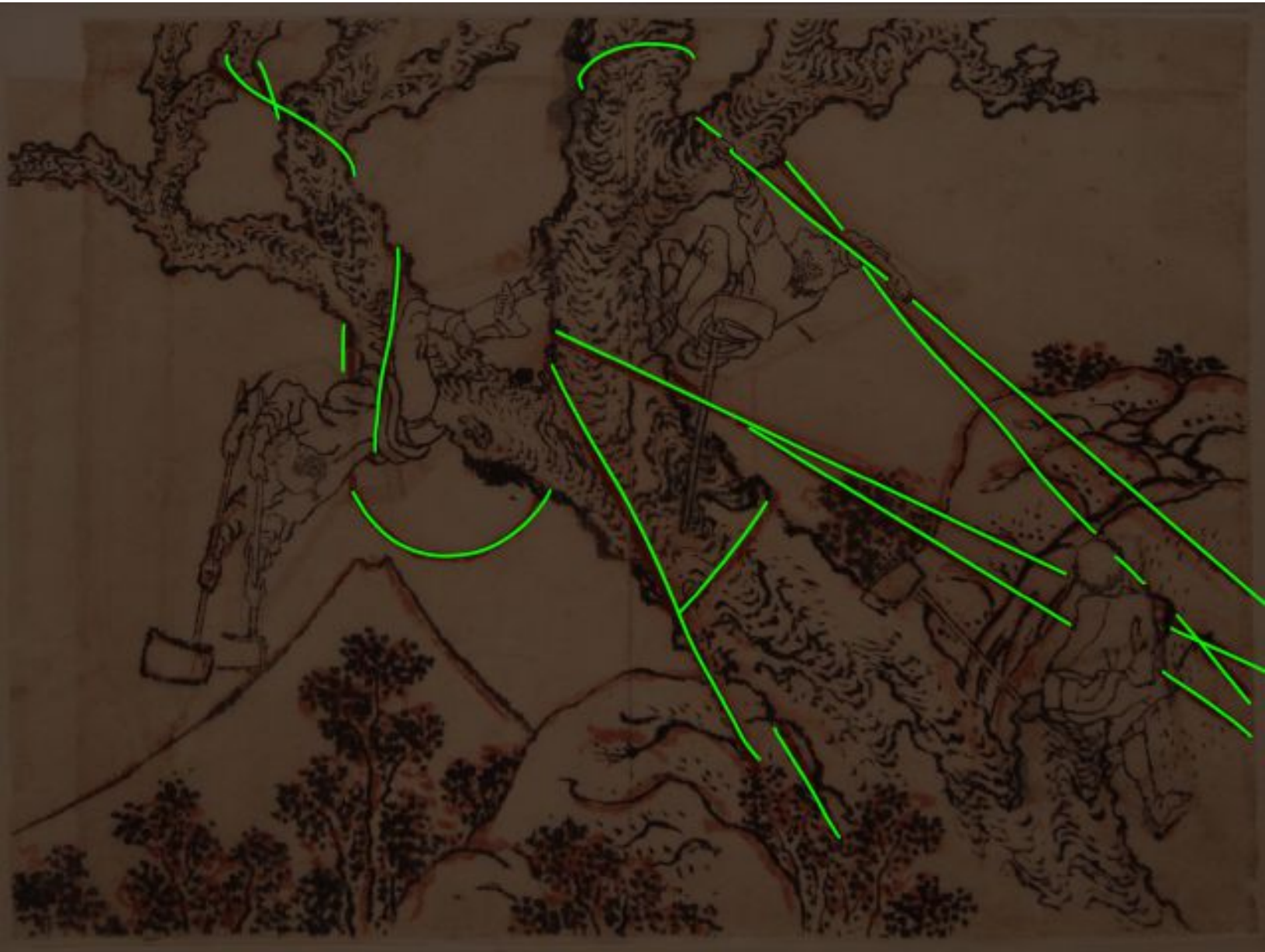












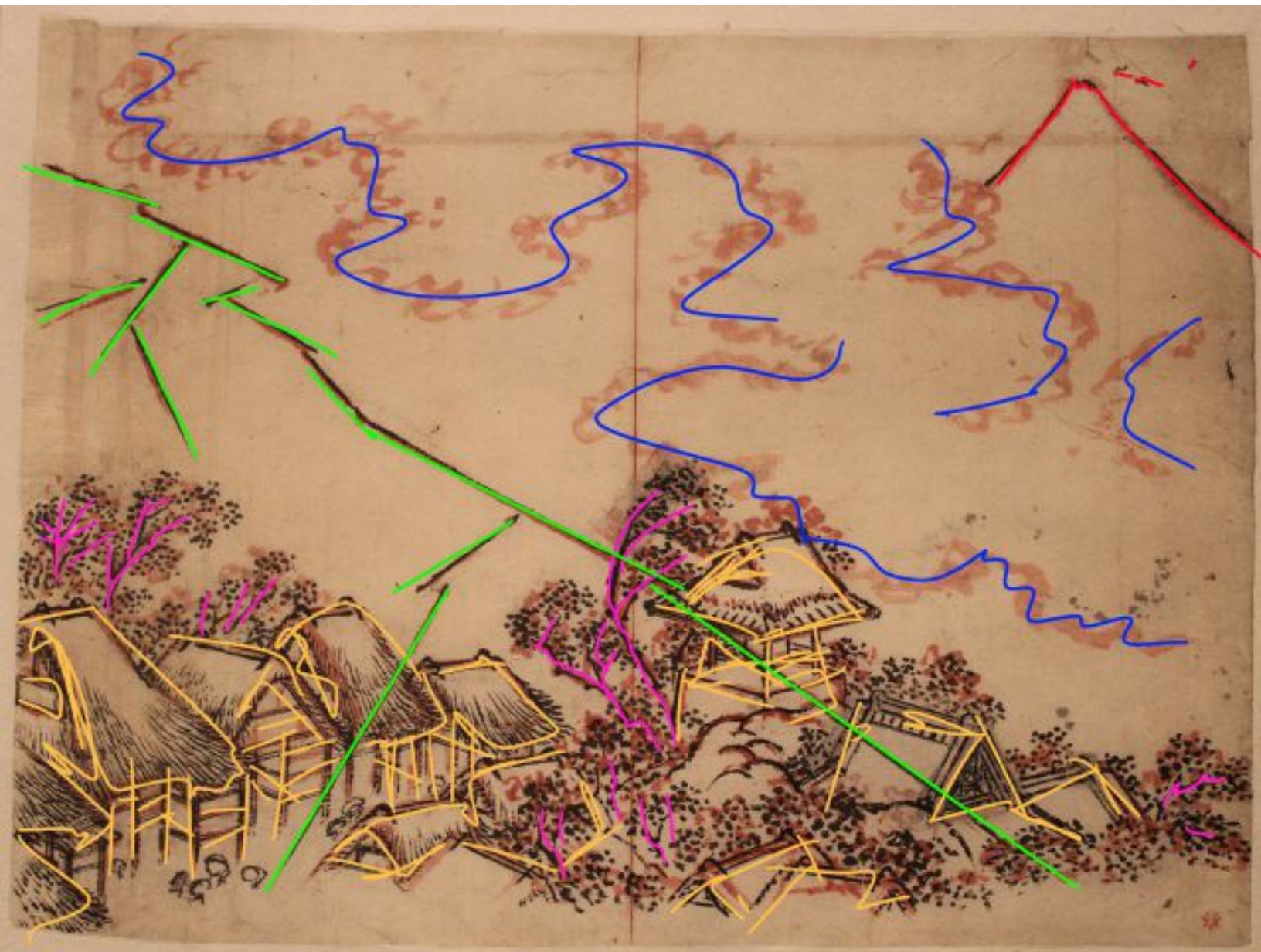


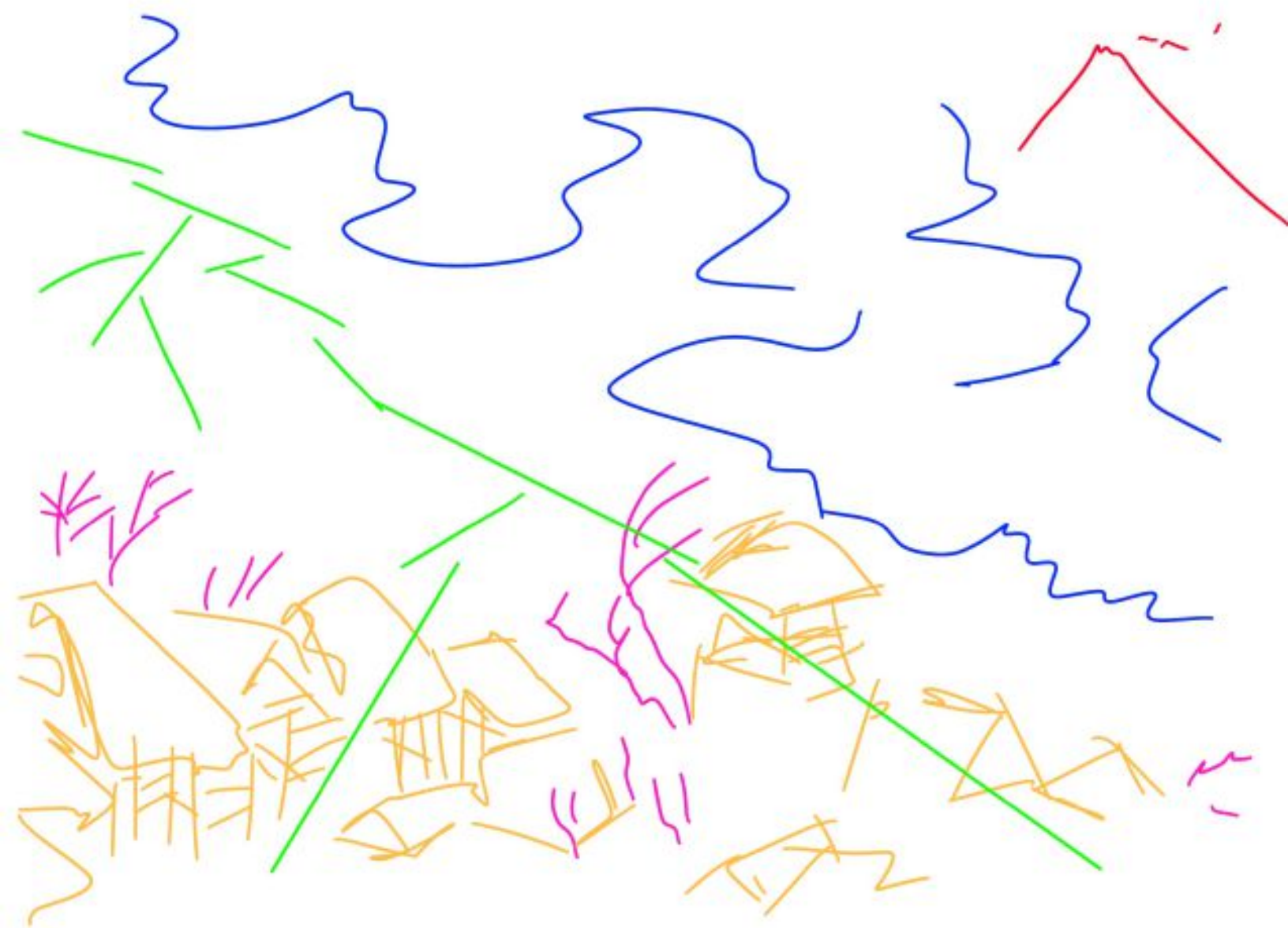
富士百首

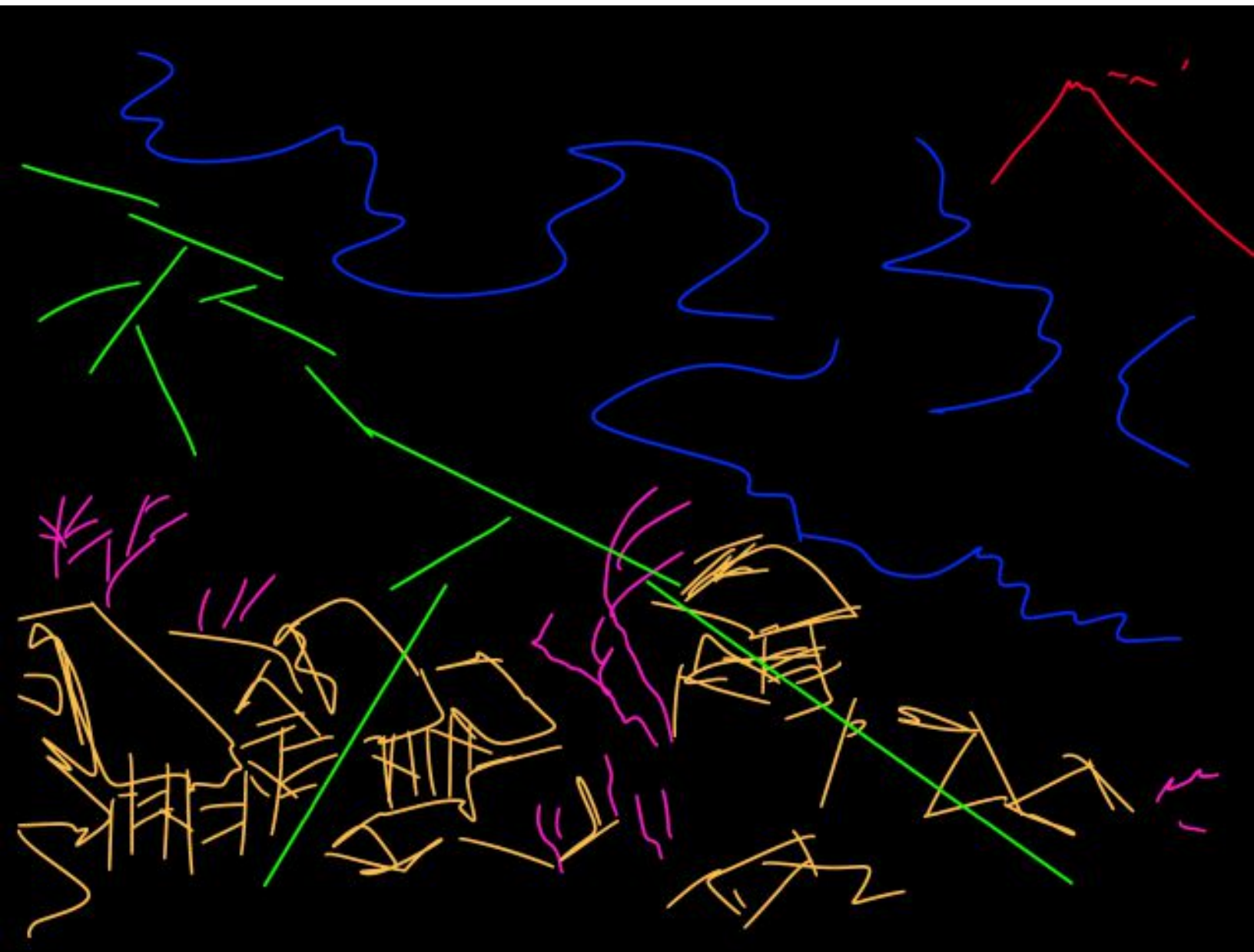
成鄰堂



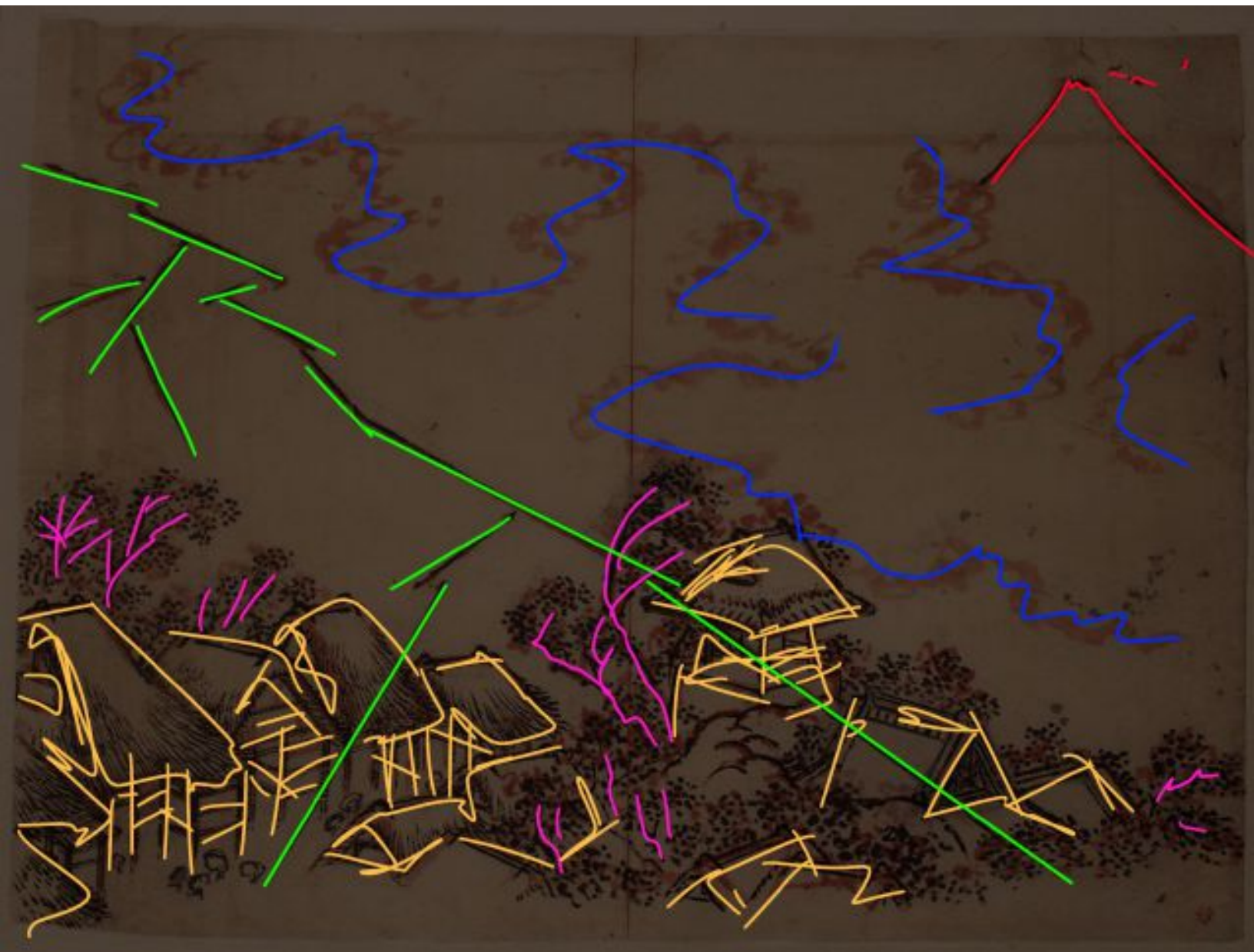
契沖の富士百首を突元... 東海不二而の... 存新... 獨立... 志多... 画帖... 十五... 小載... 若酒... 年... 河... 近... 田... 子... 浦... 見... 三... 保... 々... 々...













室永山  
出現



室永山  
出現



# 富嶽百

成鄰堂

契沖の富士百首も空元也 言顯に  
 東嶽の不二高の巻末申す如く見之  
 存新し百嶽を圖を以て北齋の中山也  
 獨立して六峰七山類半出一家也又獨立  
 志多を各言は事一子五万丈り是如也  
 画帖諸國其の臨載を思ふ者亦多し  
 十五物の杜親而已如も不二十名を秘藏物  
 小載きり先生屢名を改むるをた爲す如也  
 意溢發排きり礼因画道ハ也此長堂  
 年河近々田子其浦に見るあり保る事



赤澤の  
不二

河津三郎祐安

膳野五郎勝久

此は古くは山皇曾て仙丹を此名  
 山子求得るに三編刺成不及  
 東壁主人五蝶子序を予子需  
 一閱三歎きく之を記

七竇山下老人小笠(那)

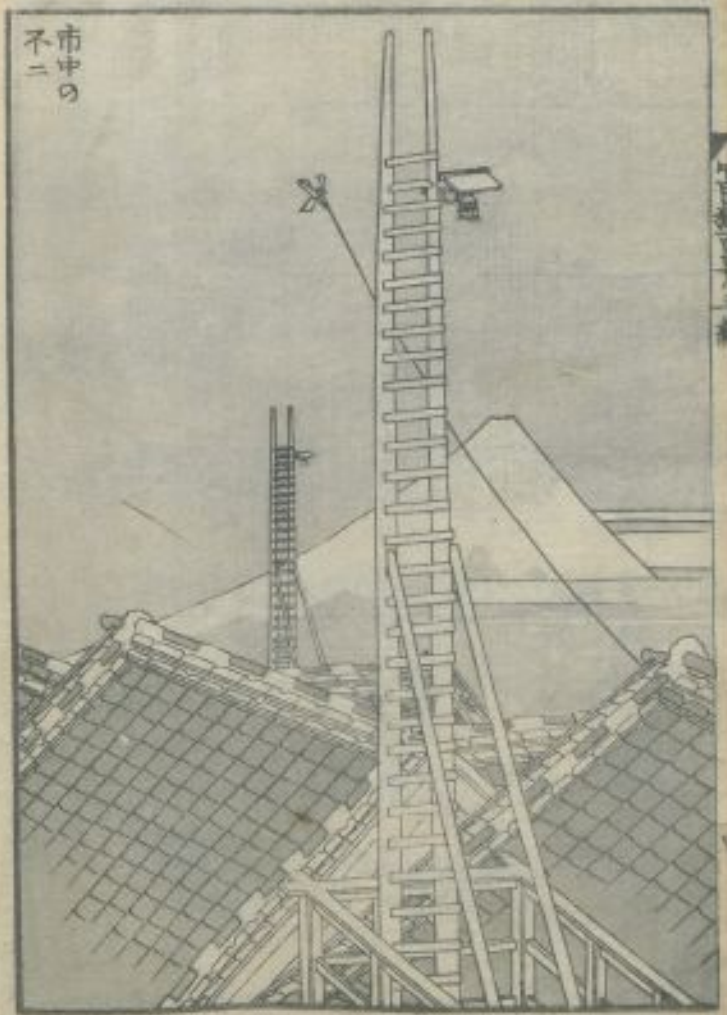




不  
二  
量  
天  
の



不  
二  
市  
中  
の





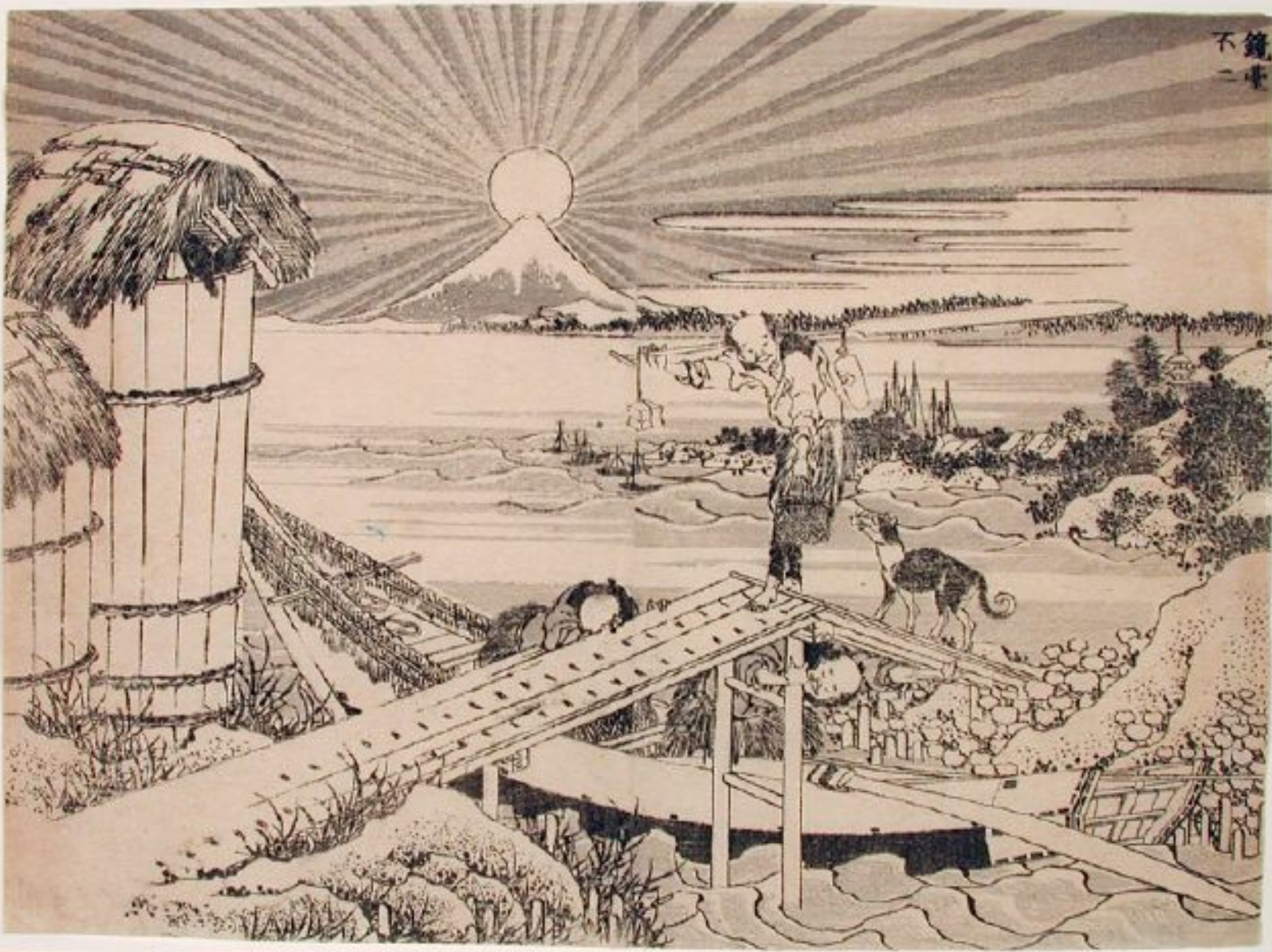


時  
不  
二

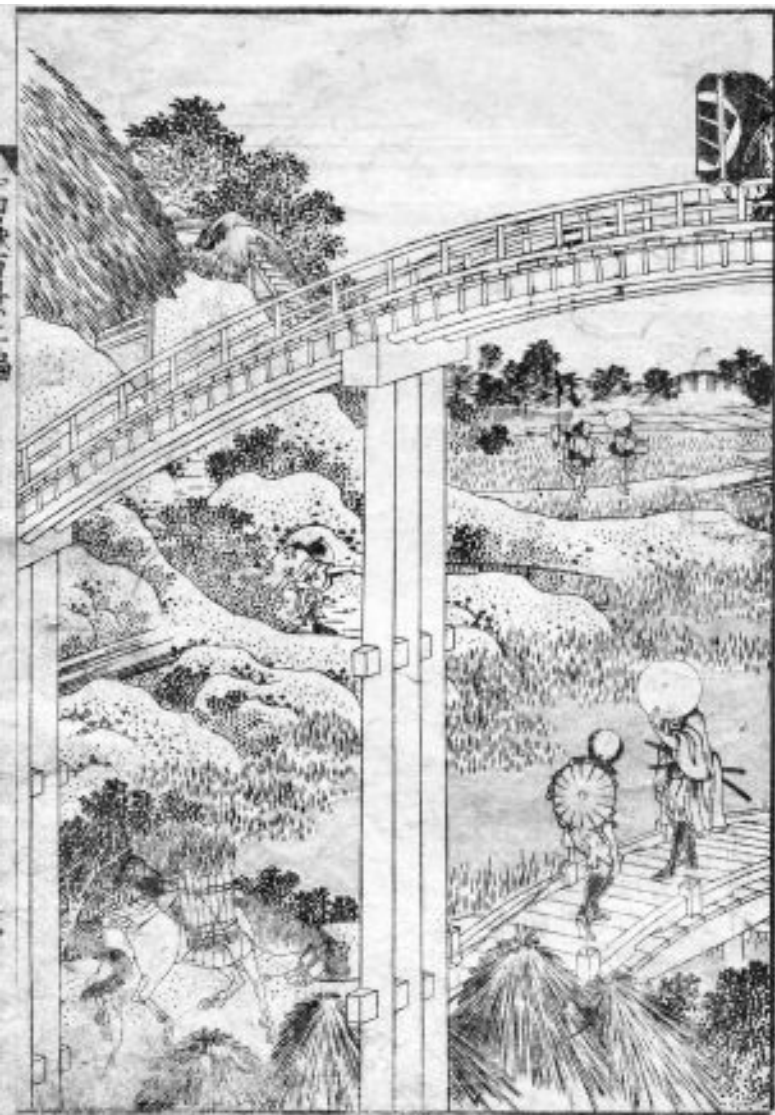


不  
二  
の









大井川  
桶越の  
不二



千石川百景之三編

七

不二の山明



聖比且の  
不二



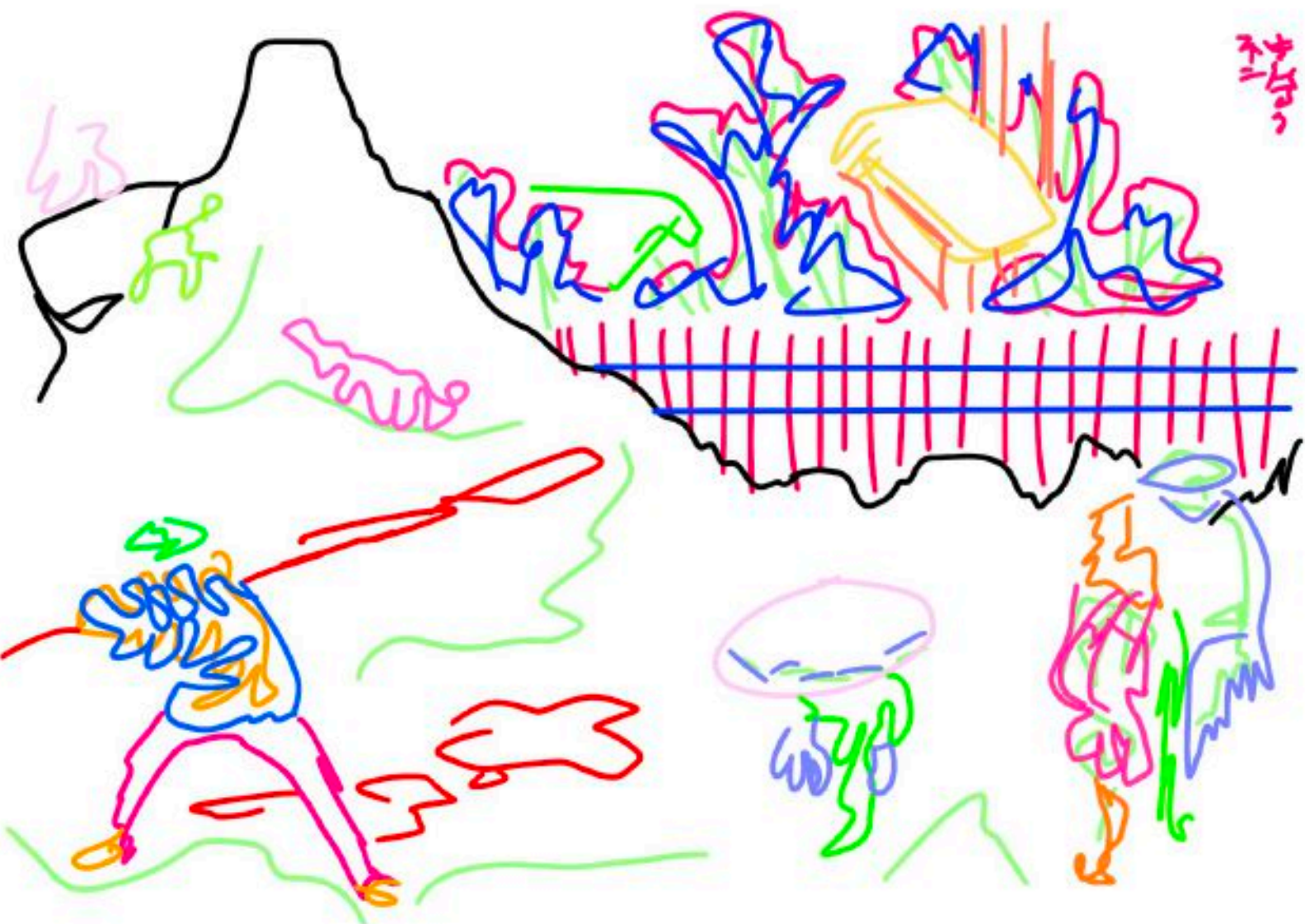






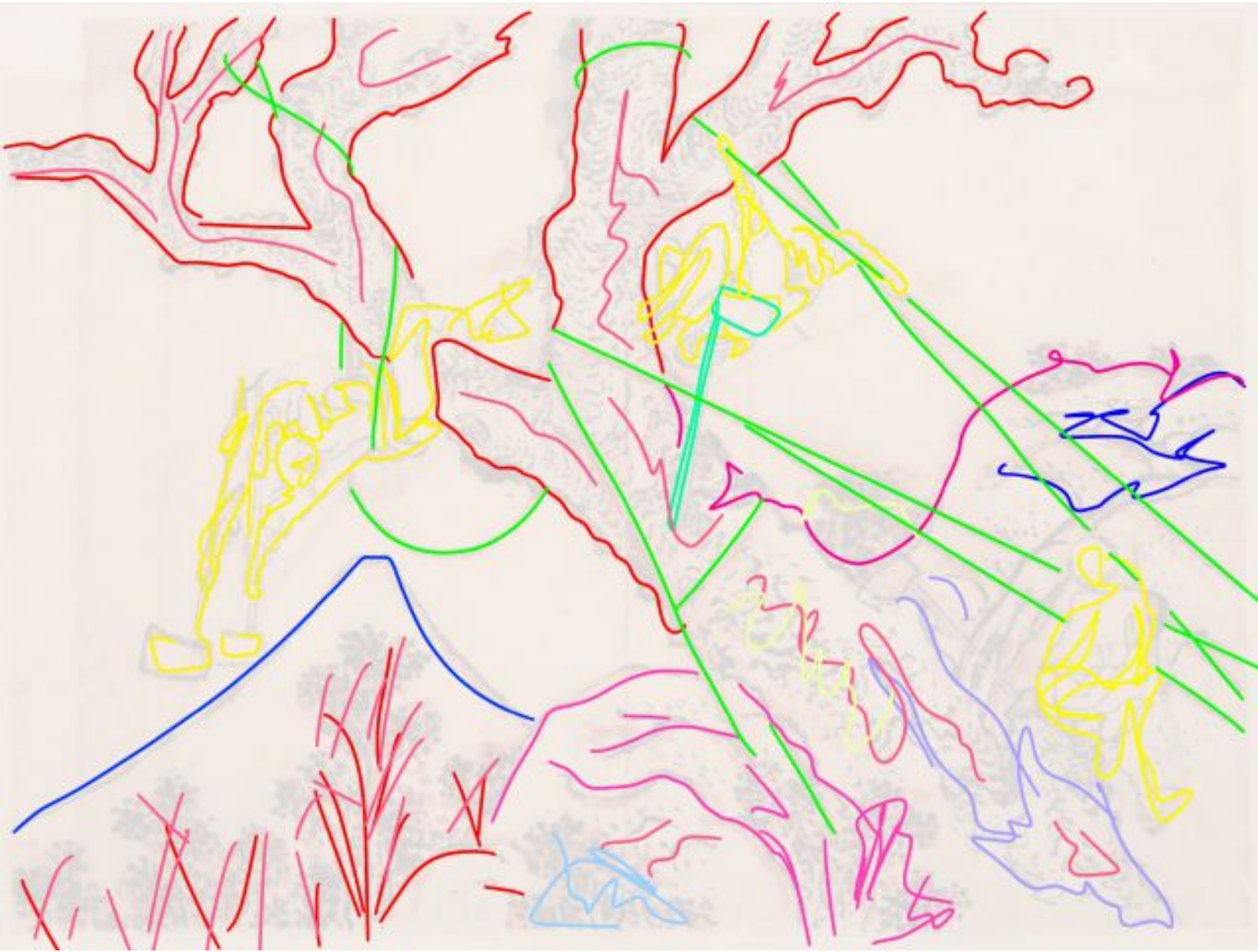
大正  
十一年

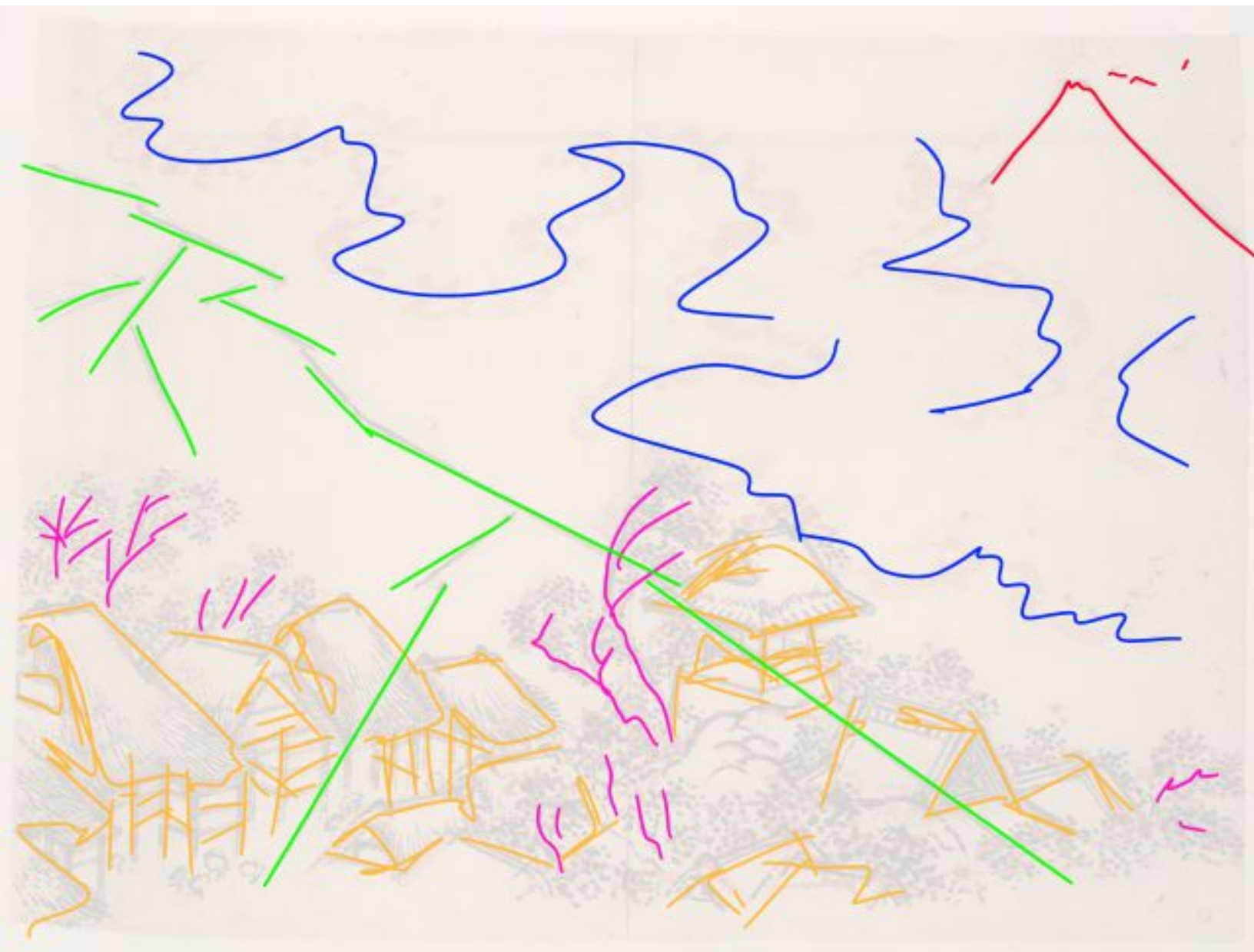
不  
正  
な  
こ  
と









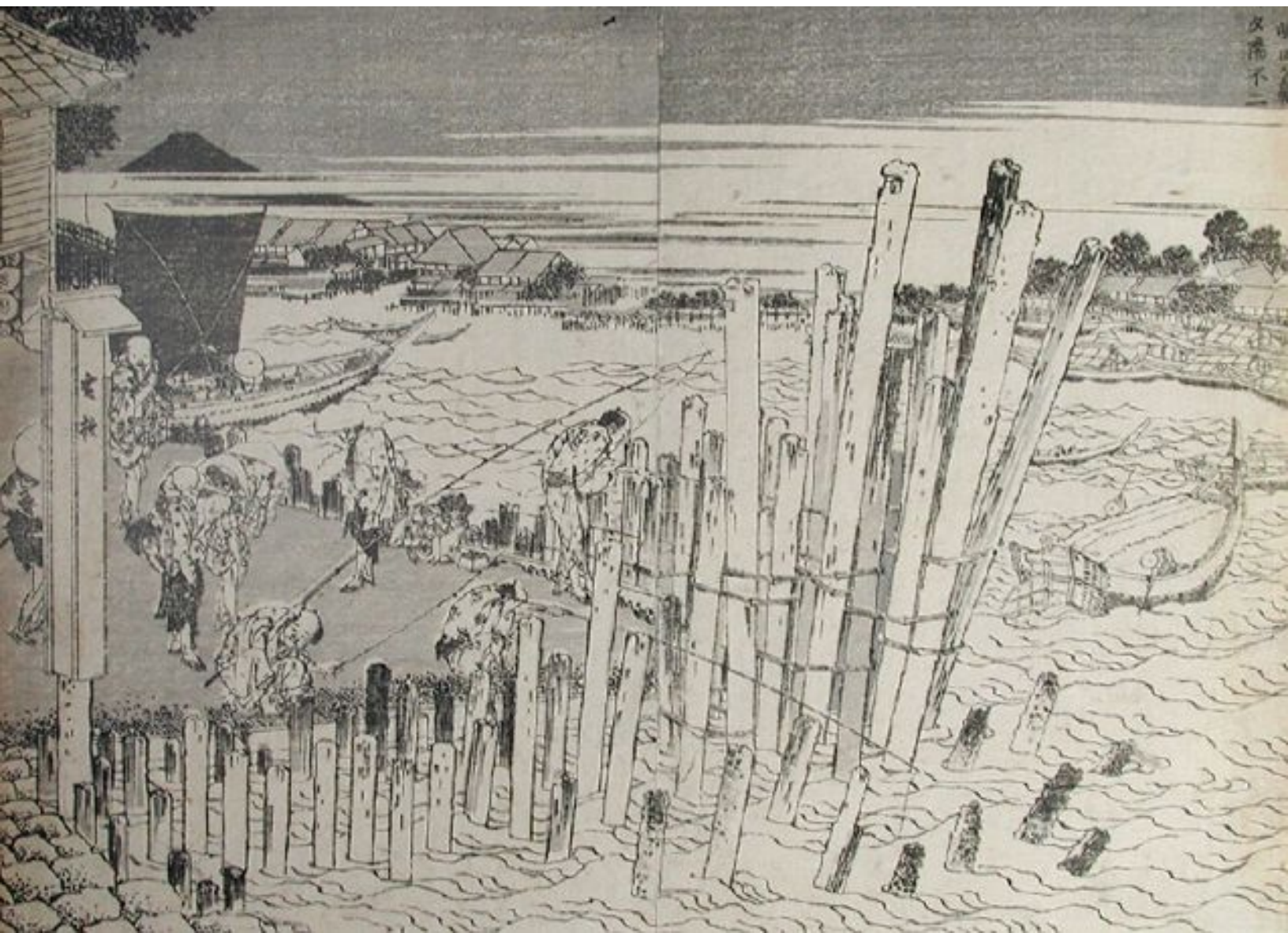








上  
下  
左  
右  
前  
后  
東  
西  
南  
北



夕陽不二

木花開耶姬命



風情面也  
不二



江戸新百景三編





